



創立40周年記念誌

かしこさ

やさしさ

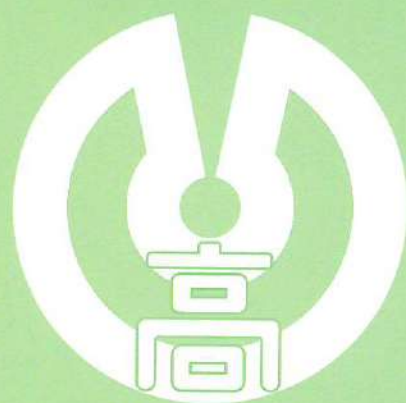
たくましさ

2013年11月

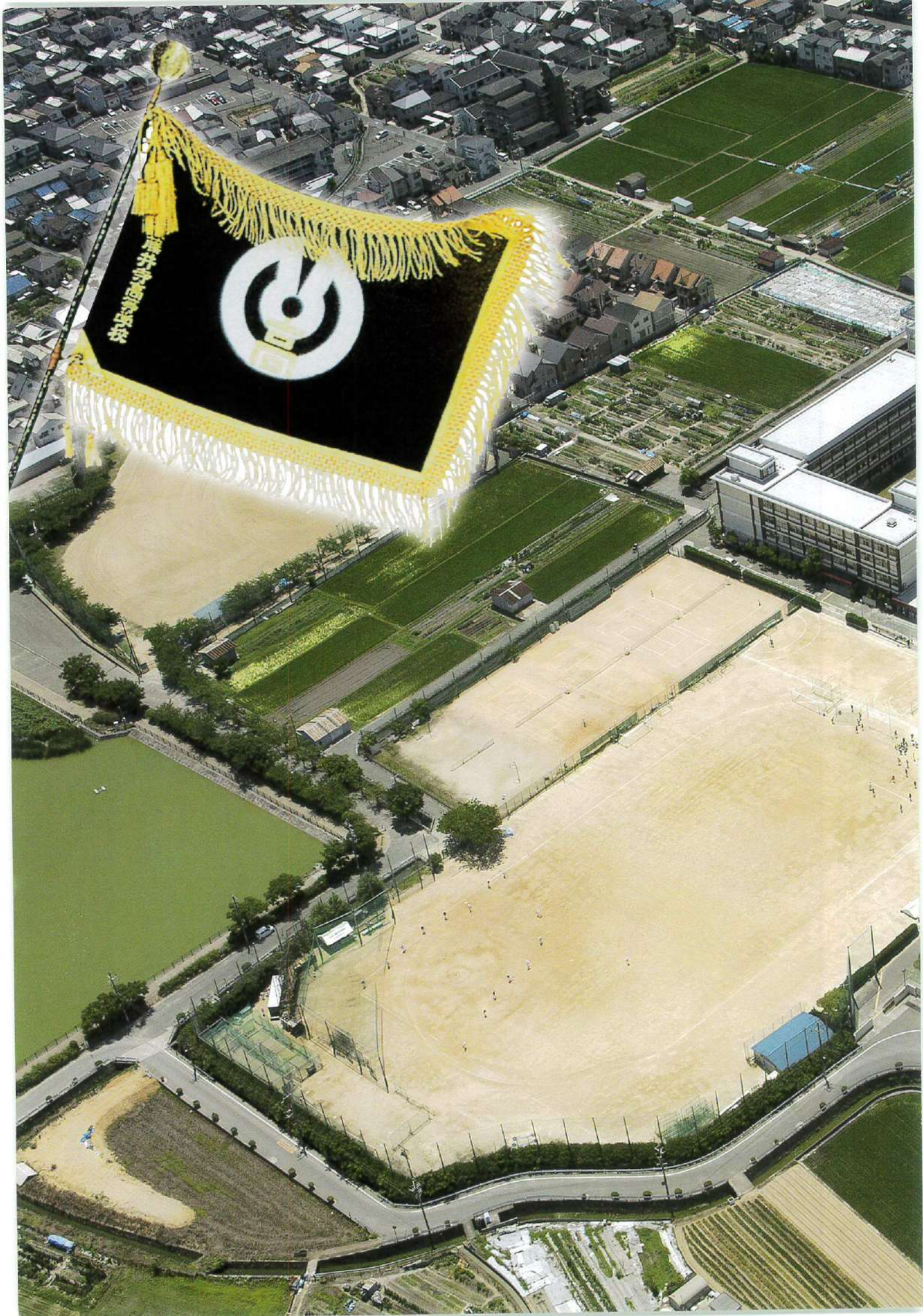
大阪府立藤井寺高等学校

創立40周年記念誌

Fujiidera High School 40th Anniversary



大阪府立藤井寺高等学校





春霞む河内国原

みはるかす御陵の森は

万年の歴史を称ふ

聖らなる文化の都市に

輝ける道拓かんと

進みゆく藤井寺高校

大和川の水清きこと

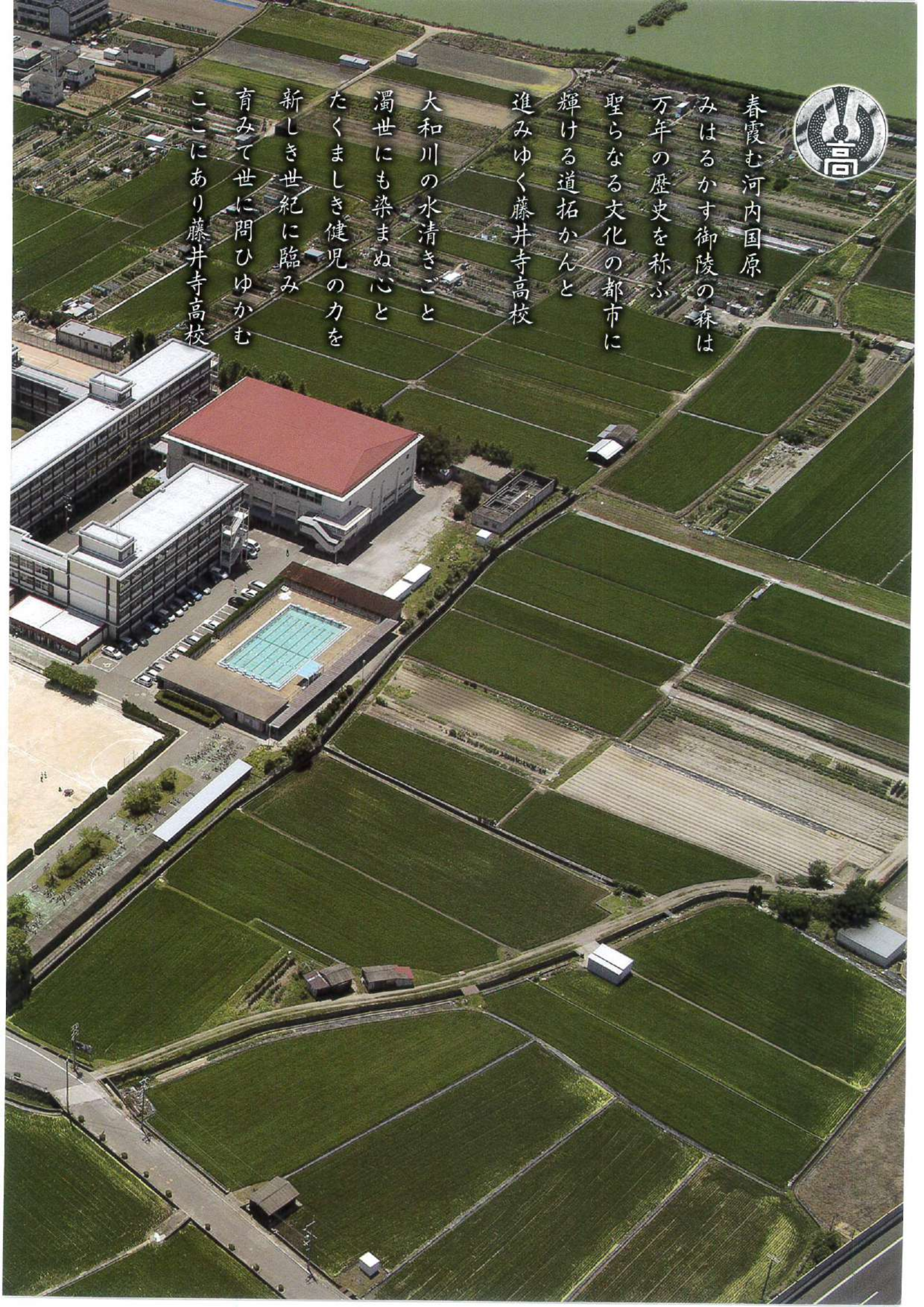
濁世にも染まぬ心と

たくましき健児の力を

新しき世紀に臨み

育みて世に問ひゆかむ

ここにあり藤井寺高校





目次

挨拶	学校長	林 誠	5
祝辞	藤井寺市長	國下 和男	6
	P T A会長	佐藤 美幸	7
	同窓会会長	若林 和博	8
	育友会会長	瀧ヶ平明弘	9
	前校長	金銅 伸元	10
	第10代校長	谷口 政巳	11
	藤井寺北小学校長	松宮 圭伺	12
	生徒会会長	高橋 智生	13
沿革と歴代校長			14
歴史と風土			16
つなぐれフジタカ			19
東日本との交流／藤井寺支援学校との交流／ 海外交流／高大連携／地域との連携			
ありがとうフジタカ ー各期の思い出ー			32
校務分掌 各部の10年			58
P T A活動の10年			70
クラブ活動			72
生徒会・同窓会・歴代P T A			82
教職員一覧			85
編集後記にかえて 教頭 中須賀敬子			95



創立40周年を迎えて

学校長 林 誠

本校創立40周年の記念すべき年を迎えて、関係者相集い、この意義ある年を共に祝うことができず事は、まことに喜ばしい限りです。校舎は、昨年の耐震工事と共に外壁の塗装も行い、創立当時の面影を取り戻しております。

本校創設時より11年間国語科教諭として勤められ、平成7年から10年までの4年間第7代校長として最後の教員生活を送られた森井 久夫先生制作の本校校歌にもありますように、豊かな歴史的文化財に囲まれた、南河内の一角に、昭和49年に開校した大阪府立藤井寺高等学校も、「不惑」を迎えました。

創立当時の教職員の皆さんは、大変な状況の中で、何度も何度も会議を持ち、「とにかく明るく楽しい学校を創ろう」と、生徒が魅力と感ずるものを生み出し、生徒の為のプラス面を創っていこうと、「高校」が出来るあらゆる行事を次々と企画し、実行に移されました。宿泊研修・登山・野外活動（飯盒炊爨）、古典芸能・演劇・映画を一つのサイクルとして順番に実施した芸術鑑賞、白馬や穂高・上高地で展開した林間活動・福井県高浜町での臨海学習、横手山でのスキー教室、長居競技場での長距離走大会、生徒体育委員会を中心に実施された校内球技大会、藤高フェスティバル体育の部、文化の部、教員や府下のスキー指導員資格者によるスキー講習を行ったスキー研修旅行は、本校がパイオニア的存在でした。カルタ大会、凧揚げ大会、リーダー合宿と、いくつかの節目を越えて今につながる行事もあり、昭和58年度から12年間体育科教諭として勤め、森井先生とも、同じ10期の学年団に所属した私は、それまで先生方が作り上げられたものを継承することに必死でした。幸せなことに、私は平成24年度より第13代校長として再び本校に勤務させていただくことになり、まさに感慨一入です。

行事と同時にクラブ活動の創設にも力を入れられ、後の藤井寺高校のクラブ活動のほとんどが、創設時に生まれました。煮えたぎる若いエネルギーの落ち着く場所ができました。

一方で、歴代の校長先生方が取り上げてこられた、初代校長森田俊夫先生設計の「心の石庭」により、未来に生き続ける藤井寺高校最大の指針が「心の教育」にあるということを受けなくてはなりません。

本校開設10年目に大阪府立藤井寺養護学校（現大阪府立藤井寺支援学校）が、創立され本校との交流が現在も、全校生徒が関わる形で続いています。交流・ボランティア活動については、藤井寺北小学校との交流も合わせて単位認定を行っています。

今年17年目を迎える市民講座による地域交流、16名の生徒が参加したオーストラリアサンシャインコースト・カラウンドラ地区での異文化交流と、「交流」を柱とした教育を貫いています。17000人に達しようとする卒業生は、有為な人材として社会の各場面で活躍されています。現在942名の在校生は、「やさしさ かしこさ たくましさを育てる」という教育目標のもと、充実した学校生活を送りながら持てる力を最大限に伸ばし、進路実現を遂げるべく、先生方との信頼関係の中で日々励んでおります。

今後も藤井寺高校は、地域に愛される学校として歩み続けます。

今回の記念誌編纂にあたり、公務多忙の傍ら資料の整理また体系的な構成等に鋭意ご尽力いただいた先生方、貴重な資料や原稿をお寄せいただいた藤井寺市長 國下 和男様をはじめ旧職員、同窓生の方々並びに、記念誌刊行を含む記念事業全般にわたり、物心両面におけるご支援を賜りました育友会、同窓会、PTA、関係各方面の皆様にご挨拶申し上げます。



祝 創立40周年

藤井寺市長 國下 和男

大阪府立藤井寺高等学校が創立40周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昭和49年に藤井寺市における唯一の普通科公立高等学校として創立されて以来、40年もの長きにわたり優秀な学生を育ててこられました、林校長をはじめ歴代校長、教職員並びにPTAの皆様方に深く敬意を表する次第でございます。

創立当時を振り返りますと、市域全体がまだまだ発展途上であり、津堂地区においても田畑が多く、のんびりした風景が広がっていました。そういった所に新しい高校ができたことによって、たくさんの自転車通学の学生さん達の姿が見られるようになり、それまでの景色が一変したことが強く印象に残っています。

その頃私は、市職員として職員課（現在の人事課）に勤務していた関係で、何度か藤高の生徒や卒業生と接する機会がありましたが、皆さん礼儀正しく、明るくて優秀な方々だったと記憶しています。これは40年経った今でも変わっていないと聞き及ぶにつけ、藤高のすばらしい校風が長年にわたって受け継がれ、素晴らしい人材を育成し続けておられることを大変うれしく思います。

藤高が目指しておられる学校像のひとつに、「生徒一人ひとりが‘きりり’と輝く個性をもって、夢の実現をめざす学校づくり。」というのがあるそうです。一方、市では、「小さくてもキラリと光るまち藤井寺」というキャッチフレーズを掲げてまちづくりに取り組んでおり、それぞれがもつ個性を活かし、発展・成長を目指すというところで相通じるものがございます。

現在、市と藤高は、生涯学習関連事業などで交流させていただいておりますが、今後も地域の発展と学生の皆さんの成長に寄与するため、更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、藤高の今後益々のご発展と、林校長をはじめ教職員並びにご関係の皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



創立40周年を祝し

PTA会長 佐藤 美幸

藤井寺高等学校創立40周年おめでとうございます。記念すべき40年の節目に学校と関わる事が出来、大変光栄に思います。PTAを代表し謹んでお祝い申し上げます。私自身34期の娘と38期の娘がお世話になり、PTAとして6年間、会長2回目を務めさせて頂いてきました。

38期の娘が中学卒業式の終了後、未曾有の東日本大震災があった事は、今まだ記憶に強く残っています。現地の方々はまだまだ現況が大変な生活を送られて支援が必要だと、報道などでお聞きしました。藤井寺高校でも被災地支援交流で宮城志津川高校へ向けて藤高1000人の「心はいつもひとつに…」を合言葉にお見舞いや応援の手紙などを送り、現地からもお礼やつらい体験のお話などのお手紙を頂きました。

藤高の校訓「やさしさ」にもあるように、藤井寺支援学校と交流を長年続けるなど、人とのふれあいを深めていることは素晴らしい事だと思います。人の傷みのわかる人として成長して優しい大人になって欲しいと思います。

もう一つの校訓「たくましさ」は創立当時から変わらぬ田園風景の中、生徒全員が自転車通学で通いながら勉強はもちろん、部活に熱心に頑張っているということです。

最後の「かしこさ」は普通科高校として進学に向けて各コースに分かれ、勉強合宿や講習会などいろいろなカリキュラムが組まれ、国際交流も交換留学生を迎えたり、藤高からも短期や一年留学など自分の夢に向かって熱心に取り組んでいます。

40年と言いますと創立当時の在校生が今高校生の子供を持つ世代です。当時教壇に立たれていた林現校長に学ばれた保護者の方もおられることでしょう。

歴代の校長先生を始めてとし教職員の先生方のご指導と深い愛情の下、この学び舎でたくさんの生徒達が勉強、スポーツに励み、輝ける十代の青春の季節を過ごして更なる広い世界へ扉を開き社会へと巣立っていきました。昨今ではインターネットや携帯など個々の世界が進み、便利になると同時に青少年が巻き込まれる事件も頻発し、人同士の繋がり、地域のネットワークの大切さが見直されてきています。学校、地域、家庭の連携を深め、創立40周年を契機に、生徒の皆さんには、これまでの輝かしい学校の歩みを改めて振り返ると共に、多くの先輩方が築いてこられた歴史と伝統を受け継ぎ、志を一層高くして、時代を担う若者として新たな伝統を築かれるよう心から期待しております。



創立40周年を迎えて

同窓会会長 若林 和博

藤井寺高校が創立40周年となり数多くの同窓生が各方面で活躍され、そのジュニアたちが同じ学舎で学ぶ姿を見かけると、同窓生が卒業生というだけでなく保護者という立場で母校に携われていることを知るたびに喜びと世代の移り変わりを感じています。

創設当初は現在の半分ほどの学舎で増設工事と共に授業が行われ、現在の正門が工事車両の出入口として利用されていたため、当然、正門は無く工事の進捗と共に校内への通用門が変わる日々でした。体育館も無いため雨の日は廊下でのストレッチ体操という環境の中で、刻々と工事が進行し「心の石庭」が完成しました。この場所は完成までの間、泥地で雨が降ると歩けないほどの荒れ地の真ん中にポツンと電灯だけがあるような場所で「藤高では長靴がいるゾ」と言われたことを思い出します。当時はそのような不自由な環境でも活気あふれる行事が次から次へと手作りで開催されました。文化祭や体育祭も藤高フェスティバルの「文化の部」「体育の部」として統一名称になり、「体育の部」の開催が当初は2学期でしたが1学期に変更になったこと以外、団名こそありませんでしたが学年とクラスの垣根を越えて団の形態で開催されていることも当時のままです。その中でも「心の石庭」は中庭としての場所というよりは、高校時代という多感な歳を共にする者たちが心の寄り添いの場所として校舎の窓から眺めていたようにも思います。ですから、現在も普段は立ち入ることのない中庭として受け継がれているのだと思います。そして今、学校行事の形態として受け継がれているモノだけでなく、明確に「コレだ」と言えない伝統を感じることもあります。私は同窓会という関係で卒業後も常に母校との関わりを保たせていただいておりますが、特に最近、本校を訪ねる度にその強さが増すように思われます。たぶん、卒業生だけでなく藤高に携われた先生方も藤高の学舎に入られると何か感じるモノがあると思います。それは「訪れた」という懐かしさの感覚ではなく、目に見えない伝統「藤高イズム」が受け継がれ、この学舎で過ごした日々が時を超えて「ここで始まった」という記憶の世界に自分を呼び戻すことができる場所だからだと思います。もしかすると形の変わらない「石庭」だからこそ、私たちに「藤高イズム」をより感じさせてくれているのかもしれない。

生徒達の制服も替わり校舎の老朽化も見られますが、「藤高イズム」は卒業生が残した記念植樹が大きく育っているように学舎の中で着実に育まれています。時代と共に社会環境も考えられないほどのスピードで変化し多種多様な価値観に対応する変革も望まれている中で、この40年間に藤高に携われた先生方や先輩達が藤高の中で育ててきた「藤高イズム」を受け継ぎ「地域社会の風土に根ざし親しまれる特色ある校風」として発展していかれることを願っています。

最後に、40周年の記念事業にあたり多大なご協力をいただきました関係各位の皆様にお礼申し上げます。



40周年を祝して

育友会会長 瀧ヶ平 明弘

創立40周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。あわせて盛大な記念式典を举行されること心よりお慶び申し上げ、これまでの準備等にご尽力いただきました、記念事業実行委員会の皆様を始め、関係各位の皆様には心より感謝申し上げます。

この40年の間には社会情勢から経済状況まで、大きなうねりのような変化がありました。高校においても様々な環境の変化や編成がありましたが、生徒を育てるということに変わりはありません。本校は自主自立が出来る学校づくりをめざし、「やさしさ、かしこさ、たくましさ」を校訓に生徒を育て、自分づくりを第一に指導を続けてきたことで、現在の藤高があるものと思います。

今回の記念事業でも、式典の運営や記念ロゴマークのデザインなどで、生徒を中心とした取り組みが行われ、ここにも生徒の成長を願う気持ちが表れています。本校は創立から現在に至るまで多くの卒業生を送り出し、歴史と伝統を築いてきました。ただ、その過程においては、幾多の苦難や諸問題もあったことでしょう。そんな中でもそれを克服し乗り越えてきたのは、卒業生の先輩諸氏、歴代の校長先生を始め諸先生方、そして保護者の方々の藤高生を愛する心と熱意があったからではないでしょうか。

この40周年を通過点として、更に一人ひとりの個性を最大限に伸ばし、創造力や自主性にあふれ、社会に貢献する人間性豊かな藤高生を育てていただきたいと思います。

最後になりましたが、私自身もPTA活動を通じて沢山のひとと出会い、また様々な貴重な経験をさせていただき、多くのことを学ばせていただきましたことに、感謝と御礼を申し上げます。今後とも、本校を支える皆様とともに、更なる発展をお祈りいたします。



藤高（ふじたか）生が、 さらに輝くように！

前校長 金銅 伸元

このたびは、創立40周年ということで本当におめでとうございます。

藤井寺高校を退職してから早いもので1年半が過ぎました。今でも、「(高校)入試の出願状況はどうなんだろうか?」とか、「高校野球は順当に勝ち進んでいるのかな?」とか、新聞記事の中で“藤井寺”という文字を、つい探してしまいます。

私は、38年間の府立学校教員生活の最後の4年間を、『校長』として藤高で勤めさせてもらいました。その時に、いちばん大事にしていたことは、“藤高生がどうすれば輝くか”ということです。生徒たちが輝くためには、彼ら自身が母校に誇りと自信を持たなければいけません。藤高に勤めて最初に驚いたことは、ほとんどの生徒が藤高から半径5km圏内から通学してくる、ということでした。駅から遠い立地条件の中で、藤高が未永く存続するにはまず、地元から認められることが必要だし、素晴らしい生徒たちを地元の人たちに見てもらえば、それが生徒たちの自信にもつながる、と考えていました。

こんな思いは、当時一緒に勤めていた教職員みんなは良く理解してくれたようで、地元のいろんなフェスティバルへの参加、PTAとタイアップした地域清掃、地元の小学校や支援学校との交流活動等々に、生徒たちを積極的に参加させてくれました。また、進学実績を上げることが対外的な評価を高めることだと、勉強合宿を始めてくれましたし、毎日実施される補習の充実にも、みんなで頑張ってくれました。

幸いにも、今の校長・教頭のお二人は、共に藤高での教諭経験者だそうで、熱い思いの中でフェス体の改革や自習室の整備にと、次々と頑張ってもらっている、と聞いています。そんな中での40周年ですから、これから50周年に向かって益々楽しみだなど、期待に胸躍らせているところです。“やさしさ・かしこさ・たくましさ”に象徴される藤高生が、もっともっと輝くことを楽しみに、これからも応援していきたいと思います。



あれから10年… さらなる安定と発展を!

第10代校長 谷口 政巳

創立40周年、誠におめでとうございます。

藤井寺高校への赴任が伝えられた時、私の脳裏に浮かんだのは、昔一度訪れて印象に残っていた「石庭」の光景でした。枯山水の石庭で、東西53m、南北30mの方形の庭に白川砂の島が4つあり、そこに大小16個の丹波石が配され、校舎のどこから眺めても「心」という字に見える八方正面の俯瞰庭園です。

着任後石庭の由来を調べましたが、初代故森田校長の発案になるものであること以外は何も分かりませんでした。そのような中で、すでに伝統として定着していた藤井寺支援学校との「交流活動」で、学校の教育方針「自他の敬愛と協力」を体験的に学んでいる生徒たちの姿を目のあたりにし、石庭の意味を問いつけたものです。

一つとして同じものがない16個の石は生徒の個性を意味しているのではないかと。一つの石の特徴は他の石があってこそ言い表せるように、人間も他と関わることによってしか自己を認識することはできません。また、異なった個性との関わりなしに人間の幅を広げることもできません。個性的なすべての石が一つになって「心」の字を構成している石庭は、自他の交流の中で「心の教育」を進めていく藤井寺高校のシンボル「心の石庭」なのではないか。これが私なりの到達点でした。

そして創立30周年。「補習の藤高」と言われた草創期、「交流の藤高」と言われた成長期、そのいずれをも大切に取り組んできた藤高の伝統に学び、めざす生徒像として「やさしさ」と「かしこさ」という言葉にまとめました。この二つの力を併せ持つことによって豊かな人間関係を切り開いていけると考えたからです。

早いものであれから10年。今日ではめざす生徒像に「たくましさ」が加わり、三つの力でより安定の度を増し、更なる発展の礎が築かれたものと存じます。「不惑」の40周年、改めて心よりお祝い申し上げます。



創立40周年を祝して

藤井寺市立藤井寺北小学校長 松宮 圭伺

大阪府立藤井寺高等学校創立40周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。この40年という輝かしい歴史の創造の陰には、歴代校長先生をはじめ教職員の皆様、歴代PTA役員の皆様方、そして地域住民の皆様方のご尽力の賜ものと、心より敬意を表する次第でございます。

個人的なお話して誠に恐縮ですが、私が平成19年から4年間藤井寺市立生涯学習センターに勤務していた時に、藤井寺高等学校協議会のメンバーとしてお世話になり、藤井寺高校の教育方針や普通科高校として目指すべき姿などの議論に参加させていただきました。また、私の娘と息子が二人とも藤井寺高校でお世話になりましたし、今年の4月から藤井寺高校のすぐ横にある藤井寺北小学校に校長として赴任しましたことなどを考えますと、本当に深いご縁を感じているところでございます。

藤井寺北小学校では藤井寺高校と隣接していることを大きな特色ととらえ、小・高連携の充実を目指した積極的な交流を図っており、今年度は小学校の放課後学習会に学習支援ボランティアとして約50名の藤高生が来てくれ、子ども達の人気の的になっています。今後も藤井寺高校があればこそその教育の推進に努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、今日までの40年間に築かれた藤井寺高等学校の礎の上に、さらに輝かしい歴史を重ねられ、より一層発展充実されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



喜びのことば

生徒会会長 高橋 智生

創立40周年、おめでとうございます。藤井寺高等学校の生徒を代表してお祝いのことばを述べさせていただきます。

40周年という藤高にとって節目となる特別な年に生徒会会長として貢献できることを嬉しく思います。生徒会は、体育祭、文化祭の運営や藤井寺支援学校との交流などを中心として日々活動を続けています。この6月には、生徒と先生方が一つとなり素晴らしいフェス体を作り上げました。このようなことが可能となったのは、有志の者が集まった応援団の努力と各団の生徒達が学年を超えて団結し互いに競い合えたからだ実感しています。本当に藤高は楽しい場所だなと思いました。

藤高と藤井寺支援学校は生徒会と交流委員を中心に互いに交流を深めています。フェス体の時も藤高の方々をお招きし、エールを交換した後に、生徒全員で一緒にオブラディオブラダを踊りました。ハンディキャップを持った同年代の方々とうこうして交流することで相手を思いやり理解することを学べたのではないかと思います。

現在は、9月に開催されるフェス文に向けて、藤高がより楽しい場所となるよう準備を進めています。また、創立40周年ということで生徒会は新しい取り組みを行っています。全校生徒に小さな色紙を配り、そこに自分の好きな一文字を書いてもらい、それを集めて大きなモザイクアートを完成させるというものです。こうした生徒会の新たな試みが将来も続いていって欲しいと思います。

私にとって藤井寺高校で過ごした三年間の日々はとても充実したものでした。これは個人的な話なのですが、私は生徒会だけでなくワンダーフォーゲル部に所属していました。活動は登山することがメインでした。先生方やクラブ仲間と共に山の頂上を目指すということは何もかもが新鮮で、頂上にたどり着いた時に見た光景はまるで別世界のようでした。なりゆきで入部した私ですが今では忘れられない思い出になっています。先生方に本当に感謝しています。藤高のクラブ活動や行事に参加する中で今までになかったことを経験し、多くのことを学んだ人は少なくないでしょう。私もその一人でありたいと思います。

ここまでさまざまな藤井寺高校の魅力を書かせていただきました。その魅力を後輩の皆さんに受け継いでいって欲しいと思います。自分たちが多くのことを学んだ場所だと、大人になって誇れるような藤井寺高校であり続けて欲しいと願っています。







初代 森田 敏夫
昭和49年1月1日～昭和52年3月31日

1973年3月24日 大阪府議会で本校の建設予算議決

1973年4月1日 大阪府教育委員会事務局高等学校等
設立準備室において設立準備事務を
開始



1973年6月1日 第1期工事着工



2代 土井 善博
昭和52年4月1日～昭和55年2月28日

1973年12月13日 大阪府議会で大阪府立高等学校等設置
条例の改正により本校の設置を決定

1974年1月1日 大阪府立高等学校等設置条例の一部
改正施行により大阪府立藤井寺高等学校
として発足



3代 山田 忠雄
昭和55年3月8日～昭和58年3月31日

1974年3月28日 第1期工事竣工

1974年4月1日 大阪府高等学校等設置条例により
大阪府立藤井寺高等学校開校



4代 市橋平三郎
昭和58年4月1日～昭和63年3月31日

1974年4月8日 第1回入学式挙行

1974年5月31日 第2期工事着工



1974年10月19日 体育館工事着工



5代 清水 正樹
昭和63年4月1日～平成3年3月31日

1975年2月28日 第2期工事竣工

1975年6月4日 第3期工事着工

1975年6月30日 体育館・プール工事竣工



6代 油上 良蔵
平成3年4月1日～平成7年3月31日

1976年2月28日 第3期工事竣工

1977年2月3日 環境整備工事竣工

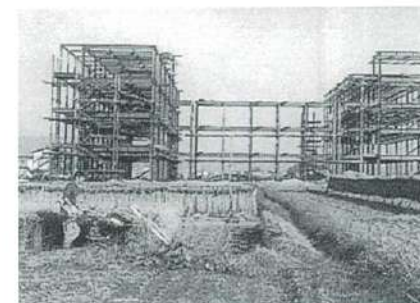
1978年4月1日 自転車置場竣工



7代 森井 久夫
平成7年4月1日～平成14年3月31日

1981年3月31日 自転車置場設置（プール北）

1983年3月31日 グランド倉庫新築





8代 中野 尚
平成11年4月1日～平成13年3月31日



9代 清水 洋光
平成13年4月1日～平成15年3月31日



10代 谷口 政己
平成15年4月1日～平成18年3月31日



11代 谷本 恒雄
平成18年4月1日～平成20年3月31日



12代 金銅 伸元
平成20年4月1日～平成23年3月31日



13代 林 誠
平成23年4月1日～

1984年12月7日 渡り廊下（普通教室棟～体育館）
塗装・雨漏り補修工事

1987年3月31日 体育館屋根防水補修工事

1987年10月21日 プール塗裝修繕工事

1988年7月30日 図書館冷房機設置

1990年3月31日 体育館東側通路テント工事
保健室冷房機設置

1991年1月11日 漏水（理科棟階段部等）補修工事

1991年3月2日 校長室冷房機設置

1991年11月15日 LL教室設置更新
家庭科調理室設備更新工事

1992年3月31日 ビデオ編集システム設置

1992年8月20日 渡り廊下底部欠落補修工事

1993年3月31日 理科棟他外壁改修工事

1994年9月2日 家庭科総合実習室B室整備工事

1998年3月13日 プールサイド日除けテント新設工事

2005年12月2日 運動場ネット新設工事

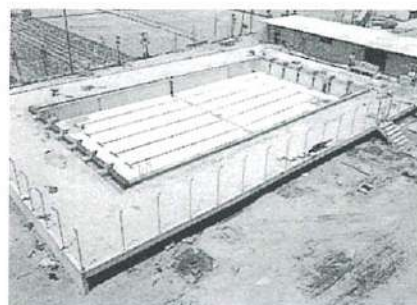
2006年3月31日 天井改修工事竣工

2009年9月30日 体育館大規模改修工事竣工

2009年12月26日 I C T 環境整備工事

2011年3月28日 特別教室棟南側
自転車置場新設工事

2012年11月16日 普通教室棟他3棟
大規模改修工事竣工





本校の所在地である藤井寺市は、大阪府の南東部、南河内の一角を占める大阪市の衛星都市の一つである。南は羽曳野市、西は松原市、それに東は石川、北は大和川に囲まれた地域である。本校は藤井寺市と松原、羽曳野の3市の境界が集まるあたりに立地している。

藤井寺市は、本校創立の昭和49年には人口約5万7千人、平成25年の現在は約6万5千人のこじんまりとした都市である。本校は田圃の中に大きな校舎が目立っているが、付近には住宅地がおしよせつつある。

藤井寺市を含む地域一帯は、豊かな歴史的・文化的財にめぐまれた地域として知られている。最近には、日本を代表する歴史的・文化的遺産である古市古墳群の世界文化遺産への登録の実現に向け、古墳群の保護及び古墳群と共生するまちづくりの積極的な推進を行うため、藤井寺市世界遺産登録推進本部が設置された。

市内の国府遺跡は新石器時代からの複合遺跡で、日本史の教科書に取り上げられる重要な遺跡である。



本誌の東部から羽曳野市にかけては、古市古墳群とよばれ、応神天皇陵をはじめ、わが国でも有数の巨大前方後円墳の集中する地域であり、本校からも城山古墳、雄略天皇陵などを間近に望むことができる。



市域の北部には条理遺構が今もあざやかに残っており、本校の校地もその一角を占めている。

本市の名のもとである藤(葛)井寺は、古代の藤井氏の氏寺であり、国宝千手観音で知られ、西国五番の霊場としても多くの参拝者を集めている。また道明寺天満宮は、菅原道真ととくに縁が深い古社である。

本校の南西徒歩10分ばかりの羽曳野市鳥泉には代表的な近世民家として知られる吉村邸がある。本校の北を流れる大和川は、江戸時代の宝永元年、中河内地方を洪水から守るため、柏原から堺にかけ、新たに築かれたものである。

(写真は藤井寺市ホームページより)



中 庭

第三期工事の一環として昭和51年に完成した。初代森田校長の発案によるもので、様式は、八方正面の俯瞰庭園である。

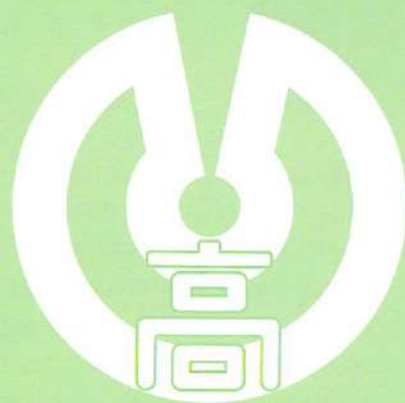
中央部分は、16個の丹波石と白川砂敷の石庭となっており、上方より見ると「心」の字となるように配置されている。石庭部の周囲には高麗芝の部分、校舎との境界部に灌木帯を配している。

灌木帯の樹種は、ヒラドツツジ、サツキ、ドウダンツツジ、シシガシラ、ジンチョウゲなどである。技師の方々の除草、剪定、消毒といった維持管理の努力のおかげで、季節に応じて、芝生の緑、美しい花々が目を楽しませ、やすらぎをもたらし、また夏のきびしい日ざしを大いにやわらげ、学習環境を高める効果は、極めて大きいものがある。



つながれフジタカ

Fujiidera High School 40th Anniversary



東日本大震災から学ぶ 宮城県南三陸町 志津川高校との心の交流 今までのあらまし

人権教育推進委員長 田中愛子

皆さんは2011年3月11日の震災の日のことを覚えていますか。

太平洋に面した宮城県南三陸町では、町が津波に飲み込まれ、多くの家や人の命が失われました。そして高台にあった志津川高校にはたくさんの人が逃げこみ、避難所となりました。現地で同じ高校生たちは、どんな経験をしてこの困難を生き抜いたのでしょうか。

藤高では、ある女生徒の手紙から、被災地を身近に感じる機会を得られました。そして、避難場所となった南三陸町志津川高校の生徒会の皆さんとの手紙の交流が始まりました。



6月9日フェス体前日、応援団長の呼びかけで集合写真

◎2011年4月7日夜にボランティア団体の現地活動報告会で、その町で被災した千葉茜さん（3年バレーボール部キャプテン）の炊き出しを手伝い頑張っている姿を藤高の教員（田中愛子、川口恭子）が知りました。そして届くか分からないけれど彼女に励ましの手紙を書いてみよう、4月の最初の授業で3年生に呼びかけました。藤高の生徒はそれに応え、茜さんへの250人の手紙がボランティア団体JAFSアジア協会アジア友の会松井聡子さんに託されました。

◎5月13日に千葉茜さん本人から「藤井寺高校の皆さんへ」という長文の手紙が届きました。

【衝撃的で胸を打つ茜さんの手紙の内容】

津波の当日に、高台にある高校で部活動をしていた彼女たちは、助かります。流されていく故郷の町を眼下に眺めるなか、野球部やサッカー部の生徒たちはともに高台の下にある老人施設の方々の救助にあたりますが、残念ながらほとんどの入所者が助からず、遺体の収容にもあたりました。ユニフォームやジャージや柔道着、カーテンなどは、雪が降るなか避難してきた人たちの体を温めるために集められました。避難生活では食事はほとんどがコーン1個という時もあり、おにぎり1個を4人で分けたことも。家を失った人たちへの気遣い、電気も水道もない中、川で洗濯していることなど、現地の厳しい状況が伝わりました。あたり前の生活の有り難さ、家族の大切さ、助け合うことの大切さ。手紙の後半には「復興には時間がかかる。これからも、私たちのことを忘れないで」との強いメッセー

ジと、こうして心が繋がれたことへの感謝も書かれていました。

同じ高校生の過酷な状況と頑張っている姿勢が、生徒、教職員の心をつき動かししました。東北を身近に感じ、離れていても、ここ大阪でもできる支援をしたいという気持ちになりました。



◎6月に茜さんからの手紙を全員で読んで、生徒会執行部の呼びかけで藤高生は1000人の寄せ書きメッセージを作りました。そして「宮城の皆さん、心はいつもそばにいるよ」の横断幕もつくり、6月9日

フェス体前日に、応援団長の呼びかけで集合写真も撮って送りました。その後、志津川高校生徒会からの写真集やお礼状が届き、生徒会執行部どうして手紙のやり取りが始まりました。

◎藤高から送った寄せ書きメッセージは、志津川高校では階段昇降口に掲示されているそうです。藤高でも、それをコピーしておいた同じものを1階技師室の壁に掲示しています。また、志津川高校から届いた手紙・写真は、3階会議室前の廊下壁に掲示しています。震災のことを、復興に向けて頑張っている人たちのことを忘れないように。

◎被災地支援の現場から N G O松井聡子さんの講演

2011年10月27日1、2年生、11月24日3年生

人権HR講演 南三陸町で炊き出しを継続的に行った支援団体NGOアジア協会アジア友の会J A F S、松井聡子さん現地住民の方が撮影した震災当日の津波のようすが動画で紹介されました。あの建物の中に人がいると想像するだけで恐ろしい映像でした。松井さんたちは食材調達困難ななか、毎日朝4時半起きで、遠くまで買い出しに行って3食200人分を毎日用意されていました。厳しい現地の姿とともに、茜さんが笑顔の姿もパワーポイントで見られました。やっと元の学校へ戻って授業再開、友と再会できた喜びはいかほどのものだったでしょうか。彼女が地域に貢献したい気持ちで進路を考えていることも紹介され、進路選択を控えた3年生は真剣に聞いていました。体育館で志津川高校1年生の生徒さん4人からの手紙を、3年生応援団長4人が朗読紹介しました。



【被災地支援講演への生徒の感想から】

●「今だけでなく、5年後10年後のことも考えられるかどうか。被災地だけでなく、日本という国全体が、世界中の国々が考えられるかどうか」人としてどうするべきか。それが今、考えるべきことだと思う。 36期生男子

◎2012年4月には志津川高校から生徒たちの貴重な東日本大震災体験文集が届きました。震災の経験を多くの人たちに知って欲しいという強い思いにあふれた内容でした。生徒全員で、志津川高校野球部のキャプテンの書いたものなど6人分の体験記を朝読を利用して読みました。彼らがどう震災の困難を生き抜いているか、体験が語る内容は圧倒的でした。2012年1月に、皆で読んだ報告と文集へのお礼を生徒会執行部で送りました。その後、2013年度にも志津川高校「東日本大震災の記録」と生徒会から近況報告の手紙が届いています。

【以下、宮城県南三陸町志津川高校 生徒の皆さんの震災体験文集を読んで 生徒の感想から】

●価値観が変わった 39期生 銅谷紗依

被災地の高校生たちの作文を読み、あらためて震災による津波の恐ろしさ、それにより奪われたモノへのはかりしれない喪失感を感じました。あの日、私はいつも通りに過ごしていました。そして東北で地震が起きていることを知り、テレビを見て言葉を失いました。これがいま日本で起きていることだと信じられませんでした。今もなお、被災地では御家族など大切な人を亡くされたり、行方がわからないままで、やり切れない思いを抱えながら暮らしている方が大勢おられることでしょう。被災地の高校生たちの作文から、より一層言葉では表されない被災地の方々の思いが伝わり、胸が張り裂けそうになりました。

東日本大震災が起きてから、私自身の生命への価値観が大きく変わりました。また、自分がこれまで当たり前だと思っていたモノは、すべてかけがえのない尊いモノであると感じました。このような大惨事が起きるまで、その事に気づかないでいた自分の浅はかさを恥じました。震災以後私は多くのことを考えさせられ、多くのことに気付かされました。

あの日以来日本はどれだけ進んだのでしょうか。もしかしたらすすんだ距離は一步にも満たないかもしれません。しかし、たとえ小さくても前進していることは確かです。・・・中略・・・困難を乗り越えたあとに手に入るモノは、はかり知れないほど大きなモノです。被災地には必ず復興の日がやってきます。その日が1日でも早くなるように、私も同じ日本人として被災地に貢献できることに最善を尽くします。

●忘れずに語り継ぐこと 39期生 堂山瑞希

私は今回この体験文集を読むことができ、とても良かったと思います。8か月たった後、皆さんがどんな思いでいるのか、どのような生活をしているのかがわかりました。将来目指したいものがはっきりある人、そうでない人もとても前向きで一生懸命頑張っている姿が目に見えようでした。「震災は私たちからたくさん物を奪い、また残していった」と、ある生徒さんは書いていました。震災が残した「生きる」ということの大切さ。まわりで支えてくれている人たちへの感謝。そのような事は私は一度も考えたことはなく、そんな自分が恥ずかしいと感じました。私は被災された方々を見習って前向きに、前向きにこれからの人生を頑張っていこうと思いました。私にできることはないかと考えてみると、やはりこの残酷な災害を

一生忘れず、体験はしていなくても、これから生まれてくる人たちに語り継いでいくことだと思います。

●震災は“流行りじゃない” 38期生 佐藤類

1年以上がたち日本大震災の番組が全く放送されなくなって、被災地まで行くことができない私たちにとって、東北の状況が全く分かりません。正直、3月11日にできた出来事もちゃんとわかっているわけではありません。でも、この「朝読」で志津川高校の方たちの文章を読んで、本当の怖さが少しわかりました。体験していない私が怖さがわかったなんて言えませんが、東北の方々がこんな形で体験を話してくださるおかげで、体験していない私たちも次に来ることを予測して避難訓練などを行えます。

震災が起きたその年にテレビの端っこに映ったあるポスターに、「震災は“流行りじゃない”」と書いていたことが、とても頭に残っています。テレビでも今は放送があまりされていないし、募金活動も去年よりも行われていません。テレビに映ったポスターに書いていた心配が、本当になりつつあるのが私は怖いのです。

●町が元気に復興してほしい 38期生 片野咲菜

文章を読んで地震や津波は本当にこわいものだと思います。自分は経験したことないけれど、想像を絶する恐ろしいものだと思います。家族や友達を亡くした悲しみや大好きな町が消えた悲しみは埋められないのに、頑張って町を復興していこうとか、町に元気を取り戻そうとしている人たちはすごいなあって思いました。そうやって頑張っている人たちがいるから、一刻も早く元に戻って欲しいです。今まで私は毎日の生活が普通で当たり前だと思っていました。でも被災した人たちのことを思うと、私たちは今安全に安心して生活できることに感謝しないといけないと思いました。地震は自然災害だからいつ来るかわからないし、急に来ては止められないから、そのときのために学校の訓練とかは面倒くさがらずに、皆で真剣に取り組んでいきたいと思いました。

●決して他人事ではない 38期生 北野里菜

現地の高校生の方が書いた文章を読むのは初めてでした。テレビで津波の様子などは見ていましたが、被災者の一人ひとりの事細かな体験談は生々しくて、とても辛い気持ちになりました。私と同じくらいの歳の子が、一人で知らない山道を何時間も歩いて、夢中で助けてと泣き叫んだということや、津波で死んだ方が良かったと書いてあるのが、とても印象に残っています。私は震災後に情報を集めるためにツイッターを始めましたが、今では趣味の合う人たちとおしゃべりするのに使っています。もしもっと早くからツイッターを始めたら、仲の良かったフォロワーさんが、震災の日から突然浮上してこなくなったらと想像すると、ぞっとします。でも、きっとそうなった人もいるはずだと思います。震災後にフォロワーさせていただいた同じ趣味の方々のなかにも、被災し避難所暮らしだった方もいて、家に帰った日のつぶやきを拝見しました。家がなくなっていると。昨日まで趣味について楽しそうにしゃべっていて盛り上がっていたけど、心には深い傷があるのだと感じました。震災直後はどこか遠い場所の話のように感じていましたが、決して他人事ではないのだと感じました。

交流活動レポート2012～2013 by 交流委員



おしゃべりしながら観戦中

●6月体育大会交流(藤支)

私は3年生になって初めて交流委員になりました。そして、初めて支援学校の体育大会に参加しました。一緒に応援合戦や、保護者の方たちと綱引きに参加し、支援学校の生徒たちとジェンカを踊りました。ジェンカでは車いすを押させてもらいました。交流委員になっていなければ、できなかった経験だと思います。応援席でも一緒に手をたたいたり、声をだしたりして、自分の団を応援しました。みんなその競技にとっても一生懸命で、一緒に応援していて元気をもらいました。交流委員になって初めての交流ということもあり、どうすればいいかわからないこともたくさんありましたが、一緒に楽しむことができよかったです。(3年)

●6月フェス体交流(藤高)

フェス体交流の日はすごく暑かったけど、来て頂いて嬉しかったです。眼が泥まみれになるくらい綱引きや「あな友」などの競技と一緒に頑張ってくれて、フェス体交流ってすごく一体感が出て良いなと思いました。すごく短い時間しか交流はできませんでしたが、次はフェス文交流があるので、その時を楽しみにしています。フェ

ス文交流も一緒に楽しんでもらえるようにできたら良いなと思います。フェス文が最後の機会なのでたくさん話したりできるようにしたいです。(3年)

●7月授業交流(藤支)

私は昼食交流で2-1の人達とごはんを食べました。みんな給食を手分けして準備していて、協力できるって、すごいなと思いました。給食で出ていたチキンがとてもおいしそうで、食べてみたかったです！思ったことを素直に表現してくれたり、顔には出なくても自分の意見をしっかり持っていて、ふいに出るあどけない笑顔がすごく素敵だったり、短い間だったけど、一緒にいれてよかったです。私達は、生活する上で不自由になることはあまりないけれど、心を自分で制御してしまったり、大事な人と人の支え合いを、つい忘れがちになってしまいます。そういう時、藤支の人達の笑顔は、とても心に染みます。障害がある、ないで人間が分かれることはなくて、大事なものはやっぱり支え合う互いの温かい心だと感じました。藤井寺支援学校のアットホーム感が大好きです！！また会うことがあったら、今日の信話をしたいです。ありがとうございました。(2年))



綱引きはエキサイトします！



一緒に教室で授業に参加

●7月音楽交流（藤支のホール）

藤井寺支援学校に来て、初めはすごく緊張していたけど藤支の人たちの発表を見て、その緊張を忘れるくらい楽しませてくれました。一緒にお昼ご飯を食べたときに、プラスバンドの演奏の時感動して泣いてしまったと言って下さいました。すごくうれしくて、その一言に泣いてしまいそうでした。藤支の人たちの発表もすごく良くて、一緒にオブラディオブラダを踊って良かったし、楽しかったです。ベルの演奏・あおむし・ルパン、どれもすごくよくて、自分もその中に入って一緒に演奏したいと思いました。お昼ご飯を食べ終わった後に、先生も入って女子4人でガールズトークをしました。好きな人はいるのか？彼氏はいるのか？とかいろいろ話ができ、とても楽しかったです。また同じメンバーで、その後の心境を語りたいです。今日すごく楽しかったので、来年も藤支との音楽交流をしてほしいです。そのためにもっといい演奏をできるように練習します。（1年）



シャープ駐車場から歩いて藤高到着



開会式で藤支代表あいさつ



藤井寺支援学校の生徒と本校プラスバンドがそれぞれに練習を積んできた曲を披露します
合同音楽演奏会です



食堂で昼食交流

●9月フェス文交流（藤高）

藤支生が藤高文化祭を見学します
学校全体で歓迎します

朝プール横で皆さんを藤井寺支援学校の方を待っていましたが、支援学校の皆さんはとても楽しみにしていたのかすごく笑ってくれている子が多く、藤高生としてもとてもうれしく思いました。前回の授業交流の時に同じグループで活動していた子もいたので、あまり緊張せずに動けました。最後のお見送りも時も支援学校の皆が水風船などの景品をたくさん持っていたり、それで遊んだ子もいれば、床に座ってしまっかなか動かない子もいたので、そんなに楽しんでくれたんだと思っていました。最後別れるときも笑いながらバスに乗っていく姿を見て、とてもうれしく思いました。（3年）



階段の移動はみんなで協力

● 12月スポーツ大会交流（藤支）

今日は交流すごく楽しかったです。私は藤支との交流は初めてで、最初はめちゃくちゃ戸惑ってどうしていいか分からなくなったりしました。でも、スポーツ大会でトントン相撲大会があって、緊張もほぐれてきて楽しくなってきました。トントン相撲大会も、準優勝できて嬉しかったです。昼ご飯でも緊張して上手く喋れなかったのですが、面白かったです。全然喋れなくてスママセンでした…。フォークソング部の演奏では、いい緊張感の中で演奏することができて満足な出来だったので良かったです。今までの練習とかの中でも、一番上手く演奏することができて嬉しかったです。私は2曲目だけだったので演奏する時間は少なかったのですが、アンコールでの「アゲハ蝶」では、すごく盛り上がり、先生方のノリも良くてすごく楽しんでもらえたと思います。手拍子とかいっぱいしてもらえて私のテンションも上がって自分の中では笑顔でできたと思います。すごく楽しくて演奏中とかコンサートの間は時間が経つのが早く感じました。HRでも一緒に写真を撮ったりして今日一日めちゃくちゃ楽しかったです。ビックリしたこともありましたが、また来年も交流に来るのが楽しみです。今日は本当に楽しかったです。（1年）



▲ 藤支・藤高合同チームがトントン相撲に取り組んでいます相撲の力士には楽しいキャラクターが登場します。

▼ トントン相撲終了後は昼食交流
午後はホールに集まってフォークソングの演奏会



● 5月生徒会・交流役員交流（藤支）

藤高フェス体の招待状を渡し、
オブラディ・オブラダを練習します
役員同士で昼食交流中



● 1月作品展交流（藤支）

交流委員が藤高の作品を藤支体育館に
展示しています



● 2月カラオケ交流（藤支）

一緒に歌やダンスなどを発表します
舞台裏で最終打ち合わせ中
みんな真剣です





両校を経験して

杉野美智子(現山本高校校長、H21～22藤井寺支援学校校長、H6～14藤井寺高校教員)

平成21年4月藤井寺支援学校同窓会総会に新着任校長として出席した際、卒業生に『今日、藤高交流ですか?』と声をかけられました。藤養の生徒会長だった人で、久しぶりに親戚に会ったような懐かしさと温かさを感じました。『今も当時の藤高の人たちと、ボーリングに行ったりしています。』と聞き、うれしくてたまりませんでした。今の藤井寺支援学校の教員に、藤高の卒業生が4人もいます。この交流が教員を目ざしたきっかけになった人もいて、とても素敵なことだと思います。

藤高の教員時代、藤養生の動線や時間はこれで良いのだろうか、藤養生はしんどかったんじゃないだろうか、藤養の先生方に気を遣わせているのではないだろうか、正直心配することがありました。ところが支援学校に赴任して、それらが杞憂だったことに気づきました。藤支の生徒たちは、藤高に行く日、藤高生が来てくれる日を、ものすごく楽しみにしています。交流当日の彼らの笑顔は輝くばかりです。一方、支援学校の先生がたは、藤高に負担をかけていないか、藤高生も無理をしてきているのではないかと気遣っているのです。彼らは同じ高校生、いっしょの時間を共有することが大切であり、そこには何の遠慮もいらぬのです。

これからも、互いのしたいこと、してほしいこと、できること、できないことを遠慮なく出し合い、話し合い、つながりを深めていただきたいと思います。



人生の分岐点

中野 沙知重(旧姓 遠藤) 藤高25期生

藤井寺支援学校とは高校生の時には交流で、大学生の時には教育実習で、そして3年前からは小学部の教員として長いお付き合いをさせてもらっています。

高校入学当初、運動部に入学したものの挫折した私を、友人が誘ってくれたことがきっかけでボランティア部に入りました。活動内容は、児童養護施設への訪問や街頭募金、そして藤養(藤支)との交流等で、自分の知らない世界がこんなにあったのかと驚きの連続でした。中でも、藤養の先生方の底抜けの明るさと面白さには衝撃を受けました。何となく教師という職業に憧れを抱いていたのですが、交流を重ねるうちにこの場所で働きたいと思うようになりました。

3年生の時には憧れが夢となり、藤養の先生からアドバイスをいただいて、希望した進路に進むことができました。

今の自分があるのは、藤高と藤支の交流があったおかげです。そしてきっかけを与えてくれた友人、当時の顧問の先生と藤養の先生方には大変感謝しています。今後も両校の交流活動が益々盛んになることを願っています。

交流活動の歩み (2005～2013)

2005～2006 交流委員長 岡田悦子

6年前の記憶をたどり寄せて、一番に思い出すのは藤養音頭の事である。それまで藤養の生徒達と藤高応援団、交流委員が踊っていたものを、藤高生全員が参加して踊ることにしたのだ。フェス体の予行で、何度もこれでもかという位に練習の時間をいただいた。本番当日、藤高、藤養双方の生徒達がグラウンド一杯に広がって踊る様子はなかなかのもので、踊り終えたときにはほっと胸をなでおろした。

とにかく、いずれの交流行事においても、担当者同士が頻りにメールのやりとりをするので、お互いの要望の調整に努めた。フェス文で茶道部において、お手前の回数を増やしてもらったのもその一つであり、喜んでもらうことができた。

授業交流、音楽交流、カラオケ交流、卒業式参加などで、生徒達と一緒に大和川の川べりを自転車で行ったのもその季節の景色と共に、懐かしく思い出させる。

2008～2010 交流委員長 片岡加陽子

2008年、2009年は、本校のフェス体の翌日が藤支の体育大会という日程となってしまう、フェス体交流は、あらかじめテープに録音していただいた藤支からのエール交流を流し、藤支からのお客さんなしで本校からのエール交流をする、といった形式だけの交流しかできませんでした。さらに、2009年度は新型インフルエンザの流行のため、フェス文1週間前に、急速フェス文交流中止の判断ができました。しかしながら、そのほかの交流委員を中心とした交流行事については予定通り実施することができ、藤支の30周年記念式典には本校交流委員も3名出席させていただきました。

2010年は行事日程を調整して、3年ぶりのフェス体交流、2年ぶりのフェス文交流を実施し、さらに、フォークソング部員によるスポーツ大会交流を新たに始めました。3年ぶりのフェス体交流復活できたときにはグラウンドに集まった全校生徒が応援団のリーダーシップのもとに藤支の生徒たちと共に藤養音頭を踊る光景を知らずに藤高を卒業していく生徒を出さずに済んでよかったと本当にうれしく思いました。

2011～2013 交流委員長 磯充代

藤井寺養護学校の校名が藤井寺支援学校と変更されたため、それまでフェス体交流で踊っていた「藤養音頭」に代わり、2011年度からは藤支のスポーツ行事で踊られていた「オブラディ・オブラダ」が使われるようになりました。2012年は6月～11月にかけては耐震工事のために校舎回りに足場が組まれ、中庭が資材置き場になり、コンサートや模擬店など屋外での催しができませんでした。このためフェス文交流は規模を縮小して、藤支からは3年生だけの来校となり、校舎内での取り組みを楽しんでもらいました。この年から藤支生との交流を深めるために、フェス体交流・フェス文交流においてパディ方式を取り入れ始めました。2013年2月のカラオケ交流は藤高でインフルエンザが流行し、2年生で学級閉鎖があったために残念ながら中止となりました。また長年藤支への移動は自転車を利用していましたが、2013年度はバスをチャーターしての移動となり、天候に左右されることなく交流行事に取り組めるようになりました。

海外交流研修について

海外交流委員 妻鹿悦子

藤高における海外交流体験研修は、平成13年から18年の間に5回、その後希望者不足や費用の高騰で中断したが、長野高校に転勤された小関先生、内本先生、本校に新任で来られた竹内先生を中心に復活し、22年には長野高校との合同で、翌23年には再び単独で、そして今年、梶原先生の熱意あふれる呼びかけに16名の生徒が集まり、オーストラリア・サンシャインコーストのカラウンドラで実施された。ここでは、その終えたばかりの第8回海外ホームステイ研修を簡単に振り返ってみたい。

まず、出発前には必ず事前研修を行っている。これはいつも海外交流委員の先生方及び多くの先生方のお力をお借りして行われる。

お別れ会の出し物の練習もこの期間に行うのだが、今回はソーラン節を踊るためにYouTubeで研究したり、日本舞踊の振付を参加生徒が教えてもらってくるなど、自分たちでよく動いていた。

出発前日の結団式では、その出し物を保護者の前で披露したり、研修に対する意気込みや家族への感謝を英語で述べるなどし、温かい雰囲気の中で出発を迎えた。

現地へは、関空からゴールドコースト空港まで直行便で8～9時間。乗り換え時間のロスがなく、移動は楽であった。カラウンドラは最初は寒感じたが、過ごしやすく、治安も非常によく、清潔で、安心できる街だった。



受け入れ校であるカラウンドラ高校には、長期の留学生が20人以上在籍しており、インターナショナルルームと呼ばれる部屋が彼らと我々の集合の場所となる。我々のホームステイ先にその留学生がいる家庭もあり、オーストラリア人以外にドイツ人やイタリア人の友達ができ生徒もいた。ホストファミリーと校内のbuddyは別になっており、より多くのオーストラリア人と触れあうことができた。学校ではbuddyの授業と一緒に参加する時間が一日に2時間以上あったり、動物園見学やサーフィン講習もbuddyや留学生と一緒にだったり、体育祭にいきなり出場したりなど、学校の中に溶け込んで学校生活を送っている感じを強く持たした。

研修最終日にはお別れパーティがある。今回は柔道・剣道の形を見せたり、ソーラン節では法被を着、日本舞踊は浴衣姿で踊った。また、参加生徒の中に箏曲部員が2名いたのが縁で、顧問の奥田先生のご協力のもと、琴を現地まで運び、琴の演奏も行った。初めはサーフボー

ードと間違われた琴の、その美しい音色にパーティ会場は完全に魅了され、パーティは楽しくにぎやかに感動の涙で終わりを迎えた。

今回は初めての場所だったせいか、予定表やホストファミリーの連絡の来るのが遅く、急な予定変更や、我々と相手校また相手校の中でも連絡の不徹底があった。とはいえ、内容の濃いプログラムで充分満足できる内容であった。自分を変えたいと言って参加した生徒が多かったが、どの生徒にも大きな変化があったはずである。ほぼ見知らぬ者同士の集まりが、事前研修を通じてお互いを知り理解し合い、現地では励まし合い慰め合い、たくさんの友達を作り、英語に苦勞し、他の仲間を羨ましがり、うまくいかずに悶々とし、日本の家族の有り難味を痛感し、それでも心のこもったホストのお別れの言葉とハグに感動の涙を流した。研修を終えてから彼らと再会するのが待ち遠しい。



藤井寺高等学校の高大連携・地域交流への取組

高大連携・地域交流担当首席 石原 哲

高大連携につきましては、現在大きく分けて二つの活動を行っております。

まずその一つは、四天王寺大学との高大連携活動です。平成17年、谷口校長より四天王寺国際仏教大学との高大連携を交流体験活動の一環として進めるという提案が有り、翌年8月には「四天王寺国際仏教大学・同短期大学と大阪府立藤井寺高等学校との連携に関する協定書」が取り交わされました。

現在のその主な活動としては、2学期末に四天王寺大学が開講する教育・保育・福祉の3コースの講座・演習体験が上げられます。多い時には30名近くの生徒が参加し、各自の進路決定の参考としています。参加した生徒達の感想文でも「大学の雰囲気がよく分かった」、「大学の演習がどんなものか分かった」等の意見が多く、良い効果があった事が分かります。更に昨年度には、春期休業中に幼児教育への進路を志望している生徒を対象としたピアノレッスンの講座が開かれ数名の生徒が参加しました。これに一定以上参加した生徒には幼児教育に進学するのに十分なピアノの技術を持っている事を証明する終了証が手渡されました。今後も、四天王寺大学側の担当であるエクステンションセンターと連絡を取り、本校生に適した高大連携活動を検討して行きたいと思っております。

また、四天王寺大学の学生がフェスティバル文化の部に参加し、毎年行っている「ピュア・エデュケーション」に関する発表や、昨年まで毎月2回ほど行っていた人間福祉学科の学生が来校して本校

生徒との相談活動「虹色ベンチ」なども重要な連携活動として挙げておきたいと思っております。

さて、もう一つの取り組みとしては、大阪府立大学の高大連携講座への参加があげられます。毎年「工学研究の最先端」や「総合リハビリテーション学への招待」といった講座が、府立大学から夏期集中講座として募集されます。これに本校からも毎年数名の生徒が参加し、終了証を受け取っています。この高大連携講座に参加した卒業生の中には大阪府立大学に進学した者もいますので、更に参加人数を増やして行きたいと考えております。

これ以外にも、幾つかの大学の開催する高大連携講座連絡を受けることが有りますが、本校生が参加可能と判断した場合は即時に全校生徒に連絡し参加を呼びかけております。

地域交流につきましては、アイセル・シュラホールのご協力で毎年開催される「新春セミナー」「藤彩展」が最初に挙げられます。昨年度の「新春セミナー」では骨董やヨーロッパの山についての講演、本校吹奏楽部・フォークソング部の演奏等が発表されました。また、「藤彩展」では書道選択の生徒作品や美術部の作品、中山教諭の作品や、渡辺教諭の写真等が二週間展示されました。更に、これ以外にもシャープの文化祭のオープニング演奏や、藤井寺市の市民祭り・文化祭や三中フェスタ、津堂地区のさくらまつり等の地域の催しに、吹奏楽部を中心に積極的に参加しております。



藤高の地域活動への取組み

昨年度は、藤井寺市の市民祭り、富田林でのクリスマスチャリティーコンサート等へ吹奏楽部が参加しましたが（市民祭りにはフォークソング部も参加）、今年度も津堂地区で行われた「さくらまつり」や藤井寺市の市民祭りに参加しました。

藤高は地域の活動に積極的に貢献したいと考えております。



制服

学園紛争の嵐が過ぎた直後に創設された本校では当初制服は未制定で、生徒は暫定的に中学校の制服のまま通学することになった。生徒、保護者の早く制服制定をとの強い要望により、生徒、PTA、教員の代表からなる制服制定委員会により検討がすすめられた。問題となったのは女子の制服である。当時の家庭科の清先生によるデザインをもとに広く意見をとり入れ、ようやく制服が決定された。ネクタイは夏・冬とも学園の平和と発展を表わすカラーであるグリーンに統一した。

6月1日の夏服より、真新しい制服で全員が晴々と登校できるようになった。さいわい本校の制服は、生徒、父母、それに一般市民にも好評を博している。（10周年記念誌より抜粋）

現在のブレザーの形にかわったのは31期生からである。



校歌

開校まもなく、校歌早期制作の声があがり、さっそく全職員・生徒より歌詞を募集した。音楽方面でも活躍中の国語科の森井久夫教諭に制作を依頼。昭和50年春「藤井寺高等学校の歌」として誕生。清らかなメロディーと、古き歴史を語る地に本校の発展を願う詩は、職員・生徒に親しまれ長く歌われてきた。創立10周年に「校歌」として制定された。

—作者のことば—

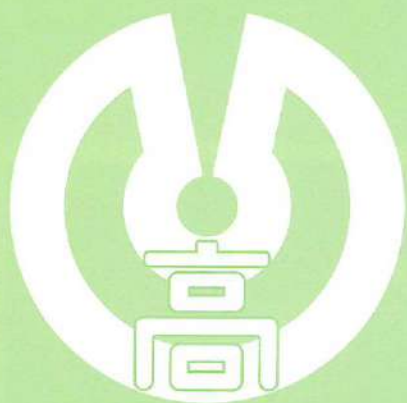
作詞・作曲 森井 久夫

この校歌は大和川の堤防で生まれました。近鉄「国分駅」から大和川に沿って約7km西下したところに藤井寺高校があります。私はこの道を、晴雨にかかわらず、自転車のペダルを踏みながら通いました。南には応神天皇陵をはじめ、巨大古墳の森が次々に姿を見せ私の心を引きました。東には二上山、金剛、葛城の山々が悠然とすわり、帰路を楽しませてくれました。また大和川の四季の移り変わりもすばらしいものでした。春のつくしん坊菜の花の群生、夏の緑と野鳥の歌声、秋の月見草、冬のユリカモメや鴨の飛来、この美しい自然を十分に観賞しながら、私は口笛を吹き、校歌を作りました。万葉集が好きだったので、歌詞は五七調にし、頭に浮かんだ歌詞に勝手なメロディをつけて、あれこれと考えているうちに現在の形のものででき上がりました。したがってこの校歌は頭で作ったのではなく、大和川と御陵を目の前に見ながら自然に浮かんできたものです。



ありがとうフジタカ 各期の思い出

Fujiidera High School 40th Anniversary





40期生

1年担任

学年主任	藤島 元
1組	片岡加陽子
2組	桃井 実
3組	中出 昇
4組	見谷佳菜子
5組	吉岡 千晴
6組	植木えり子
7組	中尾 和弘
8組	林 万美

40期生を迎えて

40期生 1学年主任 藤島 元

創立40周年という節目の年の入学生。この意義ある学年を、担任団として迎え、お祝いできますことを誠に光栄に感じています。前年度の工事で、校舎の外観も装いを新たにしながらの入学式。特に、今年は前期入試が導入され、前期・後期ともに高倍率を突破した生徒達の喜びのなかにも緊張した顔を見て、我々も生徒達の期待に応えられるよう、決意を新たにしました。

入学してからの生徒達は、遠足、フェス体、藤支交流体験等を経験し、現在は夏休みから、3年生並みに文化祭準備に熱心に取り組んでいます。どの行事にも自ら主体的に参加していくという気概を感じます。

1年担任団としても、生徒の活動の場を広げる試みのひとつとして、藤高初の海外研修旅行(台湾・台北)を計画し、異文化理解学習や現地での学校交流を通して、コミュニケーション能力の向上を図っていきたくと考えています。

さて、教育を取り巻く環境は、大きく変化しておりますが、この変化の中でも、地道に本校の教育目標である、「やさしさ かしこさ たくましさ」を育てることを忘れることなく、生徒達の自主性を伸ばし、自己の進路を実現できるよう、担任団として、努力をしまいたいと存じております。



学年主任
藤島 元

■社会の動き 2013年(平成25年)

高校で体罰自殺事件

2020年東京でオリンピック開催決まる

アベノミクス効果

39期生

1年担任

学年主任	鈴木 将二
1組	今坂 英之
2組	亀川 樹
3組	高橋 正雄
4組	山本 有里
5組	妻鹿 悦子
6組	富永 啓子
7組	船本 真理
8組	梶原 亜美

2年担任

学年主任	高橋 正雄
1組	今坂 英之
2組	亀川 樹
3組	山本 有里
4組	奥河 圭一
5組	船本 真理
6組	梶原 亜美
7組	竹本 隆
8組	妻鹿 悦子

『39期生に望むこと』

39期生 学年主任 高橋正雄

39期生担任団は、生徒が誠実で責任感の強い人間に成長することを最大の目標としてきた。入学以来、担任各自の持ち味を生かしつつ、全員で生徒達に時に厳しく時に優しく接しながら、日々の教育に取り組んできたが、一年半を経た今、少しずつだが成果を感じ始めている。入学直後の幼稚な言動が影をひそめてきたこと、落ち着いた穏やかな顔つきに変わってきたこと、しっかりとした話し方や考え方ができるようになってきたことなど、生徒達はゆっくと、しかし間違いなく大人に近づいて来ていることを実感する。

さらに大きく成長する姿を、私達は見たいと願っている。農家に宿泊し、現地の文化や慣習を実体験する宮古島研修旅行では、遠く離れた沖縄のことを自分のこととして考えることのできる心を手に入れてほしい。最終学年で迎えるフェス体ではリーダーシップと責任感また協力する姿勢を身につけてほしい。学校行事に真剣に取り組むことで、生徒自身が鍛えられるだけでなく、藤高の伝統の継承と発展にも寄与することになる。卒業時の成長した生徒達の姿によって、私たちは真に評価されると考えている。



学年主任
高橋 正雄

■社会の動き 2012年 (平成24年)

山中教授ノーベル賞受賞

東京スカイツリー開業

衆院選で民主党敗北、安倍晋三内閣成立

38期生

1年担任

学年主任	木村 康夫
1組	鈴木 健一
2組	奥田 典子
3組	有本勢以子
4組	秋山 友見
5組	山地 宏幸
6組	浅野佳世子
7組	中山 耕一
8組	久田 裕二
9組	古城 幹也

2年担任

学年主任	木村 康夫
1組	鈴木 健一
2組	浅野佳世子
3組	古城 幹也
4組	中山 耕一
5組	奥田 典子
6組	秋山 友見
7組	久田 裕二
8組	山地 宏幸

3年担任

学年主任	木村 康夫
1組	奥田 典子
2組	浅野佳世子
3組	久田 裕二
4組	中山 耕一
5組	秋山 友見
6組	山地 宏幸
7組	古城 幹也
8組	渡辺 直之

学年主任
木村 康夫

■社会の動き 2011年 (平成23年)

東日本大震災

なでしこジャパンW杯優勝

野田佳彦内閣成立

■修学旅行 2012年

沖縄

38期生とともに

38期生 学年主任 木村康夫

今年のフェス体では一人の男性団長と三人の女性団長が活躍した。そのフェス体が盛況の内に終了した後、すぐさまフェス文の計画に力を注いでいる38期生。とにかく行事ごとが大好きで、その中で「藤高生らしさ」を育ててきた学年だと言える。

遠足、沖縄研修旅行など、見事な成果をあげてきたと褒めてあげたいと思う。それは、当日の出来栄だけでなく、準備段階での頑張りがすばしかったからだ。担任団の先生方が支えている部分の大きいこともあるが、それに応えている生徒諸君の力があってこそ、さまざまな成果が上がっているのだと思う。目標を明確にした上で段取りをし、着実に綿密に準備をして、本番を迎える。高校生活だけでなく、実社会に出ても通用するような力、かしこさとたくまさを磨いている。

二年生の時にもレベルの高い取り組みを見せてくれたフェス文。今年はどうなフェス文になるのか、楽しみにしている。そして、一人一人の生徒諸君が、自分の進路志望を見事かなえてくれることを期待している。



37期生

37期生の思いで

37期生 学年主任 的場崇泰

37期生は、一年より担任として学年に所属させていただき、年度末の人事異動により、主任の前谷先生が転動され二年、三年と担任の先生方に大変迷惑ばかりかけながら、何とか卒業まで漕ぎ着ける事ができ、今はほっとしております。37期生とともに私の教員生活38年も終わりましたが、色々な学校で、沢山の先生方、生徒達と出会い楽しい思い出をいただきましたが、運よく私の所属する学年は、生徒指導上の問題もなく、行事の時の天候にも恵まれ本当に楽しく教員としての人生を送ることができました。37期生も大きな問題もなく、3年間の行事等も天気に恵まれ、特に研修旅行は、危機一髪その日のうちに帰れないかなと心配しましたが、何とかその日のうちに帰阪することが出来胸を撫で下ろした事を今も忘れることができません。又若い先生方、係の先生方で盛り上げていただいた全体レクリエーションも、本当に楽しい思い出として心に残っております。当初フェス体、フェス文も2年3年と学年が進み本当にリーダーシップをとりやっていたのかと心配しましたが、3年時には本当に成長した姿を見て胸が熱くなりました。

又私が指導している柔道部においても、女子の団体戦で近畿大会に出場出来た事は、私にとって大切な思い出であり37期生を誇りに思っています。本当にありがとう。色々な場面で頑張った気持ちをこれからの人生でも大いに発揮してくれることを願っています。



1年担任

学年主任	前谷 一生
1組	山本 晃敏
2組	島田 理恵
3組	竹本 隆
4組	植木えり子
5組	八木沼 隆
6組	三島 寿之
7組	井上 佳奈
8組	川口 恭子
9組	的場 崇泰

2年担任

学年主任	的場 崇泰
1組	竹本 隆
2組	八木沼 隆
3組	三島 寿之
4組	川口 恭子
5組	井上 佳奈
6組	植木 えり子
7組	山田 祐子
8組	島田 理恵
9組	高橋 靖直

3年担任

学年主任	的場 崇泰
1組	川口 恭子
2組	高橋 靖直
3組	井上 佳奈
4組	植木えり子
5組	吉岡 千晴
6組	山田 祐子
7組	島田 理恵
8組	竹本 隆
9組	山本 晃敏



学年主任
的場 崇泰

■社会の動き 2010年(平成22年)

高校授業料無償化法

子ども手当法

菅直人内閣成立



36期生

1年担任

学年主任	横山 博次
1組	得田 誠也
2組	大嶋 信次
3組	竹内 理沙
4組	田村 恵子
5組	石原 哲
6組	杉谷久美子
7組	吉川 久恵
8組	藤田 悠介

2年担任

学年主任	横山 博次
1組	竹内 理沙
2組	田村 恵子
3組	大嶋 信次
4組	得田 誠也
5組	杉谷久美子
6組	吉川 久恵
7組	藤田 悠介
8組	高塚 健治

3年担任

学年主任	横山 博次
1組	藤田 悠介
2組	吉川 久恵
3組	田村 恵子
4組	妻鹿 悦子
5組	得田 誠也
6組	高塚 健治
7組	竹内 理沙
8組	片岡加陽子



学年主任
横山 博次

■ 社会の動き 2009年 (平成21年)

オバマ大統領就任

衆院総選挙で民主党圧勝

鳩山由紀夫内閣成立

■ 修学旅行 2010年

沖縄

祝創立40周年

36期生 学年主任 横山 博次

創立40周年おめでとうございます。私は、2004年度から2012年度まで藤井寺高校に勤務しました。初出勤の日、藤井寺駅から初めて歩く道、学校がだんだん近くなるのに目の前から道がなくなり、来た道を引き返してようやく学校に辿り着いたことがまるで昨日のこのように思い出されます。それから9年間、駅から学校まで、田んぼの稲の成長に季節の移り変わりを感じながら自転車で通った日々は、これからも忘れることはないでしょう。

藤井寺高校では、素晴らしい同僚の先生方に出会い、多くの素直でやさしい生徒達に恵まれ、楽しく充実した日々を送ることができました。いろいろなことがありましたが、今振り返ってみれば、どれも懐かしく楽しい思い出ばかりです。

32期生は、藤高で初めて担任した学年でした。その中から、教職を目指す生徒が多く出たことはうれしいことです。36期生とは、学年主任として3年間を共に過ごしました。印象に残っているのは、2年生での遠足葛城登山、沖縄研修旅行、勉強合宿です。葛城登山では、全員が途中リタイアすることなく、山頂まで登りきったことは感動でした。研修旅行では、沖縄の自然と文化に触れることができました。慶佐次川でのカヌー、やんばるの森トレッキング、青く澄んだ海での舟釣りにマリンスポーツ、紅芋掘りやサトウキビ収穫、シーサー作りなどの体験学習に美ら海水族館。そして、生徒が3~5人の班に分かれ、民家に宿泊するファームステイは、生徒たちにとって良い経験になったことと思います。2年生の春休みに始まった勉強合宿は参加生徒7名でした。1日10時間以上勉強し、就寝時間になっても勉強をやめようとする生徒たちには、藤高生の持っている底力を感じました。その後、勉強合宿に参加する生徒が増え、今も続いていることは喜ばしいことです。

最後になりましたが、藤井寺高校のますますのご発展と関係諸氏のご健康、ご多幸をお祈りいたします。



35期生

35期生の思い出

35期生 学年主任 篠本 明

フェス体、フェス文をはじめ、行事の大好きな生徒たちだった。

1年生のフェス文直前のある夜、太和川の河川敷で劇の練習をしたクラスがあった。夕食を終えた時に、「生徒たちが帰宅していません。」という連絡があって、急いで学校へ駆けつけた。生指や生徒会の先生方が暗闇の中を探して回っていた。もう帰ったかも知れないと、担任の木村先生に生徒の帰宅を確認してもらってから解散した。木村先生「そこまでやるとは思ってもよらなかった。でも、ある意味褒めてやりたい。」生指の中出先生「叱らないといけないけど、やる気をつぶさないようにしないと。」翌日学年集会を開いた。

2年生は新型インフルエンザの大流行で明け暮れた。5月に1週間の一斉休校。本校に波が押し寄せたのは2学期になってからだった。学年だけで100名を超える罹患、2クラス学級閉鎖。沖縄の研修旅行前には保護者説明会を開いた。旅行の時期には取まったが、沖縄では初日に津波警報が出た。その日は伊江島に4クラスの生徒が渡っていた。連絡船欠航の報せを聞いた後、予定変更が私の頭の中をグルグル空回りしていた。連絡船がその日の内に遅れて就航した時、ほっと胸を撫で下ろした。最後の夜の全体レクリエーションは、どのクラスも工夫を凝らした出しものだった。いろんなアクシデントがあったが、沖縄のおじい、おばあの優しさに触れる旅だった。生徒たちにとって最高の思い出になる体験学習だったと思う。私にとっても、感慨深いものがあった。

3年生の文化祭では、舞台発表が6クラス、そのどれもが高い水準の出来だった。生徒たちは十分に高校生活を楽しんでくれたと思う。そんな生徒一人一人の顔が、いろんなエピソードとともに浮かんでくる。ありがとう35期生諸君。教員生活最後の3年間を君たちと過ごせたことを嬉しく思う。ありがとう35期学年団の先生方。生徒を見守る優しい目、懐の深い指導に感謝です。

1年担任

学年主任	篠本 明
1組	田中 愛子
2組	中出 智之
3組	西 まりこ
4組	磯 充代
5組	吉村 典子
6組	西尾 明保
7組	田中 義人
8組	木村 康夫

2年担任

学年主任	篠本 明
1組	中出 智之
2組	吉村 典子
3組	西 まりこ
4組	田中 愛子
5組	西尾 明保
6組	高橋 靖直
7組	磯 充代
8組	木村 康夫

3年担任

学年主任	篠本 明
1組	西尾 明保
2組	高橋 靖直
3組	田中 愛子
4組	吉村 典子
5組	中出 智之
6組	磯 充代
7組	西 まりこ
8組	木村 康夫



学年主任
篠本 明



■社会の動き 2008年 (平成20年)

中国製餃子食中毒事件

後期高齢者医療制度始まる

府生太郎内閣成立



34期生

1年担任

学年主任	大村	健三
1組	妻鹿	悦子
2組	高塚	健治
3組	前谷	一生
4組	吉田	正弘
5組	中村	恵子
6組	木本	喜代
7組	米澤	興治
8組	中村	忠雄

2年担任

学年主任	大村	健三
1組	中村	忠雄
2組	吉田	正弘
3組	米澤	興治
4組	中村	恵子
5組	小林	洋子
6組	前谷	一生
7組	妻鹿	悦子
8組	高塚	健治

3年担任

学年主任	大村	健三
1組	中村	忠雄
2組	前谷	一生
3組	高塚	健治
4組	島田	理恵
5組	米澤	興治
6組	妻鹿	悦子
7組	浅野佳世子	
8組	中村	恵子



学年主任
大村 健三

■修学旅行 2008年

スキー研修志賀高原

34期生の思い出

34期生 学年主任 大村健三

藤井寺高校創立40周年おめでとうございます。

さて、34期生をふり返ってみますとそれぞれに味わいのある担任の先生方と良い生徒に恵まれた学年でした。勉学も・行事も丁寧に指導する担任団は、お互いに創意工夫する中でクラスを、生徒を藤高生として磨き上げていったと思います。生徒のことになる真剣に議論をし、職員室に遅くまで残っているのはいつも34期生の担任でした。お互いに支え合うことができる担任団の雰囲気は他の学年にはないものでありました。また、生徒は1年の2学期頃から幼さが消え高校生らしくなりました。その中でも最後の卒業式は、34期生全員が一つにまとまって感動を呼ぶ卒業式になりました。この学年に3年間かかわってきてほんとに良かったと思いました。

藤高は行事を通して生徒の成長が見られる数少ない学校だと思います。1、2年できめ細かい指導を続けることが3年に結びつき、自主性・やる気を引き出します。こういう雰囲気の中で藤高生の優しさと人なつこさが育まれていくのでしょう。藤高生は手を掛ければ掛けるほどそれに答えて成果を残してくれます。勉強に、クラスに手間を惜しまずに指導することが面倒の良い藤高の特長を培ってきました。昨今の通学エリアの拡大によりこれまでと違う生徒が入学しており藤高も変わりつつあると思います。生徒の層が変わり、先生方も大きく入れかわる中で藤高の良さ・特長が少しずつ変化していくのを見るのはさみしい気がします。がしかし、新たな藤高を創り出すチャンスでもあるわけですから嘆く前に今後の方向性を積極的に模索していく必要があります。



■社会の動き 2007年 (平成19年)

年金問題発覚

ライブドア粉飾決算

福田康夫内閣成立

33期生

力を尽くせ。自分の道を創れ！

33期生 学年主任 森山義博

藤高 33 期生の卒業アルバムを開く。2 年次より急速学年主任になり、担任としての私の姿はない。そこが少し淋しくはある。しかし、33 期生と過ごした3 年間は長い教師生活の中でも大変穏やかな楽しい思い出深いものだ。

もちろん悩みや心配事のない人生などない。誰もが人知れず苦労をしているものだ。33 期生達ともそうした場面に何度も立ち会い話をし、家庭訪問などをした。しかし、何と穏やかな3 年間だったのかと思う。その一番の原因は何と言っても前向きで少し楽天的な 33 期生達の姿があったからだ。正直教師の立場ではこれでいいのか?と責任を感じざるえない場面があったが、この様な生徒達に恵まれて3 年間を楽しく過ごすことができた。

長年教師として、人生の目標を早くもち、進路を定め、夢を実現させるために努力をしなさい、と言ってきた。しかし、社会人として生きていく以上自分の予定・予想通りに進むことは少ないものだ。むしろその時々に関りに立ちふさがり障害や環境の中で生きることによって精一杯というのが普通だ。与えられた条件の中で前向きに、逃げずに、こつこつ生きていくこと。そうした中で、自分らしい道ができていくのではないかと。目標をもって生きる。夢をもって生きる。そのことと矛盾はない。自分の予定・予想より紆余曲折があるだけだ。

宮崎駿監督が新作アニメ「風立ちぬ」に関連して「力を尽くせ。どんな状況であれ職業人はその職業の中で精一杯やるしかない。力を尽くしても必ず見返りがあるわけではないが、やっぱり力を尽くしてやった方がいいんです」と言っている。見返りはないかもしれないが、その後には必ず誇れる道が残る。

33 期生達も現実の社会の中でもがき始めているだろう。一生懸命もがき、疲れたら休めばよい。元気が出たらまた歩き始めたらよい。4 年前担任としてこんなことを最後に話して送りたい。

1年担任

学年主任	川上 伸吉
1組	的場 崇泰
2組	森山 義博
3組	大西 順子
4組	三島 寿之
5組	岸田 弘文
6組	山本 晃敏
7組	半田 委己
8組	山田 祐子

2年担任

学年主任	森山 義博
1組	大西 順子
2組	三島 寿之
3組	的場 崇泰
4組	吉田 良男
5組	岸田 弘文
6組	半田 委己
7組	浅野佳世子
8組	山田 祐子

3年担任

学年主任	森山 義博
1組	的場 崇泰
2組	半田 委己
3組	山田 祐子
4組	大西 順子
5組	大田 和孝
6組	浅野佳世子
7組	八木沼 隆
8組	三島 寿之



学年主任
森山 義博

■社会の動き 2006年(平成18年)

ジャワ島大地震

秋篠宮悠仁親王誕生

安倍晋三内閣成立

32期生

1年担任

学年主任	石村 友秀
1組	石原 哲
2組	大田 和孝
3組	島田 理恵
4組	横山 博次
5組	泉田英理子
6組	岩本 敷子 石丸 秀司
7組	鈴木 将二
8組	片岡加陽子

2年担任

学年主任	石村 友秀
1組	横山 博次
2組	鈴木 将二
3組	大田 和孝
4組	片岡加陽子
5組	島田 理恵
6組	泉田英理子
7組	石原 哲
8組	石丸 秀司

3年担任

学年主任	石村 友秀
1組	片岡加陽子
2組	石丸 秀司
3組	島田 理恵
4組	石原 哲
5組	大田 和孝
6組	鈴木 将二
7組	横山 博次
8組	泉田英理子

学年主任
石村 友秀

■社会の動き 2005年(平成17年)

京都議定書発効

J R福知山線脱線事故

マンション等の耐震強度偽造問題

■修学旅行 2006年

富良野・小樽

32期生の思い出

32期生 学年主任 石村友秀

藤井寺高校創立40周年おめでとうございます。

私が藤高で関わった最後の学年32期生は、担任が一人を除いて全員兼任2年目というスタッフで始まりました。他学年の先生方からもご理解とご協力をいただき、多くの新しい取り組みが出来た事が嬉しい思い出となっています。

その中でも特に印象に残っているのは、新入生に対して次のような内容を発表したことです。

「藤高では放課後に、部活動をやるか講習を受けるかが選べます。あなたはどれを選びますか」と発表しました。生徒の反応は我々の予想を上回り、「両方やりたいのですがどうすればいいですか」という問い合わせが多くありました。その結果、例年は60%位の部活動加入率は80%を超え、講習参加者は35%にもなりました。その後も「夏休みも講習をやっていたいただけますか」等、嬉しい言葉をたくさん聞けました。部活動と講習の掛け持ち指導を快く引き受けて下さった先生方に感謝しています。

明るく積極的な生徒が多く、やんちゃもいっぱいして我々を困らせてくれたこともあったけど、持てる力を思いっきり発揮して、行事や授業に取り組んだ学年だと思います。私の授業(体育)では、3学期の持久走で、ほぼ全員が自己新記録を連発しました。教員生活31年で一番頑張った学年だと断言できます。

それぞれの思い出で過ごした3年間。最後はしみり涙を流せる卒業式にしたいと思い、卒業式委員を集めました。定年退職される先生、経営が変わることで辞められる食堂の方々、その人たちの卒業もお祝いしようと企画し、委員に託しました。彼らは見事に我々の意を汲み、立派な式で卒業していきました。

私を成長させてくれた藤高と32期生に感謝しています。

磨けば光る生徒たち、藤高の益々の発展に期待しています。



31期生

「31期生の笑顔と涙」

31期生 学年主任 中村忠雄

今、31期生の卒業アルバムを見ながら、彼らと過ごした三年間のことを思い出している。2004年4月の入学、合格発表に喜びのVサイン—ここから始まる高校生活、1年の遠足、奈良県・青少年野外センターでの飯ごう炊飯、チームワークの楽しさと難しさを知った新緑の木陰、その笑顔にはまだ幼さが残っていた。2年生の研修旅行は、長野県志賀高原高天ヶ原スキー場、今は飛行機利用が主流になっているが、私たちは往復バスの旅、バスの中でレクをしたり、帰りのバスでは、修学旅行の思い出を語り、このクラスのみならずと離れたくないと泣き出す女子生徒もいた。のんびりしたバス旅もまた素敵じゃないかと今でも思う。白銀のゲレンデの笑顔はとても輝いていた。3年生のフェス体、下級生をリードする姿に、ああ、大人になったなと喜んでいたので、担任だけではなく、保護者の方も目を潤ませていた、アルバムの紙面からその時の歓声が今も聞こえてくるようだ。フェス文では劇や模擬店にクラスのパワー全開、さすが3年生だと感激した2日間。

アルバムを繰っていると学年を追うごとに表情が大人びていくのがわかる。担任の先生方が熱心だった、勉強も行事も遅くまで生徒の面倒を見てくださった、身近で生徒に寄り添った担任の先生方を羨ましいと思う。アルバムを閉じると、卒業式の光景が目につく。思い出のビデオはBGMも編集も生徒の手作り、上映が終わると答辞、三年間を振り返りながら答辞を読む女子生徒が途中で絶句、その目から溢れる涙、あの涙は今でも忘れない。その涙は、藤高での生活がいかに楽しかったか、充実していたかを物語っていたから。

今は困難な課題山積の時代ではあるが、あの時の笑顔と涙を忘れずに力強く歩んでほしい、31期生が様々な分野で活躍してくれることを期待する。

1年担任

学年主任	中村 忠雄
1組	大村 健三
2組	三村 信二
3組	中川 輝美
4組	吉村 典子
5組	西矢 幸司
6組	織田 二郎
7組	川口 恭子
8組	阪上 潤子

2年担任

学年主任	中村 忠雄
1組	中川 輝美
2組	川口 恭子
3組	三村 信二
4組	中出 智之
5組	大村 健三
6組	織田 二郎
7組	阪上 潤子
8組	吉村 典子

3年担任

学年主任	中村 忠雄
1組	織田 二郎
2組	川口 恭子
3組	中川 輝美
4組	篠本 明
5組	吉村 典子
6組	大村 健三
7組	阪上 潤子
8組	中出 智之



学年主任
中村 忠雄

■社会の動き 2004年(平成16年)

鳥インフルエンザ騒動

九州新幹線開業

アテネ五輪



30期生

1年担任

学年主任	十河 静男
1組	中谷 利春
2組	仲村 公志
3組	川上 伸吉
4組	吉田 良男
5組	筒井 真澄
6組	内海 始
7組	大橋 哲嗣
8組	西澤 宏一

2年担任

学年主任	十河 静男
1組	吉田 良男
2組	仲村 公志
3組	牧野進一郎
4組	大橋 哲嗣
5組	筒井 真澄
6組	川上 伸吉
7組	西澤 宏一
8組	内海 始

3年担任

学年主任	十河 静男
1組	吉田 良男
2組	仲村 公志
3組	内海 始
4組	牧野進一郎
5組	川上 伸吉
6組	大橋 哲嗣
7組	西澤 宏一
8組	筒井 真澄



学年主任
十河 静男

社会の動き 2003年 (平成15年)

個人情報保護関連 5 法成立

六本木ヒルズ開業

米国で BSE 感染牛、米牛肉輸入禁止

修学旅行 2004年

横手山スキー場

学歴は必要

30期生 1年主任 十河静男

30期生も、1学期が過ぎ藤井寺高校の生活に慣れてきた頃です。入学当初の勉強に対する意欲少し落ちてきています。このままでは、自分の目標の進路には進めません。京都のある府立高校では国公立大学への進学が本校並みの十名程度であったのが翌年には100名以上の合格者を出したそうです。要因はいろいろあると思いますが最も大切なのは、本人のやる気です。受験勉強は非常にしんどい事ですし、他の楽しい誘惑が多いので、なかなか最後までやり遂げられません。

最近、学歴など関係ない。実力があればよい。とよく言われていますが、実力とは何でしょうか。

一般の仕事では、仕事することによって、その仕事に精通し熟練するものです。その仕事にかなければ、その仕事の実力はつきません。入社試験に必要なものは色々あります。その中で、自分で見つける事ができるものは学歴だけです。京都の府立高校の生徒のように、本校の生徒もやればできると思います。学校のルールを守りながら、目標の大学に入学できるように、保護者の皆様のご協力をお願いします。(30周年記念誌より)



29期生に思う

31期生 2年主任 吉元紀美子

2003年6月藤高生が熱く燃える日が来ていた。全学年8クラスとなり縦割り4回に分割構成され、3年生各団の指導が見事に充実していた年でもあった。2年になった29期生も運動部に所属しない生徒の多くが応援団やアビ制作りに動員されてゆき、短期間の内に燃えていった。あの日、たった一枚の手作りの賞状を競い合い、手渡される金色のトロフィに彼らが一様に涙するのは、なぜか。一発表時間、使える費用、人数などあれだけ多くの制約の中で彼らは自分達の総力を挙げて一つの形あるものを、その日までに完成させたのだ。一見、莫大なエネルギーの浪費に見えるその作業の日々に今は失われかけている教育の原点を私は見る。原案を作る能力、先輩達の残した遺産から学ぶ力、他社(自分以外の人間)を動かすことのむづかしさ、指導する者としての責任のとり方—世界を読み解き生きてゆく一人一人の市民を育てる教育にこれ程ふさわしい場はないのではないか。この立体構造を日々の学習にとり入れる術を今また私は模索している。(30周年記念誌より)



29期生

1年担任

学年主任	杉野美智子
1組	岡田 悦子
2組	八木沼 隆
3組	岸田 弘文
4組	秦 秀和
5組	阪本百合子
6組	吉元紀美子
7組	永田 禎一
8組	浅野 和実

2年担任

学年主任	吉元紀美子
1組	八木沼 隆
2組	浅野 和実
3組	岡田 悦子
4組	永田 禎一
5組	鈴木 正見
6組	阪本百合子
7組	岸田 弘文
8組	秦 秀和

3年担任

学年主任	吉元紀美子
1組	八木沼 隆
2組	鈴木 正見
3組	岡田 悦子
4組	浅野 和実
5組	阪本百合子
6組	岸田 弘文
7組	永田 禎一
8組	秦 秀和



学年主任
吉元 紀美子

■社会の動き 2002年(平成14年)

日韓でサッカーワールドカップ・開催

小泉首相訪朝、金正日総書記と会談

ノーベル賞小柴氏、田中氏ダブル受賞



平成13年 (2001年度)

Fujieda High School 40th Anniversary

28期生

1年担任

学年主任	斎部 幸則
1組	石村 友秀
2組	吉田 正弘
3組	井上 知子
4組	岩本貴久子
5組	中村 忠雄
6組	川口 千代
7組	中島 明人
8組	小林 洋子

2年担任

学年主任	斎部 幸則
1組	中村 忠雄
2組	吉田 正弘
3組	川口 千代
4組	岩本貴久子
5組	石村 友秀
6組	中島 明人
7組	井上 知子
8組	小林 洋子

3年担任

学年主任	斎部 幸則
1組	岩本貴久子
2組	中村 忠雄
3組	山口 湧三
4組	河内 正行
5組	小林 洋子
6組	石村 友秀
7組	内本 雅之
8組	藤原 安博

■修学旅行 2002年 10月20日~23日 沖縄・久米島

30周年記念式典



46 各期の思い出
28期生・27期生

平成12年 (2000年度)

27期生

1年担任

学年主任	大村 健三
1組	金丸 七郎
2組	坂口 周子
3組	伏井 信之
4組	木田 誠
5組	筒井 真澄
6組	西矢 幸司
7組	十河 静男
8組	古川 友子
9組	藤本 明

2年担任

学年主任	大村 健三
1組	藤本 明
2組	古川 友子
3組	藤本 保子
4組	西矢 幸司
5組	坂口 周子
6組	金丸 七郎
7組	平岡 宏一
8組	十河 静男
9組	木田 誠

3年担任

学年主任	大村 健三
1組	中川 輝美
2組	十河 静男
3組	西矢 幸司
4組	杉本 光恵
5組	木田 誠
6組	古川 友子
7組	藤本 明
8組	金丸 七郎
9組	平岡 宏一

■修学旅行 2001年 2月26日~3月1日 軽井沢プリンスホテルスキー場



■修学旅行 2000年 2月28日～3月4日 スキー横手山



26期生

1年担任

学年主任	森安 雄生
1組	松本 貴仁
2組	森山 義博
3組	米澤 興治
4組	青山 輝代
5組	植田 亮介
6組	小関 嗣郎
7組	山口 湧三
8組	内海 始
9組	石川 要三

2年担任

学年主任	森安 雄生
1組	石川 要三
2組	松本 貴仁
3組	小関 嗣郎
4組	森山 義博
5組	青山 輝代
6組	植田 亮介
7組	内海 始
8組	山口 湧三
9組	米澤 興治

3年担任

学年主任	森安 雄生
1組	小関 嗣郎
2組	植田 亮介
3組	米澤 興治
4組	松本 貴仁
5組	石川 要三
6組	山口 湧三
7組	内海 始
8組	森山 義博
9組	木村 好孝

■修学旅行 1999年 2月26日～3月1日 スキー横手山



平成10年 (1998年度)

25期生

1年担任

学年主任	中谷 利春
1組	秦 秀和
2組	中川 輝美
3組	永田 祐一
4組	大川原香子
5組	杉本 光恵
6組	阪本百合子
7組	斎部 幸則
8組	杉野美智子
9組	廣田 恭久
10組	村田 和隆

2年担任

学年主任	中谷 利春
1組	廣田 恭久
2組	斎部 幸則
3組	大川原香子
4組	秦 秀和
5組	中川 輝美
6組	村田 和隆
7組	永田 祐一
8組	阪本百合子
9組	杉野美智子
10組	杉本 光恵

3年担任

学年主任	中谷 利春
1組	斎部 幸則
2組	阪本百合子
3組	秦 秀和
4組	杉野美智子
5組	村田 和隆
6組	永田 祐一
7組	杉本 光恵
8組	大川原香子
9組	中川 輝美
10組	廣田 恭久



平成9年 (1997年度)

Fujiedera High School 40th Anniversary

24期生

1年担任

学年主任	伏井 信之
1組	大村 健三
2組	中川 洋一
3組	橋本 保子
4組	関本 幸子
5組	角谷 修治
6組	藤原 安博
7組	鈴木 正見
8組	川村 高明
9組	湯淺 博

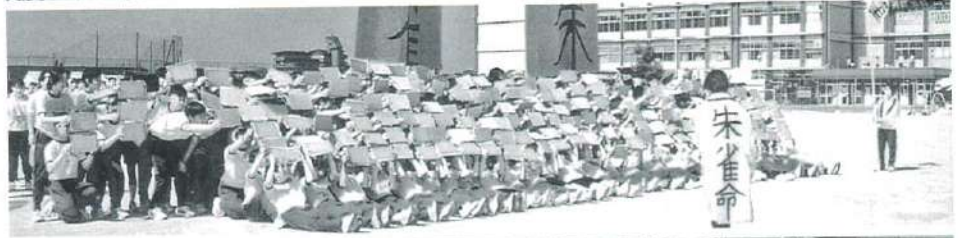
2年担任

学年主任	伏井 信之
1組	橋本 保子
2組	藤原 安博
3組	中川 洋一
4組	鈴木 正見
5組	大村 健三
6組	関本 幸子
7組	角谷 修治
8組	冠木 宇治
9組	岡田 正雄

3年担任

学年主任	伏井 信之
1組	吉田 正博
2組	角谷 修治
3組	鈴木 正見
4組	関本 幸子
5組	岡田 正雄
6組	中川 洋一
7組	北山 祥子
8組	橋本 保子
9組	大村 健三

■修学旅行 1998年 2月27日~3月3日 スキー横手山



48 各期の思い出
24期生・23期生

平成8年 (1996年度)

23期生

1年担任

学年主任	木村 好孝
1組	平岡 宏一
2組	十河 静男
3組	木田 誠
4組	稲田 和子
5組	田中有美子
6組	西村 隆男
7組	吉川 恵司
8組	坂口 周子
9組	西野小枝子
10組	植原 竜二

2年担任

学年主任	木村 好孝
1組	吉川 恵司
2組	十河 静男
3組	平岡 宏一
4組	坂口 周子
5組	稲田 和子
6組	田中有美子
7組	植原 竜二
8組	西村 隆男
9組	木田 誠
10組	西野小枝子

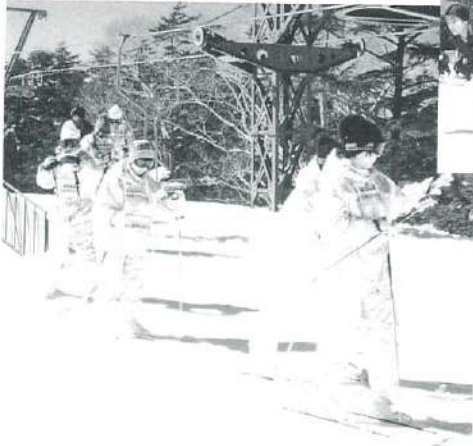
3年担任

学年主任	木村 好孝
1組	西野小枝子
2組	十河 静男
3組	田中有美子
4組	植原 竜二
5組	木田 誠
6組	坂口 周子
7組	西村 隆男
8組	平岡 宏一
9組	稲田 和子
10組	吉川 恵司

■修学旅行 1997年 2月27日~3月3日 スキー横手山



■修学旅行 1996年 2月27日～3月3日 スキー横手山



22期生

1年担任

学年主任	山口 湧三
1組	妻谷 光治
2組	服部 真人
3組	船井 嘉彦
4組	塩田 明彦
5組	松本 真仁
6組	井上 知子
7組	松浦 紀彦
8組	吉田 良男
9組	森安 雄生
10組	川村 高明

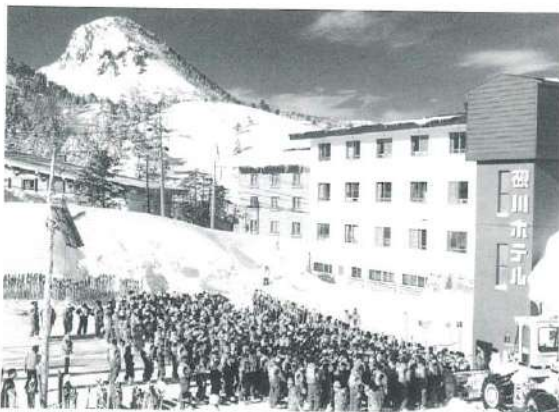
2年担任

学年主任	山口 湧三
1組	吉田 良男
2組	中島 明人
3組	河内 正行
4組	森安 雄生
5組	妻谷 光治
6組	井上 知子
7組	船井 嘉彦
8組	松本 真仁
9組	松浦 紀彦
10組	岡田 正雄

3年担任

学年主任	山口 湧三
1組	内本 雅之
2組	船井 嘉彦
3組	吉田 良男
4組	森安 雄生
5組	中島 明人
6組	岡田 正雄
7組	伊藤 真治
8組	河内 正行
9組	松本 真仁
10組	井上 知子

■修学旅行 1995年 2月28日～3月3日 スキー横手山



平成6年 (1994年度)

21期生

1年担任

学年主任	長 実
1組	渡辺 武
2組	大川原香子
3組	阪本百合子
4組	坂上 公一
5組	内本 雅之
6組	杉野美智子
7組	武市 哲明
8組	杉本 光恵
9組	増田恵理子
10組	吉元紀美子
11組	奥田真由美

2年担任

学年主任	長 実
1組	坂上 公一
2組	増田恵理子
3組	杉野美智子
4組	杉本 光恵
5組	奥田真由美
6組	阪本百合子
7組	大川原香子
8組	内本 雅之
9組	吉元紀美子
10組	渡辺 武
11組	武市 哲明

3年担任

学年主任	長 実
1組	奥田真由美
2組	増田恵理子
3組	内本 雅之
4組	吉田 正博
5組	坂上 公一
6組	杉野美智子
7組	渡辺 武
8組	吉元紀美子
9組	杉本 光恵
10組	大川原香子
11組	阪本百合子



平成5年 (1993年度)

Fujiedera High School 40th Anniversary

20期生

1年担任

学年主任	中川 武之
1組	冠本 幸治
2組	伊藤 彰
3組	磯野 正幸
4組	請田 伸
5組	田原 順夫
6組	堀野 輝美
7組	中川 幸子
8組	中須賀敬子
9組	関本 淑子
10組	吉田 久徳
11組	田原 信之
12組	伏井

2年担任

学年主任	中川 武之
1組	吉田 淑子
2組	関本 幸子
3組	田原 久徳
4組	伊藤 眞治
5組	冠本 宇治
6組	中川 輝美
7組	堀野 順夫
8組	磯野 彰
9組	中須賀敬子
10組	田原 伸
11組	伏井 信之
12組	請田 正幸

3年担任

学年主任	中川 武之
1組	田原 伸治
2組	伊藤 眞治
3組	伏井 信之
4組	磯野 彰
5組	中川 輝美
6組	田中 健一
7組	請田 正幸
8組	木村 好孝
9組	堀野 順夫
10組	関本 幸子
11組	中須賀敬子
12組	冠本 幸治

■修学旅行 1994年 2月28日~3月3日 スキー横手山



50 各期の思い出 20期生・19期生

平成4年 (1992年度)

19期生

1年担任

学年主任	岡田 正雄
1組	妻谷 光治
2組	榎原 竜二
3組	河上 修
4組	金丸 七郎
5組	吉田 正博
6組	杉田 真城子
7組	河内 正行
8組	平岡 宏一
9組	中川 洋一
10組	中島 明人
11組	橋本 保子
12組	松本 貴七

2年担任

学年主任	岡田 正雄
1組	中島 明人
2組	川村 高明
3組	橋本 和子
4組	橋本 保子
5組	平岡 宏
6組	妻谷 光治
7組	河上 修
8組	金丸 七郎
9組	榎原 竜二
10組	中川 洋一
11組	河内 正行
12組	吉田 正博

3年担任

学年主任	岡田 正雄
1組	中川 洋一
2組	河上 修
3組	橋本 保子
4組	榎原 竜二
5組	橋本 和子
6組	河内 正行
7組	中島 明人
8組	米田 けさ子
9組	妻谷 光治
10組	平岡 宏
11組	川村 高明
12組	吉田 正博

■修学旅行 1993年 2月27日~3月3日 スキー横手山



■修学旅行 1992年 2月27日～3月3日 スキー横手山

20周年記念式典



18期生

1年担任

学年主任	山口 清三
1組	鹿間 尊丸
2組	田中有美子
3組	堀田 明彦
4組	林 誠一
5組	田中 健一
6組	西野小枝子
7組	北山 祥子
8組	淺淺 博
9組	田島 和久
10組	松本 正
11組	松浦 紀彦
12組	森安 雄生

2年担任

学年主任	山口 清三
1組	北山 祥子
2組	堀田 明彦
3組	堀田 秀子
4組	林 誠一
5組	松浦 紀彦
6組	松本 正
7組	寺本 勉
8組	田中 健一
9組	田中有美子
10組	西野小枝子
11組	森安 雄生
12組	田島 和久

3年担任

学年主任	山口 清三
1組	林 誠一
2組	堀田 明彦
3組	内田 吉彦
4組	松浦 紀彦
5組	鹿間 尊丸
6組	田中 健一
7組	森安 雄生
8組	堀田 秀子
9組	北山 祥子
10組	西野小枝子
11組	田中有美子
12組	松本 正

51 各期の思い出 18期生・17期生

■修学旅行 1991年 2月27日～3月2日 スキー横手山



平成2年 (1990年度)

17期生

1年担任

学年主任	三輪 昌孝
1組	阿形 恒秀
2組	小西 顯治
3組	南 昭
4組	内本 雅之
5組	筒井 完次
6組	服部 真人
7組	増田恵理子
8組	奥田真由美
9組	杉本 光恵
10組	武市 哲明
11組	高堤 敏子
12組	田原 久徳

2年担任

学年主任	三輪 昌孝
1組	増田恵理子
2組	高堤 敏子
3組	武市 哲明
4組	香川 義憲
5組	田原 久徳
6組	吉川 憲司
7組	小西 顯治
8組	奥田真由美
9組	杉本 光恵
10組	阿形 恒秀
11組	内本 雅之
12組	服部 真人

3年担任

学年主任	三輪 昌孝
1組	香川 義憲
2組	内本 雅之
3組	服部 真人
4組	杉本 光恵
5組	増田恵理子
6組	田原 久徳
7組	武市 哲明
8組	奥田真由美
9組	小西 顯治
10組	中須賀敏子
11組	南堤 敏子
12組	中川 武之



平成1年 (1989年度)

Fujiidera High School 40th Anniversary

16期生

1年担任

学年主任	鳥越 啓嗣
1組	吉元紀美子
2組	川村 高明
3組	渡辺 謙一
4組	光田 長
5組	内田 吉彦
6組	伊藤 眞治
7組	福田 和子
8組	吉田 淑子
9組	磯野 彰
10組	山本 陽子
11組	岡本 貞美
12組	

2年担任

学年主任	鳥越 啓嗣
1組	光田 藤一
2組	長 実
3組	吉元紀美子
4組	川村 高明
5組	内田 吉彦
6組	稲田 和子
7組	磯野 彰
8組	吉田 淑子
9組	伊藤 眞治
10組	渡辺 武
11組	山本 陽子
12組	岡本 貞美

3年担任

学年主任	鳥越 啓嗣
1組	渡辺 武実
2組	長 実
3組	磯野 彰
4組	伊藤 眞治
5組	稲田 和子
6組	岡本 貞美
7組	吉田 淑子
8組	吉元紀美子
9組	中坂 欣司
10組	光田 藤一
11組	川村 高明
12組	

■修学旅行 1990年 2月27日~3月3日 スキー横手山



52 各期の思い出 16期生・15期生

昭和63年 (1988年度)

15期生

1年担任

学年主任	吉田 正博
1組	岡田 正雄
2組	大塚 信子
3組	田中有美子
4組	菊田 秀子
5組	高松 史朗
6組	玉井 規雄
7組	別所 俊彦
8組	藤本知代子
9組	杉田 有史
10組	坂上 公一
11組	鈴木 和子
12組	大野木好江

2年担任

学年主任	吉田 正博
1組	詫間 尊丸
2組	杉田 有史
3組	木村 好孝
4組	坂上 公一
5組	鈴木 和子
6組	大塚 信子
7組	大野木好江
8組	岡田 正雄
9組	藤本知代子
10組	高松 史朗
11組	菊田 秀子
12組	別所 俊彦

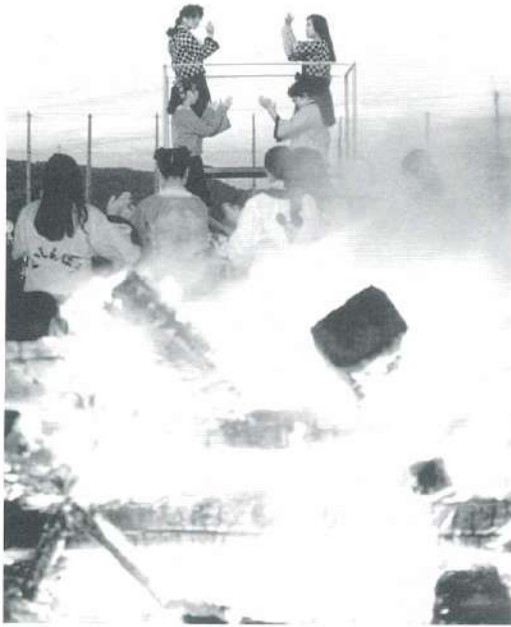
3年担任

学年主任	吉田 正博
1組	岡田 正雄
2組	吉川 憲司
3組	坂上 公一
4組	木村 好孝
5組	早川 友三
6組	野口 俊一
7組	詫間 尊丸
8組	杉田 有史
9組	鈴木 和子
10組	大塚 信子
11組	大野木好江/山口湧三
12組	妻谷 光治

■修学旅行 1989年 2月27日~3月3日 スキー横手山



■修学旅行 1988年 2月28日～3月4日 スキー横手山



14期生

1年担任

学年主任	村上 寛明
1組	松井 美智子
2組	谷口 房伸
3組	妻谷 光治
4組	中坂 欣司
5組	岸本アヤ子
6組	松本 正
7組	木島 淳子
8組	房本 進吾
9組	松浦 紀彦
10組	福西 浩
11組	中須賀敬子
12組	詫間 尊丸

2年担任

学年主任	村上 寛明
1組	松浦 紀彦
2組	谷口 房伸
3組	帯刀多余子
4組	中坂 欣司
5組	松井美智子
6組	中須賀敬子
7組	岸本アヤ子
8組	松本 正
9組	筒井 完次
10組	神屋 和夫
11組	妻谷 光治
12組	木島 淳子

3年担任

学年主任	村上 寛明
1組	岸本アヤ子
2組	妻谷 光治
3組	神屋 和夫
4組	阿形 恒秀
5組	松本 正
6組	中坂 欣司
7組	松井美智子
8組	中須賀敬子
9組	野口 俊一
10組	筒井 完次
11組	松浦 紀彦
12組	木島 淳子

■修学旅行 1987年 2月27日～3月3日 スキー横手山



昭和61年 (1986年度)

13期生

1年担任

学年主任	板倉 圭子
1組	阿形 恒秀
2組	藤井 克弥
3組	鳥越 啓嗣
4組	林 誠
5組	早川 友三
6組	坂本由起子
7組	市口 幸男
8組	橋本 章/木村好孝
9組	三輪 昌孝
10組	吉田 淑子
11組	武市 哲明
12組	来住 隆一

2年担任

学年主任	板倉 圭子
1組	田中 磐一
2組	早川 友三
3組	来住 隆一
4組	林 誠
5組	三輪 昌孝
6組	市口 幸男
7組	加賀由起子
8組	木村 好孝
9組	鳥越 啓嗣
10組	武市 哲明
11組	橋本 章
12組	阿形 恒秀

3年担任

学年主任	板倉 圭子
1組	来住 隆一
2組	南塚 敏子
3組	早川 友三
4組	市口 幸男
5組	阿形 恒秀
6組	木村 好孝
7組	林 誠
8組	鳥越 啓嗣
9組	服部 真人
10組	橋本 章
11組	武市 哲明
12組	三輪 昌孝



12期生

1年担任

学年主任	長	実 美
1組	米田	けさ子
2組	野口	俊一
3組	香川	義憲
4組	菊田	秀子
5組	田中	道雄
6組	辻	礼子
7組	増田	恵理子
8組	前田	美恵子
9組	西崎	実
10組	富山	治正
11組	大野	好江
12組	光田	藤一

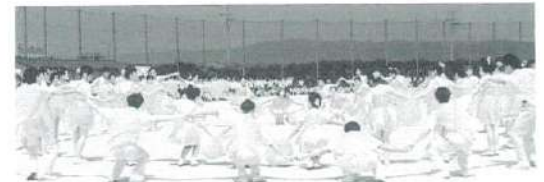
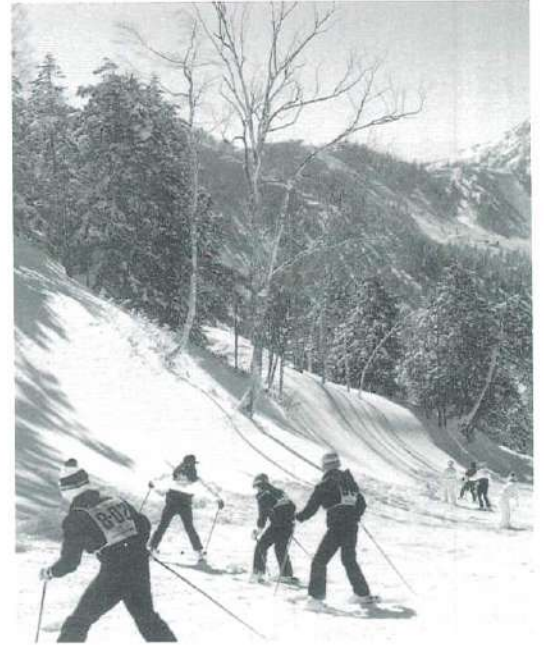
2年担任

学年主任	長	実 美
1組	野口	俊一
2組	香川	義憲
3組	米田	けさ子
4組	内田	吉彦
5組	光田	藤一
6組	原野	美恵子
7組	田中	道雄
8組	黒木	秀吉
9組	増田	恵理子
10組	前田	美恵子
11組	富山	治正
12組	渡辺	謙二

3年担任

学年主任	長	実 美
1組	黒木	秀吉
2組	光田	藤一
3組	増田	恵理子
4組	大野	好江
5組	長	実 美
6組	香川	義憲
7組	富山	治正
8組	米田	けさ子
9組	前田	美恵子
10組	野口	俊一
11組	田中	道雄
12組	内田	吉彦

■修学旅行 1986年 2月28日~3月4日 スキー横手山



昭和59年 (1984年度)

11期生

1年担任

学年主任	赤塚	民三
1組	帯刀	多余子
2組	吉田	正博
3組	岸本	進吾
4組	青谷	研児
5組	藤本	知代子
6組	渡邊	和也
7組	鈍間	尊丸
8組	神屋	和夫
9組	平山	良彦
10組	長尾	良広
11組	玉井	規雄
12組	吉田	由太郎

2年担任

学年主任	赤塚	民三
1組	長尾	良広
2組	神屋	和夫
3組	玉井	規雄
4組	吉田	正博
5組	鈍間	尊丸
6組	渡邊	和也
7組	岸本	アヤ子
8組	岸本	進吾
9組	岡本	貞美
10組	吉田	由太郎
11組	藤本	知代子
12組	帯刀	多余子

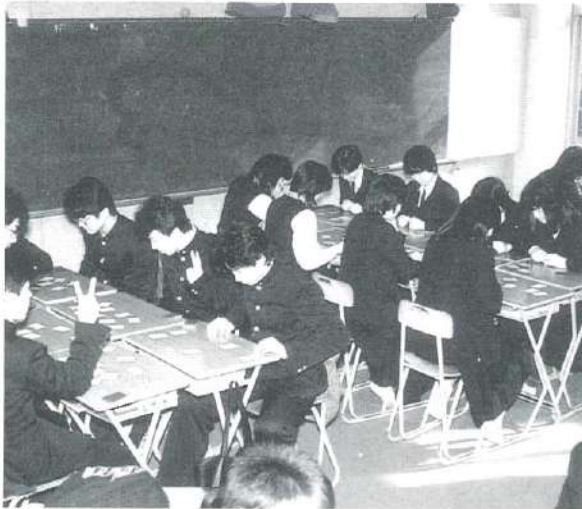
3年担任

学年主任	赤塚	民三
1組	帯刀	多余子
2組	神屋	和夫
3組	岸本	進吾
4組	岸本	アヤ子
5組	吉田	由太郎
6組	玉井	規雄
7組	筒井	完次
8組	藤本	知代子
9組	吉田	正博
10組	別所	俊彦
11組	鈍間	尊丸
12組	村上	寛明

■修学旅行 1985年 3月1日~5日 スキー横手山



■修学旅行 1984年 2月28日～3月4日 スキー横手山



10期生

1年担任

学年主任	辰巳 静司
1組	早川 友三
2組	村上 晃美
3組	筒井 完次
4組	林 誠昭
5組	南 隆一
6組	来住 謙二
7組	渡辺 泰史
8組	山本 美智子
9組	松井 藤文
10組	山田 肇
11組	宮賀 浩和
12組	朝山 浩和

2年担任

学年主任	辰巳 静司
1組	南 昭
2組	別所 俊彦
3組	早川 友三
4組	筒井 完次
5組	朝山 浩和
6組	橋本 章明
7組	村上 晃美
8組	村上 晃美
9組	松井 美智子
10組	渡辺 謙二
11組	松下 元彦
12組	宮賀 肇

3年担任

学年主任	辰巳 静司
1組	南 昭
2組	松本 正二
3組	渡辺 謙二
4組	山本 泰史
5組	別所 俊彦
6組	村上 寛明
7組	松下 元彦
8組	松井 美智子
9組	林 誠
10組	谷口 房伸
11組	筒井 完次
12組	橋本 肇

55 各期の思い出 10期生・9期生

■修学旅行 1983年 2月28日～3月3日 スキー横手山

かるた大会・柔道大会・マラソン大会など多彩な行事



昭和 57 年 (1982 年度)

9期生

1年担任

学年主任	西崎 実
1組	赤塚 民三
2組	大野木好江
3組	長 美博
4組	山田 博
5組	伊賀崎良太
6組	富山 治正
7組	雨塚 敏子
8組	深谷 実
9組	阿形 恒秀
10組	黒木 秀臣
11組	川上 俊次

2年担任

学年主任	西崎 実
1組	杉町 直之
2組	雨塚 敏子
3組	松本 正
4組	川上 俊次
5組	山田 博
6組	阿形 恒秀
7組	伊賀崎良太
8組	大野木好江
9組	富山 治正
10組	長 実
11組	谷口 房伸

3年担任

学年主任	西崎 実
1組	阿形 恒秀
2組	大野木好江
3組	雨塚 敏子
4組	長 美
5組	杉町 直之
6組	山本 陽子
7組	黒木 秀臣
8組	谷口 房伸
9組	伊賀崎良太
10組	川上 俊次
11組	山田 忠男



昭和56年 (1981年度)

Fujieda High School 40th Anniversary

8 期生

1年担任

学年主任	香川 義憲
1組	松下 元彦
2組	名村 惠史
3組	玉井 規雄
4組	長尾 良広
5組	前田美恵子
6組	渡邊 和也
7組	山田 慶文
8組	岡本 貞美
9組	岡本 進吾
10組	岸本アヤ子
11組	福西 浩
12組	小川 浩勇

2年担任

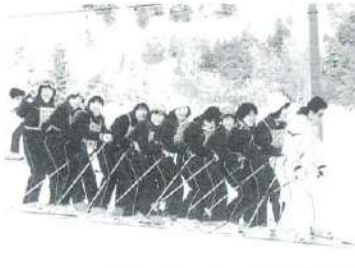
学年主任	香川 義憲
1組	中川 耕一
2組	青谷 耕児
3組	松浦 友志
4組	仲谷 隆次
5組	前田美恵子
6組	帯刀多余子
7組	長尾 良広
8組	山田 慶文
9組	岸本アヤ子
10組	玉井 規雄
11組	渡邊 和也
12組	岡本 貞美

3年担任

学年主任	香川 義憲
1組	青谷 耕児
2組	岡本 貞美
3組	前田美恵子
4組	松下 元彦
5組	岸本アヤ子
6組	竹谷 靖孟
7組	藤本知代子
8組	渡邊 和也
9組	岸本 進吾
10組	福西 浩
11組	松浦 友志
12組	仲谷 隆治

■修学旅行 1982年 3月1日~5日 スキー横手山

10周年記念式典



創立10周年記念式典



56 各期の思い出 8期生・7期生

昭和55年 (1980年度)

7 期生

1年担任

学年主任	森井 久夫
1組	古田由太郎
2組	谷口 房伸
3組	南 昭
4組	浅野とも子
5組	板倉 圭子
6組	来住 隆一
7組	筒井 寛明
8組	村上 礼子
9組	辻 正
10組	松本 俊夫
11組	国分 隆
12組	富賀 肇

2年担任

学年主任	森井 久夫
1組	橋本 章
2組	谷口 房伸
3組	山本 泰史
4組	松本 正
5組	来住 隆一
6組	南 昭
7組	板倉 圭子
8組	丸田 和子
9組	浅野とも子
10組	渡辺 謙二
11組	村上 寛明
12組	辻 礼子

3年担任

学年主任	森井 久夫
1組	古田由太郎
2組	国分 俊夫
3組	谷口 房伸
4組	山本 泰史
5組	辻 礼子
6組	松本 正
7組	浅野とも子
8組	渡辺 謙二
9組	来住 隆一
10組	早川 友二
11組	村上 寛明
12組	橋本 章

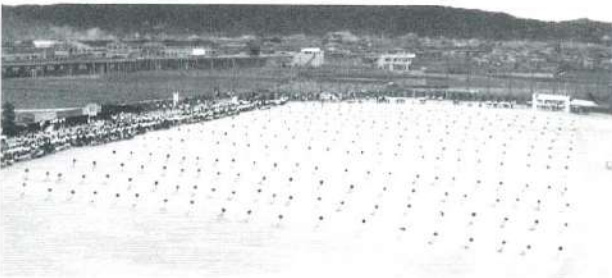
■修学旅行 1981年 3月1日~5日 スキー横手山

1年生の宿泊研修が春の遠足に変更





■修学旅行 1980年 2月27日~3月3日 スキー横手山



6 期生

1年担任

学年主任	深谷 実
1組	川上 俊次
2組	堀崎 陽子
3組	青谷 耕児
4組	山田 忠男
5組	杉町 直之
6組	松下 元彦
7組	西崎 実
8組	雨堤 敏子
9組	原田美恵子
10組	矢野 勝彦
11組	瀬戸 勝巳
12組	山田 博

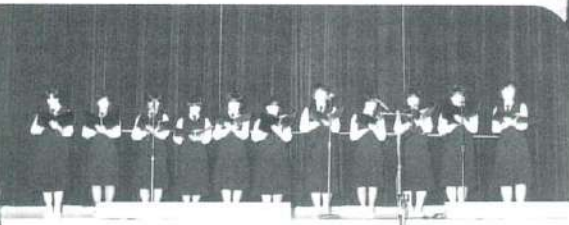
2年担任

学年主任	深谷 実
1組	伊賀崎 良太
2組	杉町 直之
3組	武田 章
4組	田中 靖二
5組	朝山 浩和
6組	堀崎 陽子
7組	玉井 規雄
8組	矢野 勝彦
9組	青谷 耕児
10組	村上 広行
11組	原田美恵子
12組	長 実

3年担任

学年主任	深谷 実
1組	黒大 秀臣
2組	堀崎 陽子
3組	山田 博
4組	原田美恵子
5組	村上 広行
6組	西崎 実
7組	長 実
8組	杉町 直之
9組	富山 治正
10組	川上 俊次
11組	矢野 勝彦
12組	朝山 浩和

■修学旅行 1979年 2月27日~3月3日 スキー横手山



昭和53年 (1978年度)

5 期生

1年担任

学年主任	山内 政治
1組	福西 浩
2組	長谷川 智子
3組	松尾 好文
4組	名村 惠史
5組	中川 一男
6組	藤本知代子
7組	松下 元彦
8組	北村 玲子
9組	富山 治正
10組	長尾 良広
11組	仲谷 隆次
12組	平山 良彦

2年担任

学年主任	山内 政治
1組	平山 良彦
2組	高島 弘幸
3組	菊田 秀子
4組	松尾 好文
5組	黒木 秀臣
6組	仲谷 隆次
7組	福西 浩
8組	松浦 友志
9組	長尾 良広
10組	名村 惠史
11組	藤本知代子
12組	中川 一男

3年担任

学年主任	香川 義憲
1組	仲谷 隆次
2組	松浦 友志
3組	高島 弘幸
4組	中川 一男
5組	名村 惠史
6組	赤塚 民三
7組	松下 元彦
8組	福西 浩
9組	藤本知代子
10組	菊田 秀子
11組	黒木 秀臣
12組	平山 良彦



4期生

1年担任

学年主任	石香 亨/南 武夫
1組	園分 俊夫
2組	南 武夫
3組	辻 礼子
4組	山本 泰史
5組	福西 浩
6組	浅野とも子
7組	松井美智子
8組	畑部 裕
9組	田中 道雄
10組	阪己 静司
11組	橋本 章
12組	西崎 実

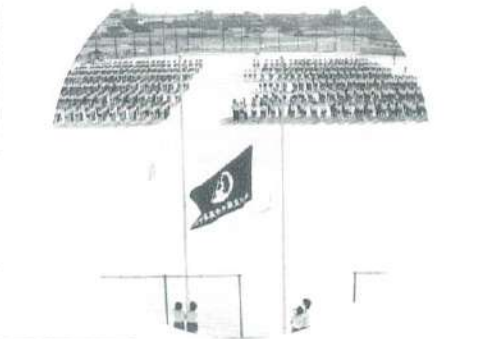
2年担任

学年主任	南 武夫/森井久夫
1組	朝山 浩和
2組	渡辺 藤二
3組	山本 泰史
4組	松井美智子
5組	橋本 章
6組	辻 礼子
7組	西崎 実
8組	岡本 幸子
9組	筒井 完次
10組	田中 道雄
11組	富賀 暲三
12組	早川 友三

3年担任

学年主任	南 武夫/森井久夫
1組	朝山 浩和
2組	松井美智子
3組	早川 友三
4組	山本 泰史
5組	渡辺 藤二
6組	岡本 幸子
7組	田中 靖二
8組	園分 俊夫
9組	橋本 章
10組	南 昭
11組	筒井 完次
12組	富賀 暲

■修学旅行 1978年 2月27日~3月3日 スキー横手山



58 各期の思い出 8期生・7期生

3期生

1年担任

学年主任	瀬戸 勝己
1組	玉井 規雄
2組	伊賀崎 良太
3組	小松 基二
4組	畑部 裕
5組	松浦 友志
6組	川上 俊次
7組	船勢 省三
8組	長 上 実
9組	石上 知良
10組	平山 良彦
11組	杉町 直之
12組	青谷 耕児

2年担任

学年主任	瀬戸 勝己
1組	長尾 良広
2組	杉町 直之
3組	深谷 実
4組	伊賀崎 良太
5組	小松 基二
6組	雨塚 敏子
7組	松浦 友志
8組	川上 俊次
9組	村上 広行
10組	玉井 規雄
11組	西岡美恵子
12組	長 実

3年担任

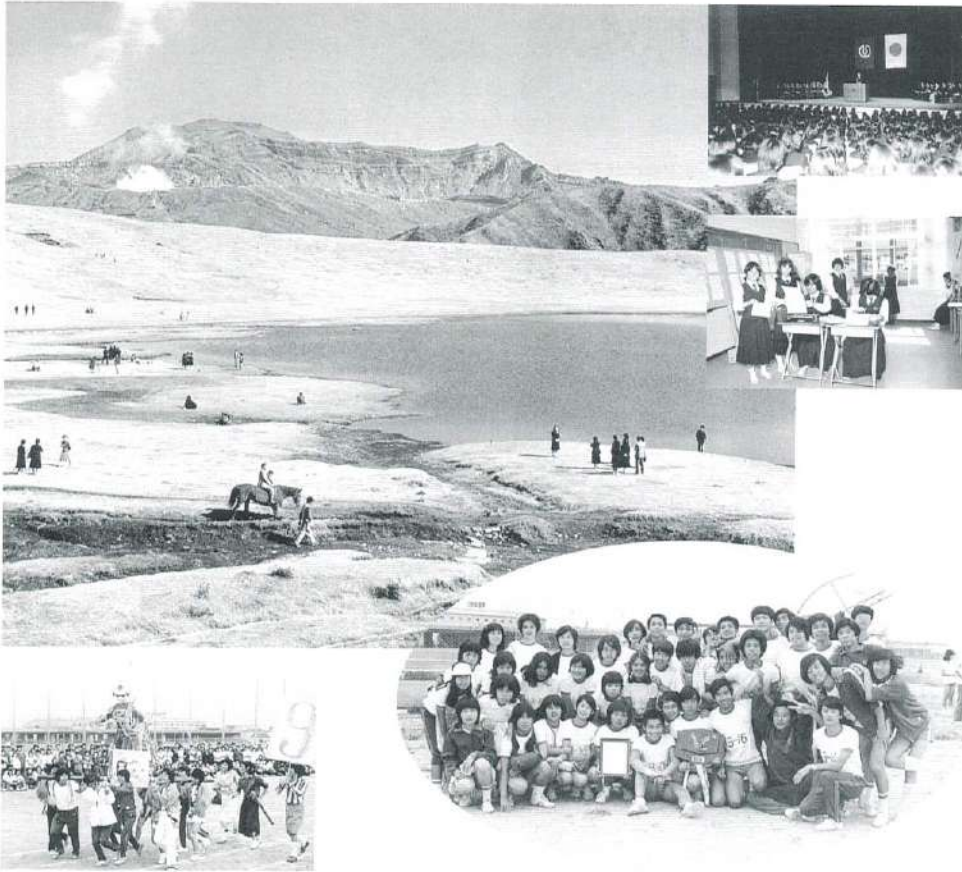
学年主任	瀬戸 勝己
1組	伊賀崎 良太
2組	長 実
3組	青谷 耕児
4組	雨塚 敏子
5組	小松 基二
6組	深谷 実
7組	玉井 規雄
8組	村上 広行
9組	松浦 友志
10組	山田 博
11組	川上 俊次
12組	山田 忠男

■修学旅行 1977年 3月20日~23日 長崎・熊本





■修学旅行 1976年 10月30日~11月2日 スキー横手山



2 期生

1年担任

学年主任	橋本九二男/寺本 勉
1組	平山 良彦
2組	山田 博
3組	植野 敏郎
4組	黒木 秀臣
5組	井上 真也
6組	荻野 清
7組	船勢 省三
8組	香川 慶文
9組	山田 慶文
10組	松浦 友志
11組	八田 康子
12組	藤本知代子

2年担任

学年主任	小川 勇
1組	香川 義恵
2組	前田 昭吾
3組	藤本知代子
4組	早川 友三子
5組	八田 康子
6組	松尾 好文
7組	仲谷 隆次
8組	山田 慶文
9組	富山 治正
10組	山田 忠男
11組	来住 隆一
12組	黒木 秀臣

3年担任

学年主任	小川 勇
1組	山田 忠男
2組	名村 惠史
3組	早川 友三子
4組	黒木 秀臣
5組	山田 慶文
6組	波辺 謙二
7組	高島 弘幸
8組	山田 幸博
9組	富山 治正
10組	荻野 清
11組	仲谷 隆次
12組	松尾 好文

59 各期の思い出 6期生・5期生

■修学旅行 1975年 11月4日~8日 平戸・長崎



昭和49年 (1974年度)

1 期生

1年担任

学年主任	橋本九二男
1組	平山 良彦
2組	山田 博
3組	辰巳 静司
4組	富賀 肇
5組	田中 道雄
6組	山田 慶文
7組	森井 久夫
8組	板倉 圭子
9組	青谷 耕児
10組	植野 敏郎
11組	山内 政治
12組	辻 礼子

2年担任

学年主任	石香 亨
1組	富賀 肇
2組	森井 久夫
3組	板倉 圭子
4組	田中 道雄
5組	朝山 浩和
6組	山内 政治
7組	畑部 裕
8組	小川 宏
9組	青谷 耕児
10組	辰巳 静司
11組	赤塚 民三
12組	国分 俊夫

3年担任

学年主任	石香 亨
1組	朝山 浩和
2組	富賀 肇
3組	西崎 美
4組	赤塚 民三
5組	板倉 圭子
6組	小川 宏
7組	辰巳 静司
8組	国分 俊夫
9組	田中 道雄
10組	森井 久夫
11組	南 昭
12組	山内 政治



教務部は、生徒や保護者の目に直に触れるような仕事は少ないが、学校の中で次のような役割を担っている。

教育課程の編成…学校の教育目標を実現するために、カリキュラムを検討・作成する中心になる。

教育計画の策定…日々の授業が円滑に実施されるように、また、生徒の学力が向上するように、計画を立てる。

教務事務の遂行…時間割の作成、各種のデータの管理・処理、諸帳簿の作成・管理、定期考査の運営など、事務作業を円滑に誤りなく遂行する。

本校の30周年からの10年間は、次のような期間であった。

教育課程 新教育課程に向けての練り直し

平成22年(2010年)は、本校の教育目標を「やさしさとかしこさ」から「やさしさ、かしこさ、たくましさを育てる」にした年であり、新しい教育課程に向けた転換点になる年であった。

平成25年度入学の第40期生から始まる新教育課程に向けて、カリキュラム委員会、教職員全体で討議を重ね、本校のカリキュラムを練り直した。新しいカリキュラムは、生徒の自立に向けた進路選択と、2年次からのコース選択を従来より密接に結びつけるものと

した。また、授業時間を確保するため、全学年で週1回の7限授業を実施することとした。

具体的には右頁に示したカリキュラムとなるが、平成15年度より実施してきた2年2コース(文・理)、3年4コース(文Ⅰ・文Ⅱ・理Ⅰ・理Ⅱ)に対し、看護医療系等への進学を主な目標とする文理型を設け、2年3コース、3年4コースとした。

1年	芸術の選択以外は全員が同じカリキュラム。必修科目を重点的に配置。	
2年	文型	文系難関私大から就職まで、多様な進路に対応。
	文理型	看護医療系・栄養系への進学を目標として、手厚い指導。
	理型	従来の理型から文理型を独立させ、理数系科目で高い目標を設定。
3年	文型A	文系難関私大を目指す。(センター試験の受験希望者を含む)
	文型B	四年制大から就職まで、多様な進路に対応できるよう3科目を選択。
	文理型	看護医療系・栄養系への進学を目標として、手厚い指導。
	理型	理系四年制大を目指す。(センター試験の受験希望者を含む)

教育計画 すべての教育活動は学校の中にある

中学校向けの学校説明会等で、「授業以外の教育活動も人間形成にとって大切」「校内の指導だけで進学へも充分対応できる」を繰り返して宣伝している。多くの学校行事を実施しながら、授業時間の確保に務め、また、特定の曜日の授業が欠けたりすることのないよう、授業計画の調整を丁寧に行っている。

校内の生徒には「授業を大切に、1・2年生は部活動にも積極的に参加し、3年生は校内で実施する講習を積極的に活用しよう」と呼びかけて、放課後や早朝、長期休暇中の講習を数多く実施し、参加した生徒はそれなりの成果を挙げている。

教務事務 大量のデータを迅速正確に処理

教務事務においては、生徒の成績や出欠の管理等で多量のデータを扱うため、パソコンの利用は不可欠である。当初は各学年等で個別にデータ処理を行っていたが、「全教員が間違いなく入力・点検できる」データ処理システムの確立とメンテナンスが求められ、平成20年度に校内の成績処理システムを統一した。

なお、大阪府教育委員会は平成25年度より「校務処理システム」を本格的に導入した。これは校内の多量のデータを一括管理して、指導要録を作成し、調査書の作成や保健関係のデータ処理まで行えるシステムである。教務部の仕事との関わりが大きいのが、教務部内だけで運用するシステムではなく、校内の運用体制の確立、データ処理の中心となる人材の確保が焦点の課題となっている。



新教育課程（平成 25 年度入学生）

1年	全クラス
1	国語総合
2	
3	
4	
5	
6	地理 A
7	
8	現代社会
9	
10	数学 I
11	
12	数学 A
13	
14	
15	物理基礎
16	
17	化学基礎
18	
19	体育
20	
21	
22	保健
23	
24	芸術 I (音/美/書)
25	
26	コミュニケーション 英語 I
27	
28	英文法 I
29	
30	家庭総合
31	
31	HR

2年	文型(A・B)	文理型	理型
1			
2	現代文 B	現代文 B	現代文 B
3			
4	古典 B	古典 B	世界史 A
5			
6	数学 II	数学 II	数学 II
7			
8			
9	世界史 B	世界史 A	化学
10			
11	日本史 B	生物	物理 / 生物
12			
13	生物基礎	生物基礎	生物基礎
14			
15	体育	体育	体育
16			
17	保健	保健	保健
18			
19	コミュニケーション 英語 II	コミュニ ケーション 英語 II	コミュニ ケーション 英語 II
20			
21	英文法 II	英文法 II	英文法 II
22			
23	家庭総合	家庭総合	家庭総合
24			
25	選択	選択	数学 B
26			
27	社会と情報	社会と情報	社会と情報
28			
29	HR	HR	HR
30			
31	HR	HR	HR

【文型選択】
(1科目選択)
・芸術 II
(音/美/書)
・国語基礎演習
・数学基礎演習
・英語基礎演習

【文理型選択】
(1科目選択)
・数学基礎演習
・化学

3年	文型 A	文型 B	文理型	理型
1				
2	現代文 B	現代文 B	現代文 B	現代文 B
3				
4	古典 B	古典 B	文理型 国語演習	政治・経済
5				
6	国語発展演習	政治・経済	政治・経済	数学 III
7				
8				
9	政治・経済	日本史 B	数学 II	数学 III
10				
11	日本史 B	世界史 B	文理型 数学演習	理型 数学演習
12				
13	世界史 B	数学 II	生物	物理 / 生物
14				
15	数学 II	生物基礎/ 地学基礎	生物	物理 / 生物
16				
17	体育	体育	体育	化学
18				
19	コミュニケーション 英語 III	コミュニ ケーション 英語 III	コミュニ ケーション 英語 III	体育
20				
21	英文法 III	英文法 III	英文法 III	コミュニ ケーション 英語 III
22				
23	英語発展演習	選択	文理型 英語演習	英文法 III
24				
25	選択	選択	選択 a	英語発展演習
26				
27	選択	選択	選択 b	選択
28				
29	HR	HR	HR	HR
30				
31	HR	HR	HR	HR

【文型 A 選択】
(2科目選択)
・数学 B
・数学発展演習
・生物基礎/
地学基礎
・実用英語
・世界史演習
・日本史演習
・政治経済演習

【文型 B 選択】
(3科目選択)
・国語発展演習
・実用数学
・ライフスポーツ
・芸術
・実用英語
・世界史演習
・日本史演習
・政治経済演習

【文理型選択 a】
1科目 (3単位)
・化学(継続のみ)
・日本史 B

【文理型選択 b】
1科目 (2単位)
・数学 B
・化学演習
・生物演習

【理型選択】
(1科目選択)
・古典 B
・物理演習
・化学演習
・生物演習



[1] はじめに

ここ数年、大学・短大の総志願者数はピーク時の約6割に減少しているのに対し、入学定員はほぼ変わらず、受験競争は緩和する傾向にある。一方で、景気低迷の影響から理工系志望者の増加、資格指向の動きは依然継続している。加えて、地元志向・安全志向も顕著な特徴となっている。

本校の最近10年間の進路状況は別図の通りである。生徒数三百数名の約半数が4年制大学に進学。女子の大学進学数も徐々に増加し、短大進学者は保育関係がほとんどである。

[2] 本校の進路指導

生徒の進路希望は多岐にわたり、一人一人に対してきめ細やかな指導が求められる。進路実現に向けて早期に意識付けを図るため、3年間を見通した種々の説明会・見学会等を実施している。3年生の総合学習の時間は、志望校調べ、小論文指導・模試の実施など進路指導に活用している。

[3] 進学指導

放課後の講習は、英・国・数を中心に2年生より年間を通じて定期的に実施しており生徒は粘り強く取り組んでいる。さらに長期休暇の集中講習に加え、春・夏には勉強合宿を実施。毎回40名前後の生徒が一日10数時間の自学自習にチャレンジし、その成果は進路希望実現という形で表れている。また今年度は、PTAの協力により赤本の種類・冊数が大幅に増え、より多くの生徒が利用できるようになった。

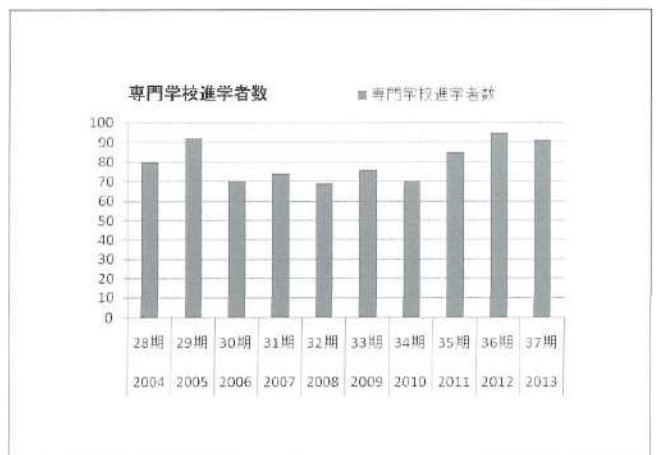
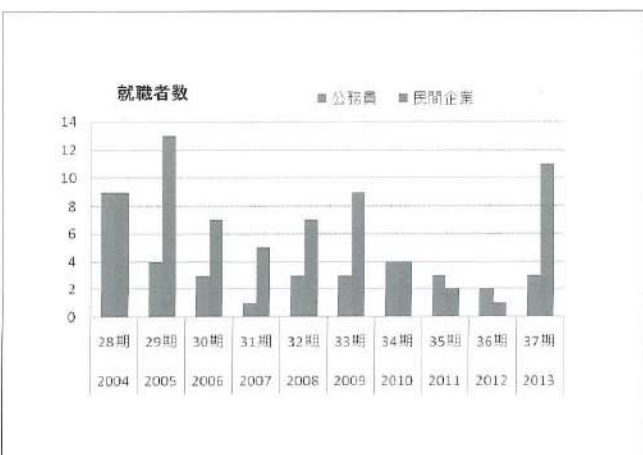
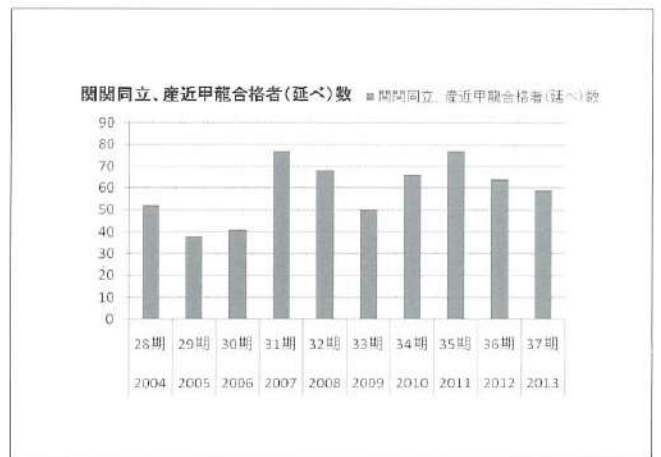
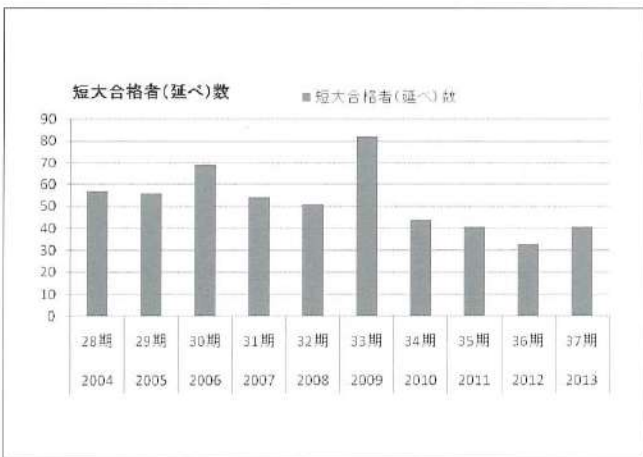
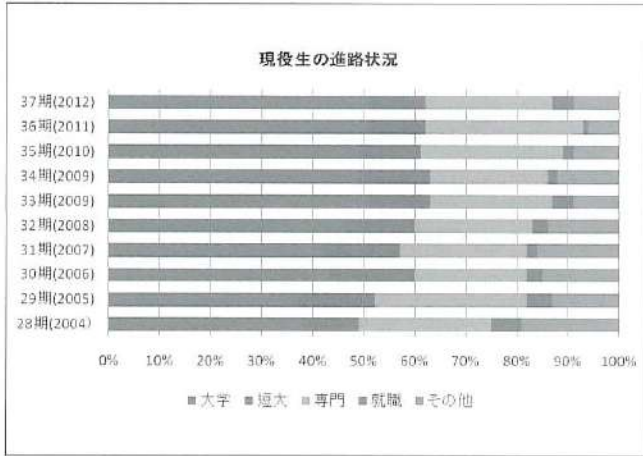
PTA主催の外部模試は、土曜日を中心に年間数回以上実施。看護・医療系模試も年に2回行っている。

[4] 就職指導

ここ数年家庭の経済状況の変化に伴い、就職希望者数は増加の傾向にある。4月下旬より毎週一般常識、適性検査、面接等の指導をきめ細やかに行っている。求人数は、大きく減少傾向にあったが、就職希望者数の増加を受け、地元を中心とした地道な企業訪問を行い、新規開拓に努めている。

進路指導年間計画（抜粋）

4月	3年進路希望調査 受験対策説明会 3年実力判定テスト
5月	3年進路資料集説明HR 1、2年進路カリキュラム説明会
6月	国公立大推薦入試説明会 大学等資料頒布会 2年進路講演会
7月	主要大学入試対策説明会 勉強合宿 2年大学等模擬授業 夏期講習 就職求人票開示 就職集中指導
8月	公務員出願開始
9月	就職応募書類発送 3年実力判定テスト 3年センター試験出願説明会 指定校、国公立大学推薦入試校内推薦会議
10月	1、2年進路カリキュラム説明会 センター試験出願 1、2年進路マップ
11月	1、2年分野別説明会
12月	1年分野別説明会及び大学見学会
1月	3年センター試験直前説明会、自己採点
2月	1年「ようこそ先輩」（講演会） 3年進路アンケート
3月	勉強合宿





「やさしさ かしこさ たくましさ を育てる」

藤井寺高等学校では、上記の教育方針を実現するため、①校外の世界との交流を進める ②幅広い教養と基礎基本の学力の修得 ③自立心・組織力・企画力を養う自主活動の支援 の三つを推進しています。

生徒指導部では、「やさしく かしこく たくましい」人となるには、生徒一人一人が自らの生活規律の形成を図って自律した生活ができる、そして場所や状況に応じて適切な行動や態度を取ることが必要であると考え、下記の項目に沿って指導しています。

①時間を守り、安定した基本的な生活習慣を身につける。

→欠席・遅刻・早退指導

- ・欠席する場合には保護者から連絡を入れてもらう。
- ・遅刻指導は1年を5つの期間に分け、期間内に5回以上の遅刻や欠席があれば、1回目は本人と家庭に注意を促します。2回目以降は特別指導を行います。

②安全・安心な登下校のために → 通学路安全指導

- ・年4回、各回10日間教員が通学路4ヶ所（西名阪道高架下2ヶ所と唐池および津堂交差点）に立ち、生徒の交通ルール遵守とマナー向上を指導しています。
- ・下の生徒調査結果の表からもわかるように、ほぼ全員の生徒が通学に自転車を利用しています。安心で安全な通学のため、入学時に自転車保険加入を強く勧めています。

③基本的な礼儀の習得とコミュニケーション能力の向上を目指して

→あいさつ運動

年5回交通安全指導と同時期に、教員・クラブ員・生徒会役員で登校してくる生徒に対してあいさつを行う運動を実施しています。

④清潔・端正な藤高生として → 服装・髪型指導

創立30周年を契機に新制服として変更された現在のモスグリーンの3つボタンスーツの制服も10年目を迎えました。服装規定を設けて、制服を加工・変形させることは間違えた自己表現であることと、粗野・不潔にならないような着こなし方を厳格に指導しています。

併せて華美・虚飾に流れないように、パーマメントウエーブ、脱色、染色は認めない指導もしています。

通学方法（平成25年度）

方法	1年	2年	3年	全体
自転車のみ	295	288	284	867
藤井寺（近鉄）＋徒歩	1	0	0	1
高藤（近鉄）＋徒歩	2	0	1	3
藤井寺（近鉄）＋自転車	18	19	9	46
高藤（近鉄）＋自転車	1	1	1	3
八尾南（地下鉄）＋自転車	2	2	1	5
その他の交通手段	3	0	0	3
徒歩のみ	3	6	5	14
合計	325	316	301	942

分掌として図書視聴覚部は独立していたが、2011年度に職員定数の削減により総務部と合併し図・視係として部内で独立して発足した。毎日の開館当番を決め生徒がいつでも利用できる環境をキープしている。

図書委員活動も上記の事など鑑みて、2007年度から刷新し5つの班（カウンター・点検・新聞『ミューズ』・アピール・新刊案内ポスター）に分れて図書活動の活性化を担っている。

〈図書室〉

創立当初は、職員室の一角に寄贈本から成る図書室が設けられていた。

現在では『図書室』として独立している。その限られたスペースで利用者が快適に過ごせるよう、また、自習をする者と本を利用する者、パソコンを使用する者と分けるために、書架の配置を大幅に変え2007～2008年にかけてリニューアルした。『新しく入った本』コーナーや新旧問わない『最近話題になった事の本』コーナー等を設け利用を増やす企画をしている。

昼休み・放課後に開館して、一日平均40人以上利用があり生徒の様々なニーズに答えている。図書館が読書・学習情報センター機能だけでなく、生徒の“心の拠りどころ”ともなっている。

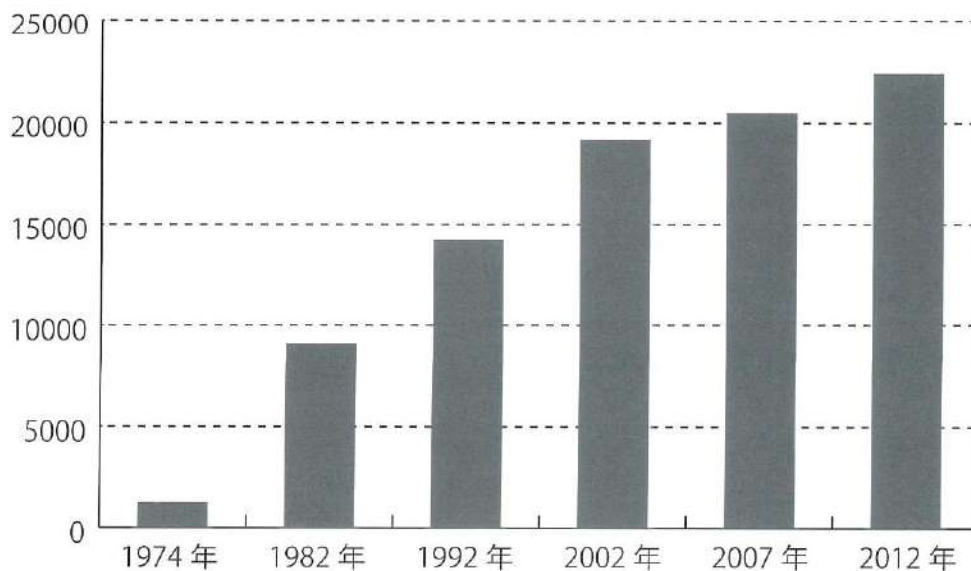
蔵書数は（下記グラフ参照）学校図書予算の減少で増加率は少ないが、2008年度から毎年校長裁量予算措置により別予算枠が設けられ、資料の充実、藤井寺高校の特色作りに貢献できている。

設備面では、2012年に24年ぶりのエアコン更新設置がされた。2001年～学校情報ネットワークの一環として随時バージョンアップされるパソコン（13台）を常設し情報収集の場としての機能を果たしている。

〈視聴覚〉

卒業記念品（36期）として体育館の音響設備が新しくなった。

視聴覚係は、人員削減や未経験者の増加により、機器の操作などをマニュアル化して職員が誰でもできるように整備し、時には使用法の講習会を開く等、学校全体で吸収していくように働きかけている。



生徒会誌『蒼穹』には歴代の生徒会行事やクラブ活動の記録が記されている。40年間の歩みを振り返ると、どの年も活発に活動していたことが伝わってくる。毎年行われる行事では、藤高の伝統が脈々と受け継がれている。しかし、時代の流れとともに少しずつ変化も見られる。

生徒会活動

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 前期生徒会役員選挙
- 6月 フェスティバル体育の部
- 9月 フェスティバル文化の部
- 10月 後期生徒会役員選挙

その他 あいさつ運動、クリーンキャンペーン、募金活動

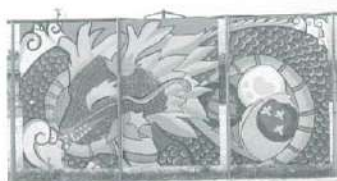
新たな活動として2010年よりクリーンキャンペーンを実施している。生徒会執行部と各クラブが集まり、近隣の清掃活動を行っている。2011年からは生徒指導部と共同であいさつ運動を始めている。大きな変化とまでは言えないが、あいさつがきちんとできる校風が定着しつつある。2011年3月11日におきた東日本大震災。本校でも生徒会執行部が中心となり募金活動を行った。現在でも宮城県志津川高校の皆さんとのやりとりが続いている。生徒会活動が少しずつではあるが、活気あふれるものになってきている。

フェスティバル体育の部

(2013年度 プログラム)

- | | |
|------------------|---------------|
| 01. 入場行進 | 11. 応援合戦 |
| 02. 開会式 | 12. クラブ対抗リレー |
| 03. あっばれ藤高 | 13. 女子 棒引き |
| 04. 80m走 | 14. クラス対抗リレー |
| 05. 障害物 | 15. 男子 騎馬戦 |
| 06. 台風リレー | 16. 大縄跳び |
| 07. エール交流 | 17. スウェーデンリレー |
| 08. 綱引き | 18. 団長あいさつ |
| 09. あなたは友を信じますか? | 19. 閉会式 |
| 10. 駅伝 | |

本校の2大行事の1つ、フェス体にも変化があった。2008年第35回のフェス体よりアピール看板が壁面に変更となった。そして2013年第40回のフェス体では、40周年を記念し、「Cheng E」というテーマの下、プログラムの内容に変化があった。生徒の「みんなが見て楽しめるフェス体」という熱い要望から、従来の「あっばれー藤高」を「あっばれ藤高」と改名し、全学年が他の団の演技を見ることができるよう変更した。競技の召集、応援、整列すべてを3年生が中心となり動かせる工夫をすることで、40周年を記念するフェス体はまとまりのある素晴らしいものとなった。支援学校とのエール交流でも全校生徒で参加する形態に変更し、より絆が深まる交流となった。今年度より実施した「団長あいさつ」では藤高の良き伝統をより明確に伝えていくことができるものとなった。



フェスティバル文化の部

(2012年第39回 プログラム)

- 1-1 模擬店「I'MA'S KITCHIN」
- 1-2 教室劇「まるちゃんのその後」
- 1-3 舞台「ハイスクールミュージカル」
- 1-4 舞台「不思議の国のアリス」
- 1-5 模擬店「頭 キーンなったらどうするうろうう」
- 1-6 模擬店「パーレスク」
- 1-7 模擬店「Pizzalian〜パスタ巻いてるう?〜」
- 1-8 模擬店「フランクコーン」
- 2-1 お化け屋敷「鈴ケンの館」
- 2-2 アトラクション「緑日」
- 2-3 舞台「ユニバーサルモンスターロックンロールショー」
- 2-4 迷路「真夏の迷路」



- 2-5 舞台「Love&OnePiece」
- 2-6 舞台「さや侍」
- 2-7 舞台「魔法にかけられて」
- 2-8 教室劇「パコと魔法の絵本」
- 3-1 舞台「スノーホワイト」
- 3-2 舞台「オズの魔法使い」
- 3-3 舞台「時をかける少女」
- 3-4 映像「GTO」
- 3-5 教室劇「天使にラブソングを」
- 3-6 舞台「ピーターパン」
- 3-7 舞台「サウンドオブミュージック」
- 3-8 模擬店「屋台サンパチ」



フェス文には様々な部門を設けている。しかし、10年前のクラス発表と比べてみると、近年は舞台発表・模擬店に人気が集中している。展示造形やアトラクションを選択するクラスが減っていき、全体として偏った部門選択となってしまっている。また2012年度は耐震工事の影響もあり、中庭での模擬店・ステージ発表がなかった。40回目のフェス体同様、生徒主体の素晴らしいフェス文をつくりあげていって欲しいと思う。



クラブ活動

2013年度現在、体育系クラブ19・文化系クラブ12が活動している。近年は、クラブ員全員であいさつ運動やクリーンキャンペーンに参加している。クラブごとの結びつきにも力を入れるようになった。しかし、年々クラブの参加率は減少傾向にある。クラブ生徒の活動が柱となっている藤井寺高校としては、今後加入率をアップさせていくことが課題といえる。

「生徒が主体となる」活動が減少傾向にあった10年間。40周年を節目に「生徒が主体となる」活動を取り戻しつつある。今後の活動で新たな藤高の伝統が生まれることを祈る。

藤高 学校保健の歩み ～この10年～

自然豊かな藤井寺も40年の月日とともに、当時とは趣も変わり、時代の流れを感じさせます。本校も30周年を迎えた時から10年を経て、生徒の様子も変化し、本校が抱える課題も変わりつつあります。そんな中で、この10年間の本校の学校保健を振り返ってみようと思います。

生徒を取り巻く環境が著しく変化する中で、心身の不調を訴える生徒は多岐にわたっています。近年気になるのは、携帯電話の普及でインターネット関連のトラブルが生徒の心身をむしばんできていることです。本校でも、ネットでのトラブルやゲームでの昼夜逆転等で不調を訴えて来室する生徒が増えています。そんな中、保健部でも、生徒の対応の変化についていけるよう様々な取り組みをしてきました。

教職員に対しては、救急法やエピペンの講習会、精神科医や弁護士による研修会や事例検討会、地域との連携を図る合同研修会等の開催を企画し、教職員のスキルを高め、生徒への対応に役立ててきました。

生徒全体に対しては、熱中症や救急法の講習会、性感染症予防のための講習会、薬物乱用防止教室等を実施し、生徒たちの保健意識の向上をめざしました。

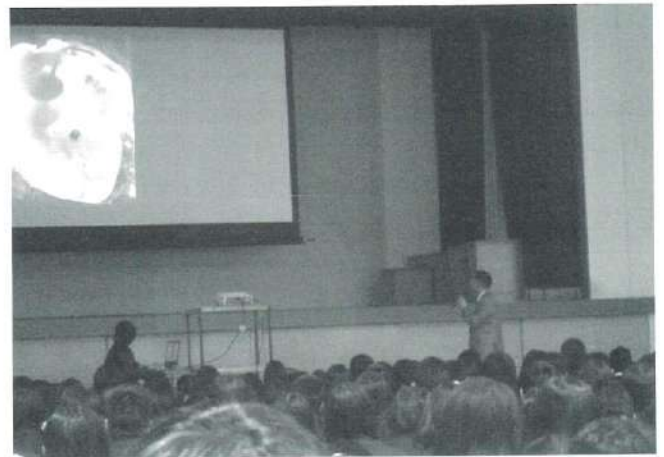
またこの間、生徒保健委員会活動の活性化につとめました。それは生徒たちの保健意識の向上に大いに貢献してきました。

それでは、生徒保健委員会活動のこの10年間の取り組みを紹介します。本校の生徒保健委員会は、1クラス4名、現在計96名の委員で構成されています。全体での活動は、校内美化活動（ごみの分別と減量化）と健康診断等の保健行事での役割があります。また、学年別に行う活動としては、1年生の校内衛生活動（トイレの消毒液の設置等）、2年生の「ほげんだより」の作成、3年生の体育祭や文化祭での美化活動の取り組みや清掃点検等があり、各学年で責任を持って行っています。

それ以外にも、1・2年生を中心に行う、文化祭でのピア活動は、四天王寺大学の学生と協力し、昨年度までは「性感染症予防キャン



「救急法講習会」の様子



「性感染症予防のための講習会」の様子



「熱中症予防講習会」の様子



「薬物乱用防止教室」の様子

ペーン」と名打って、性感染症やエイズについて学習し、来校者たちに訴えてきました。この取り組みの中で、「保健所」や「HIVと人権情報センター」の方たちからの講義を受けたり、学生の方と活動したりすることで、「いのち」のことや「仲間」のこと等大切なことを学びました。

文化祭の集大成として、12月1日「世界エイズデー」に向けてのエイズメッセージキルトを作っています。メッセージキルトとは、「エイズ患者への偏見や差別を持たず、応援している」という気持ちを表すためのものです。

昨年までに3回、このような生徒保健委員会の取り組みを「学校保健研究発表大会」で発表しました。このことは、本校の生徒たちの取り組みを他校の生徒たちにも知ってもらい、他校での取り組みを本校の生徒が知り、新たな保健意識の向上を目指す大切な機会となりました。

今年の文化祭では、「性感染症予防キャンペーン」にいったん区切りをつけ、新たな取り組みとして「食育」をテーマにしたピア活動

を行いました。6月には四天王寺大学の学生による学習会、9月には準備会を実施しました。この取り組みは、昨年度、保健所からの依頼で、サッカー部とソフトテニス部が「か・ら・だ元気セミナー」に協力したことがきっかけでした。

この新たな取り組みが、生徒たちの健康や保健意識の向上につながり、生徒一人一人が正しい知識を持ち、自分の健康は自分で守れる大人へと成長してくれることと思います。

今年も、「保健研究発表大会」での発表を考えています。



「性感染症予防キャンペーン事前学習会」の様子



「性感染症予防キャンペーン」当日の様子



「エイズメッセージキルト」



「保健研究発表大会」の様子



主なPTA活動の歩み

2004年度(平成16年度)以降の活動

1. 文化活動

<広報活動>

- ・1974年(昭和49年)～ 「PTA名簿」発行
- ・1975年(昭和50年)～ PTA新聞「育友」(年2回発行)
フェス文特集発行(臨時号)
PTA通信「PTAだより」(4月発行)
毎週金曜日発行
台風等緊急時にも対応
- ・メールマガジン

<PTA主催講演会>

- ・2012(平成24)年4月17日
山本 貴司氏 (アテネオリンピック水泳銀メダリスト)

<退職記念講演会>

- ・2012(平成24)年2月4日
第12代 校長 金銅 伸元氏

<PTA研修会>

- ・2004年 京都「三年坂、二年坂、ねねの道」
- ・2005年 神戸ワイン城、小磯記念美術館
- ・2006年 人と防災未来センター、神戸空港
神戸野島園
- ・2007年 大塚国際美術館、バルシェ香りの館
- ・2008年 インスタントラーメン発明記念館
アクアライナー(水上バス)
- ・2009年 トロッコ列車と友禅ハンカチ染体験
- ・2010年 京都「おたべ体験道場、民族音楽鑑賞」、自由散策
- ・2011年 神戸「オルゴール作り」、自由散策
- ・2012年 京都「和菓子作り体験と三十三間堂」、付近自由散策
- ・2013年 和歌山「津波防災教育センター」他

<フェス文参加>

- 「作品展、バザー、“変身”コーナー、模擬店」
(バザー、模擬店の収益は、生徒会へ寄付)
- ・2011(平成23)年度の収益金は東日本大震災の義援金に。

<クリーンキャンペーンと花植え活動>

- ・2011(平成22)年度～ 年1回
クラブ員が中心になり実施している校外の清掃に参加。
おにぎり等の提供。

- ・花植え活動。年2回。

<進路関係>

- ・2011(平成23)年～ 模擬試験主催 年数回
- ・2011(平成23)年～ 春、夏休みの勉強合宿支援
- ・2009(平成21)～ 大学見学会 年1回
- ・進路講演会
- ・2004(平成16)年度～ 年2回実施
5月：PTA総会時3年PTA進路講演会
10月：1、2年PTA進路講演会



PTA 総会



第7ブロック PTA 連合協議会総会



花植え活動



クリーンキャンペーン・地域清掃

2. PTA事業

<クラブ等援助金>

・2004(平成16)年度～

生徒会予算等では購入できない高額なもので、緊急に必要なもの。
予算50万円前後。

<PTA教育活動及び部活動振興事業会計>

本校学校安全互助会費の積立金から金500万円を拠出して充てる。

各年度100万円。

- ・2009(平成21)年度 PTA総会で承認。
- ・2009(平成21)年度 食堂エアコン設置
- ・2010(平成22)年度 製氷機設置
- ・2011(平成23)年度 グランド夜間照明

<備品整備等事業>

創立40周年を契機に2013年度～2015年度の3カ年にわたり学校教育活動に利用・活用する備品等について整備を行うもの。

各年度100万円。

毎年度PTA予算に科目を設け計上する。

2013(平成25)年度PTA総会にて承認。

<2013(平成25)年度PTA事業計画>

- 4月： 会計監査、新旧役員会・実行委員会
「PTAだより」発行
- 5月： PTA総会、進路講演会、各学年集会
- 6月： 学級委員総会
藤高フェスティバル体育の部
第7ブロックPTA協議会総会
府立高校PTA協議会総会
近畿地区PTA連合会大会
- 7月： 大学見学会
PTA新聞「育友」発行
- 8月： 全国高等学校PTA連合会大会
- 9月： 藤高フェスティバル文化の部
- 10月： 1、2年PTA進路講演会
各学年集会
PTA研修旅行(社会見学)
- 11月： 創立40周年記念式典
クリーンキャンペーン
- 3月： PTA新聞「育友」発行



クリーンキャンペーン・地域清掃



PTA 主催進路講演会



退職記念講演会

同窓会

- ◇発足 1977(昭和52)年4月1日
- ◇会員数 16,586名(1期～37期)
- ◇各期「同窓会員名簿」発行



PTA 模擬店・フェスタ



ワンダーフォーゲル部

H16、17年近畿スポーツクライミング大会女子の部2年連続優勝。H17年ジュニアオリンピック大会スポーツクライミング、ユースの部7位 選手名「寿村」。最近は北アルプスで合宿することが最大の目標となっている。



サッカー部

本校サッカー部は新人戦・春季大会・大阪総体となかなか上位に進出することができませんでしたが、平成22年のU18サッカーリーグでは、3部の南河内ブロックで準優勝し、プレーオフに勝利し、2部リーグに昇格を果たしました。現在は3部に降格していますが、2部昇格、トーナメント上位進出を目指し練習に励んでいます。



水泳部

各大会に出場し、ベストタイムを更新するためにシーズン中の水中練習はもちろんのこと、オフシーズンの冬季でも毎日陸上トレーニングを行っている。

また、水泳界において大阪のレベルは大変高い中、平成17年・平成20年・平成24年・平成25年には、決勝に進出する選手も出ており、入賞も果たしている。



バレーボール部

この10年を概観してみると、男女ともようやくチームが組める少ない部員数で活動し、高体連主催大会（公式戦）に出場している状況にある。

この間、平成22年度には女子が2部昇格、平成24年度には男子が1部昇格を果たした。また、平成24、25年度には男子部員（各年度とも1名）が地区選抜大会の選手に選考され、当該年度の大阪高体連バレーボール専門部の優秀選手として表彰された。



陸上部

ベストタイムを更新するために、週6日トレーニングを行っている。他校との合同練習等にも参加し意識を向上させ、各大会に出場。

平成22年度には、男子5000mで近畿大会に出場。その他、阪南和大会で入賞するなど好成績をおさめている。



女子ソフトボール部

平成20年度に南河内の研修大会において、準優勝。現在部員がいなくて、休部状態。



男子ハンドボール部

2005年度秋季大会ブロック8位



女子ハンドボール部

2008年度 秋季大会ブロック4位 中央大会出場

2008年度 堺室内選手権大会2位



男子バスケットボール部

この10年の主な戦績について

ここ数年は中央大会進出を目指して、日々練習に取り組んでいる。2010年度、2011年度、2012年度と三回戦まで進出しているが、中央大会への道はまだ遠く、より一層の努力がこれからも必要だと感じている。練習では技術的な面だけではなく、精神的な面の修養にも努めている。



女子バスケットボール部

この10年の主な戦績や活動について

ここ数年、一つでも多く勝つために、練習時間を増やし、努力してきた甲斐もあり、2012年度にはインターハイ予選三回戦進出、大阪総体予選4回戦進出、そして公立校大会では東地区において4位の成績を収めることができた。部員数も増え、常に上を目指し、練習をしている。



バドミントン部

部員のほとんどが初心者であるが、強くなろうと日々精進している。公式戦で2006年、女子団体で16位に入り、シード権を得た。個人戦では、ダブルス2部3位に男子3組、女子1組が入り、2部シングルス男子2位1人の成績を残した。



男子硬式テニス部

先輩・後輩の間の仲が良く、やる気さえあれば、初心者・経験者を問わず楽しめるクラブです。現三学区 新人戦 予選優勝 平成24年 平成22年 平成21年
 団体戦 予選優勝 平成24年
 ダブルス予選優勝 平成22年
 夏季総体本戦出場、南河内地区団体ベスト8 平成16年
 他にも 高体連 春季・夏季・秋季各大会予選 公立校個人戦、団体戦予選 サマー、スプリングトーナメント大会予選等に参加



女子硬式テニス部

この10年の主な戦績 (S:シングルス D:ダブルス 予選優勝し本戦出場した試合)
 H16 総体S2回戦 H17 総体S
 H18 春季団体ベスト32 H19 総体S
 H21 総体S・Dは2回戦、3学区団体、秋季団体
 H22 春季個人D・Sは2回戦、3学区D
 H23 3学区D・S、総体S
 H24 南大阪1年優勝、スプリングD、3学区団体、総体S
 H25 春季個人D、南大阪1年準優勝



剣道部

現在、男子7名、女子4名の計11名で活動しています。最近、輝かしい戦績はありませんが、日々、技術の向上を目標に稽古を重ねています。専門の顧問が不在で、外部より講師の方に来ていただいて稽古を見ていただいています。



硬式野球部

野球部はこの10年「強豪校に勝つ!」や「全力疾走とカパーリング」を目標に着実に力を付けている。石村先生(01~07)の指導を基礎に、藤田先生(08~11)の下、10年には7学区大会に準優勝。09年には東海大仰星と4-6の接戦を演じ、着実な力の伸びを見せた。夏の選手権においても、01年久しぶりに初戦を突破し、翌02年は2回戦で甲子園出場経験もある初芝立命館を下した。全部員が一丸となるチームワークと多くの卒業生の支援の下、より良いチームを目指して、日々、練習に励んでいる。



ラグビー部

部員数が毎年少ないため他校と合同チームを組み、平日は各校で、週末は合同チームで集まり練習や試合に励んでいる。ここ数年間においては公式戦に出場し、以下のような結果を残してきた。

- 平成21年度 南大阪大会セブンス 優勝
- 平成22年度 南大阪大会セブンス 準優勝
- 平成24年度 春季大会 大阪ベスト20
- 全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会
近畿選抜選手として3年生男子1名出場



ソフトテニス部

ソフトテニス部は伝統あるクラブで、この10年においても近畿大会に団体・個人とも毎年のように出場しています。40周年を迎える現在においても、練習方法や試合前の掛け声に往時と変わらぬ名残を随所に感じます。男子部員も加入して、更に賑やかになっています。今日も「藤高ソフトテニス部」のプライドを忘れず練習に励んでいます。



柔道部

最初は初心者3名で始めた柔道部も、平成19年度には部員も10人を超え次第に練習も活発になり、成績も向上して平成20年度の大阪高校総体では、ベスト8に入り新人大会ではベスト16で惜しくも近畿大会の出場は果たせなかったが、着実に力をつけてきている。尚女子は平成23年度、平成24年度は、ベスト8に入り近畿大会に連続出場することができた。女子も人数は少ないが、着実に力をつけてきている。



ESSクラブ

毎年のクラブ員数は学年に1～2名程度で、細々と活動を継続してきた。ALTの先生と会話やゲームを楽しんだり、歌・映画等で英語に触れたり、英検にもチャレンジしている。フェス文では展示で参加する年もある。



現代音楽研究部

毎年「We are Sneaker Ages」に出場。「高校生バンドコンテスト」や「高等学校軽音楽部大会」にも出場している。校内では、新入生歓迎会や文化祭でLIVEを行っている。



コンピュータ部

部として統一された活動はなく、各自で音楽、画像、動画編集やゲームに取り組んでいます。以前にはフェス体の映像を編集したものを、フェス文で公開していましたが、今は技術の伝承が途絶え残念です。また、この数年間、部員が生徒会執行部の一員であったので、フェス体のメンバー表作成、蒼穹(クラブ紹介冊子)の作成のとき、入力補助員として大活躍しています。



書道部

この10年で3回、書道教員が代わり、その都度、大きく活動内容が変遷しました。9～10年前の角谷先生の時には、人数も多く、大作を芸文祭に出品するなど、精力的な活動でした。5～8年前の坂上先生の時には、人数も減り、藤彩展、フェス文への出品程度でしたが、この4年間、中山の代になり、高校書道展へも出品するようになりました。1週間に2回の活動を基本にし、少数になった時期も活動を続けていたのですが、残念ながら、平成23年以降は、部員がいない状態で、活動は休止しています。



茶道部

主なお茶会は、新入生歓迎会、フェス文での藤井寺支援学校生への交流お茶会と一般公開日の浴衣姿でのお茶会、中学生体験入学時の体験お茶会、日曜日実施の学校説明会でのクラブ体験お茶会、1月の初釜式です。

平成24年度からは、藤井寺市の老人ケアセンター「松水苑」からの依頼で、年に二回、出張お茶会もさせていただいています。講師は茶道部創設当時からずっと続けて宋偏流の北西紀世子先生にお世話になっております。



吹奏楽部

吹奏楽コンクール南大阪地区B編成5年連続銀賞受賞、藤井寺市民祭り、藤井寺市民文化祭、三中フェスタ、高鷲まつり、富田林クリスマスチャリティーコンサート、津堂さくらまつり等に参加



箏曲部

この10年間主にフェス文での発表を中心に活動を行ってきた。平成23年度からは大阪府高等学校芸術文化祭日本音楽部門発表会に参加。平成25年度オーストラリア語学研修では琴を持参し演奏を披露するなど活動の幅を広げている。



フォークソング部

古墳の森コンサート(2005年～)、We Are Sneaker Ages(2005年…「僅差の3位」、2007年…5位)、新春セミナー(メッセージソングフェスタ)、藤井寺市民まつり(2009年～)、新入生歓迎会、フェス文、体験入学や学校説明会にて演奏



美術部

- 8月 大阪府高等学校美術・工芸展に出品 於：天王寺美術館
- 1月 地域交流 藤彩展に参加 於：藤井寺シュラホール
- 1月 藤井寺支援学校作品展交流
- 2月 第7ブロック展に出品 於：大阪美術専門学校
- 2013年度 文化祭企画「希望の木プロジェクト」



放送部

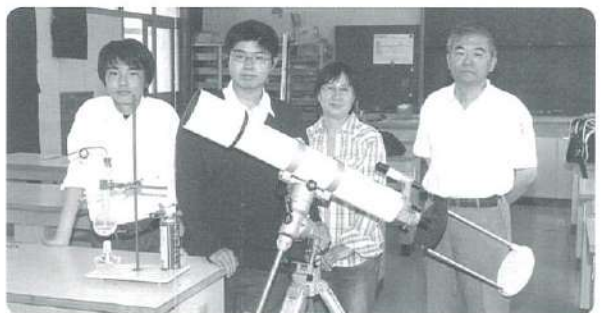
昼休みにリクエストの多いものを中心に曲を流す。インタビューを実施したこともある。フェス体では、進行・連絡・実況を行い、BGMを流して雰囲気盛り上げようとしている。



ライフサイエンス部

2006年度に、理科同好会から、ライフサイエンス部になりました。

天体観測、化石採集、放射線の測定、樹木の撮影・標識の作成、ボルタ電池の製作、文化祭でのドラム缶つぶし等、部員が興味を持ったテーマで活動しています。



漫画アニメ研究部

フェス文では作成したラミカ・イラスト・葉等を展示・販売したり、藤井寺支援学校との作品交流には毎年イラストを展示してもらっている。雑誌への投稿にも積極的に参加している。





運動部

ワンゲル [2004]吉村 岸田 岩本 [2005]吉村 岸田 岩本[2006]半田 吉村[2007]半田 本本 [2008]半田 山田 [2009]半田 高橋 [2010]高橋 上田 吉村 [2011]高橋 上田 古城 [2012]高橋 上田 渡辺 石原 [2013]渡辺 石原 木村

サッカー [2004]鈴木 吉元 岡田 [2005]吉元 岡田 伊庭 大橋 [2006]大橋 岡田 木元 村井 [2007]村井 岸田 石丸 片岡 [2008]中村忠 松井 小林 田中愛 [2009]中村忠 島田 米澤 小林 田中愛 [2010]久田 中村忠 米澤 小林 [2011]久田 中村忠 米澤 船本 [2012]久田 中尾 中村忠 永田 吉川 [2013]久田 中尾 林

水泳 [2004]泉田 阪本 牧野 [2005]泉田 牧野 [2006]泉田 片岡 島田 [2007]泉田 片岡 島田 [2008]泉田 島田 [2009]泉田 磯 阪上 [2010]泉田 西 田中 [2011]川村 梶原 船本 中村 [2012]亀川 梶原 有本 島田 [2013]亀川 梶原 片岡

バレー [2004][男子]木田 三村 吉田 [女子]内海 片岡 木田 永田 [2005][男子]大西 三村 吉田 [女子]片岡 島田 永田 [2006][男・女]大西 高塚 吉田 吉元 [2007][男・女]浅野 大西 高塚 西尾 吉田 [2008][男・女]浅野 大西 高塚 吉田 [2009][男・女]浅野 片岡 高塚 田村 [2010][男・女]浅野 小林 島田 高塚 [2011][男・女]浅野 磯 高塚 田村 [2012][男・女]上田 片岡 高塚 中尾 横山 渡辺 [2013][男・女]磯 島田 高塚 中村 吉岡

陸上 [2004]藤原 西矢 村田 [2005]西矢 川口 中出 笠原 [2006]西矢 川口 岩本 [2007]川口 中村 妻鹿 前谷 [2008]中村 妻鹿 前谷 吉村 笠原 [2009]高橋 吉村 [2010]高橋 前谷 [2011]高橋 前谷 中村 奥田 [2012]奥田 高橋 富永 妻鹿 山本 [2013]奥田 木村 鈴木 妻鹿 山本

女子ソフト [2005]横山 大田 [2006]大田 横山 [2007]大田 横山 [2008]大田 横山[2009]大田 横山 竹本 [2010]竹本 中山 吉村 [2011]竹本 中山 富永 [2012]竹本 富永 [2013]竹本 藤島 仲村忠

男子ハンドボール [2004]大村 森山 大田 [2005]大村 森山 十河 [2006]大村 森山 川口 [2007]森山 小林 大橋 木村 山田 [2008]森山 磯 大橋 木村 [2009]森山 大西 西 日置 [2011]得田 林 杉谷 永田 木村 [2011]得田 林 鈴木健 永田 木村 山田 [2012]得田 中出昇 竹本 梶原 大村 [2013]中出昇 中村恵 得田 大村

女子ハンドボール [2004]大村 内海 石村 [2005]大田 内海 十河 [2006]大村 大田 浅野 [2007]大村 阪上 西 [2008]大村 山田 西 [2009]大村 磯 永田 [2011]大村 磯 有本 川口 湯之前 [2011]大村 川口 吉川 湯之前 [2012]北野 川口 高橋正 山田 大村 [2013]川口 井上 有本 大村

女子バスケットボール[2003] 秦 西矢 浅野 [2004]秦 浅野 小林 [2005]秦 浅野 小林 [2006]秦 浅野 小林 [2007]秦 磯 吉元 浅野 [2008]田中 妻鹿 吉川 片岡 [2009]妻鹿 吉川 植木 吉村 井上 [2011]秋山 妻鹿 中村 植木 井上 [2011]秋山 井上 山本有里 吉岡 [2012]秋山 見谷 西尾 船本 [2013]田中 秋山 見谷

バドミントン[2003]小関 篠本 石川 [2004]小関 篠本 筒井 [2005]小関 篠本 石丸 [2006]小関 篠本 [2007]小関 篠本 大西 田中 [2008]小関 篠本 半田 [2009]小関 篠本 石丸 木村 [2010]篠本 吉川 島田 鈴木 [2011]山本 島田 田中 篠本 [2012]山本 植木 吉岡 中山 篠本 [2013]竹本 木村 浅野 伊比 篠本

硬式テニス [2004]仲村 織田 八木沼 鈴木将 [2005]織田 仲村 山田 [2006]石丸 織田 仲村 鈴木将 [2007]仲村 織田 八木沼 [2008]仲村 前谷 八木沼 杉谷 [2009]八木沼 山田 仲村 上田 [2010]八木沼 石丸 田村 片岡 [2011]八木沼 有本 古城 高橋正 [2012]藤島 有本 古城 中村忠 [2013]藤島 高橋正 中村忠 正木

剣道 [2004]吉田[良] 筒井 島田 [2005]三島 吉田[良] 筒井 [2006]三島 吉田[良] [2007]三島 吉田[良] [2008]三島 北山 [2009]三島 大嶋 [2011]三島 大嶋 吉川 [2011]三島 横山 船本 [2012]永田 船本 [2013]永田 林田中愛 奥河

硬式野球 [2003]石村 中谷 西澤 鈴木 [2004]石村 西澤 中谷 [2005]石村 西澤 山本 [2006]石村 西澤 山本 [2007]石村 山本 横山 島田 [2008]藤田 山本 西 島田 [2009]藤田 山本 田村 竹本 中山 [2010]藤田

山本 竹本 中山 [2011]藤田 今坂 中山 植木 [2012]桃井 今坂 久保田 梶原 [2013]中山 今坂 船本 吉岡 桃井 山本

ラグビー [2003]西澤 阪上 植田 [2004]中出 西澤 阪上 [2005]中出 西澤 阪上 [2006]中出 阪上 [2007]中出 阪上 西 [2008]中出 阪上 小林洋 [2009]中出 阪上 前谷

[2010]中出 西 西尾 [2011]中出 木村 今坂 富永 [2012]中出 木村 島田 林 [2013] 中尾 古城 今坂 植木 中山 谷

ソフトテニス [2004]川上 中村 内本 [2005]川上 中村 横山 [2006]川上 中村 横山 [2007]田中 中村 山本 永田 [2008]竹内 大嶋 田村 永田 [2009]竹内 大嶋 山本 永田 [2010]竹内 大嶋 山本 鈴木 [2011]竹内 大嶋 高橋 田村 [2012]堀尾 大嶋 高橋 [2013]堀尾 高橋

柔道 [2004]米澤 的場 [2005]米澤 的場 [2006]米澤 的場 [2007]米澤 的場 [2008]米澤 的場 [2009]米澤 的場 [2010]井上の場 [2011]井上の場 [2012]富永 的場 [2013]堀内 塩田 的場

文化部

ESS [2004]川口 島田 [2005]川口 島田 [2006]川口 島田 [2007]島田 磯 [2008]島田 磯 [2009]島田 磯 [2010]島田 磯 [2011]島田 有本 [2012]島田 有本 [2013]島田 磯

現代音楽研究部 [2003]中川 岡田 十河 内海 [2004]中川 岡田 十河 内海 [2005]中川 岡田 中村 内海 [2006]中川 岡田 中村 妻鹿 [2007]中村 妻鹿 吉田 田中 西尾 [2008]西尾 米澤 横山 岩本 [2009]横山 井上 得田 田村 [2010]横山 井上 中村[恵] 秋山 林 [2011]横山 井上 中村[恵] 吉岡 田村 [2012]横山 井上 北野 山本 [2013]井上 島田 奥河 見谷 山本

コンピュータ部 吉田 西尾 上田 得田

吹奏楽 [2003]内本 阪本 中村 村田 岩本 安本 [2004]石原 阪本 岩本 内本 的場 [2005]石原 岩本 大西 [2006]石原 浅野 大西 [2007]石原 浅野 大西 [2008]石原 浅野 [2009]石原 浅野 大西 [2010]石原 浅野 永田 奥田 [2011]石原 浅野 磯 植木 梶原 [2012]石原 船本 植木 今坂 [2013]石原 船本 梶原

箏曲 小林洋子[8] 山田祐子[3] 奥田典子[4] 中出昇[1] 西まりこ[2] 田中愛子 杉谷久美子 泉田英理子[]内は年数 [1]は割愛 外部講師 星野綾子 [~H23] 小林歌絃[H24~]

フォークソング [2004]片岡 鈴木正 永田 岸田 牧野 [2005]石丸 片岡 永田 牧野 [2006]石丸 片岡 西野 永田 [2007]石丸 片岡 木村 米澤 [2008]石丸 片岡 吉田 大西 [2009]石丸 片岡 木村 永田 [2010]石丸 片岡 木村 有本 [2011]片岡 永田 川口 杉谷 [2012]片岡 磯 吉川 中山 [2013]片岡 磯 吉川 今坂 仲村

美術部 [2004]石川 松田 泉田 織田 [2005]篠本 山本[晃] 半田 [2006]篠本 山本[晃] 半田 [2007]篠本 中村[忠] 山本[晃] 山田 [2008]篠本 山本[晃] 中村[忠] [2009]篠本 田中[愛] 中村[忠] [2011]篠本 田中[愛] 奥田 北山 湯之前 [2011]田中[愛] 湯之前 船本 北山 仲村 [2012]田中[愛] 古城 木村 篠本 [2013]田中[愛] 古城 篠本 梶岡

放送部 [2004] 河内 吉田[良] 中谷 [2005] 吉田[良] 中谷 吉村 [2006] 吉田[良] 永田 山田 [2007] 吉田[良] 永田 山田 [2008] 山田 [2009] 妻鹿 山本 [2010] 妻鹿 [2011] 妻鹿 吉川 磯 [2012] 妻鹿 梶原 先生 [2013] 妻鹿 鈴木 藤島 梶岡

ライフサイエンス [2004]森山 鈴木 織田 [2005]森山 [2006]森山 織田 [2007]森山 織田 片岡 [2008]森山 中村 [2009]森山 大嶋 [2010]大嶋 植木 仲村 [2011]大嶋 鈴木 [2012]鈴木 [2013]片岡 鈴木 正木

漫画アニメ [2004]米澤 斎部 八木沼 [2005]米澤 八木沼 横山 大田 [2006]米澤 岸田 織田 [2007]米澤 岸田 八木沼 [2008]米澤 山本 [2009]米澤 西 [2010]米澤 八木沼 川口 恭子 古城 [2011]米澤 八木沼 中村恵子 [2012]川口 恭子 妻鹿 [2013] 妻鹿 吉岡 植木 庄田



歴代生徒会役員一覧表

	役職名	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
前期	生徒会長	佐藤奈緒	城川一貴	石山勇大	阪本優	濱田歩	奈良春香
	副会長	川西雅恵	清原丈博	山田和弘	永濱真実	奈良春香	伊藤美紗
	書記	山本愛子	伊東美香	井上仁美	井上仁美	田井菜々美	田井菜々美
	書記	城川一貴	廣井裕子	猪本百合香	濱田歩	伊藤美紗	瀬古瞳
	会計	天川谷望	石山勇大	阪本優	奈良春香	瀬古瞳	籠谷純一
	会計	仲野裕哉	山田和弘	瀬川源	伊藤美紗	岩川和弘	高木将吾
後期	生徒会長	山本祥史	藤田怜	猪本百合香	吉村元貴	奈良春香	高木将吾
	副会長	田中友梨	伊東美香	阪本優	葉山直弥	田井菜々美	籠谷純一
	書記	木田ゆかり	山田和弘	井上仁美	浅倉強志	瀬古瞳	石橋佳代子
	書記	三重松千賀	野山学	永濱真実	内山善博		木村桃子
	会計	鶴飼愛	鮫島仁美	谷岡卓馬	大林弘和		井手美里
	会計	恩知由美	西尾有香	濱田歩	橋本祐樹		小西優生
	補佐						三浦修平

	役職名	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
前期	生徒会長	井手美里	澤井彩乃	竹内佳史	宮前吉孝	高橋智生
	副会長	籠谷純一	小西優生	畑田優希	中村拓人	平木嵩一郎
	書記	高木将吾	波多江望	橋之口楓	江波戸梢	新田雄大
	書記	小西優生	赤坂峻	宮前吉孝	高橋智生	山口愛美
	会計	三浦修平	久堀美晴	赤坂峻	水垣亮太	大矢圭祐
	会計	澤井彩乃	竹内佳史	中村拓人	平木嵩一郎	東果奈
後期	生徒会長	三浦修平	久堀美晴	宮前吉孝	高橋智生	
	副会長	小西優生	波多江望	中村拓人	平木嵩一郎	
	書記	木村桃子	中村太一	江波戸梢	新田雄大	
	書記	澤井彩乃	赤坂峻	安藤嘉乃	山本愛也	
	会計	久堀美晴	竹内佳史	水垣亮太	大矢圭祐	
	会計	橋之口楓	宮前吉孝	新田雄大	東果奈	
	補佐					



歴代同窓会役員

Table with 6 columns representing fiscal years from 2004 to 2008. Rows include positions like 会長, 副会長, 書記, 会計, 理事, 幹事, 運営委員, 常任幹事長, 会計監査, 名誉会長, 名誉顧問, 顧問, and 相談役.

82 歴代同窓会役員

Table with 6 columns representing fiscal years from 2009 to 2013. Rows include positions like 会長, 副会長, 書記, 会計, 理事, 幹事, 運営委員, 常任幹事長, 会計監査, 名誉会長, 名誉顧問, 顧問, and 相談役.



歴代PTA役員

	2004年度 平成16年度	2005年度 平成17年度	2006年度 平成18年度	2007年度 平成19年度	2008年度 平成20年度
会長	宮下 博敏	藤田 博史	若林 和博	小橋川 恭司	小西 しのぶ
副会長	藤田 博史 伊東 宏 和田 美智子	若林 和博 福井 眞理 伊東 宏	長橋 俊彦 小橋川 恭司 福井 眞理	長橋 俊彦 山口 順世 松本 ゆう子	稲垣 勝 西田 伊久江 佐藤 美由紀
書記 書記(学校)	松田 加代子 米澤 興治(学校)	栗津 香月 米澤 興治(学校)	小野 晶子 永田 眞一(学校)	橋本 嘉代子 永田 眞一(学校)	河本 育美 永田 眞一(学校)
会計 会計(学校)	高木 公子 植本 宇一(事務長)	小野 晶子 植本 宇一(事務長)	北口 奈美 植本 宇一(事務長)	小林 絵里 小北 正次(事務長)	石崎 京子 藤原 優二(事務長)
会計監査	若林 和博 谷川 博 北口 奈美	鎌田 ゆみ子 長橋 俊彦 小橋川 恭司	塚田 一則 内本 久代 橋本 嘉代子	新熊 富子 武田 美樹 福井 桂子	亀田 純子 歌野 徳子 橋本 嘉代子
企画委員長 企画副委員長	益谷 稔江 石井 眞理子	北口 奈美 山口 順世	山口 順世 安田 イワミ	安田 イワミ 江口 悦代	安田 イワミ 辻 千栄子
広報委員長 広報副委員長	徳山 みのり 近藤 康子	野口 照美 富永 明美	堤 順子 岡本 和子	堤 純子 黒川 恵子	玉田 なつみ 松宮 貴美子
進路委員長	徳岡 由美子	森下 眞千子	福本 良重	岡本 和子	西村 肇子
文化委員長 文化副委員長	北川 朝美 栗津 香月	川村 典子 門野 良子	川村 典子 富永 明美	西村 肇子 新熊 美恵	杉本 靖子 高木 知子
1年学年委員長 1年学年副委員長 1年学年主任(学校)	福本 良重 小野 晶子 中村 忠雄(学年主任)	松本 ゆう子 小林 絵里 石村 友秀(学年主任)	小西 しのぶ 黒川 恵子 川上 伸吉(学年主任)	西田 伊久江 佐藤 美由紀 大村 健三(学年主任)	平口 みどり 水戸 美紀 篠本 明(学年主任)
2年学年委員長 2年学年副委員長 2年学年主任(学校)	福井 眞理 森下 眞千子 十河 静男(学年主任)	堀井 はるみ 谷川 加代美 中村 忠雄(学年主任)	松本 ゆう子 小林 絵里 石村 友秀(学年主任)	小西 しのぶ 河本 育美 森山 義博(学年主任)	矢野 三也子 平田 雅子 大村 健三(学年主任)
3年学年委員長 3年学年副委員長 3年学年主任(学校)	濃野 みつる 高濱 康子 吉元 紀美子(学年主任)	山下 英子 徳山 みのり 十河 静男(学年主任)	堀井 はるみ 谷川 加代美 中村 忠雄(学年主任)	中野 いずみ 酒井 延恵 石村 友秀(学年主任)	今澤 真知子 桂山 千賀子 森山 義博(学年主任)

	2009年度 平成21年度	2010年度 平成22年度	2011年度 平成23年度	2012年度 平成24年度	2013年度 平成25年度
会長	佐藤 美由紀	土井 昇	瀧ヶ平 明弘	赤井 毅彦	佐藤 美由紀
副会長	平田 雅子 矢野 三也子 高木知子	深井 かず代 植村 弘江 瀧ヶ平 明弘	深井 かず代 赤井 毅彦 竹綱 眞弓	佐藤 美由紀 竹綱 眞弓 福崎 哲也	木村 利恵 三木 奈穂子 大西 淳子
書記 書記(学校)	辻 千栄子 永田 眞一(学校)	松宮 貴美子 永田 眞一(学校)	土井 昇 永田 眞一(学校)	木村 利恵 永田 眞一(学校)	福崎 哲也 永田 眞一(学校)
会計 会計(学校)	松宮 貴美子 藤原 優二(事務長)	野本 和美 加治屋 喜久雄(事務長)	植村 弘江 加治屋 喜久雄(事務長)	門馬 由美子 加治屋 喜久雄(事務長)	小野 幸恵 木下 正昭(事務長)
会計監査	瀧ヶ平 明弘 土井 昇 野本 和美	竹綱 眞弓 足立 幸枝 赤井 毅彦	井澤 倫子 福崎 哲也 松村 浩子	岡本 由美 伏井 伊都子 大西 淳子	澤田 早輝子 落合 美和 嵐 真寿美
企画委員長 企画副委員長	玉田 なつみ 深井 かず代	佐竹 初美 竹綱 道子	竹綱 道子 武市 昌美	武市 昌美 櫻木 美佐緒	櫻木 美佐緒 熊井 千秋
広報委員長 広報副委員長	歌野 徳子 亀田 純子	歌野 徳子 亀田 純子	原田 理香 大江 紀子	原田 理香 野中 三智子	野中 三智子 高橋 佳子
進路委員長	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
文化委員長 文化副委員長	杉本 靖子 山田 由美子 藤原 祥代	久保 由美 奥 裕美 水戸 美紀	菊辻 委美恵 門野 由美子 小野 幸恵	小野 幸恵 三木 奈穂子 平 みゆき	岡本 由美 伏井 伊都子 福本 明代
1年学年委員長 1年学年副委員長 1年学年主任(学校)	植村 弘江 久保 由美 植山 博次(学年主任)	仲谷 良美 門馬 由美子 前谷 一生(学年主任)	佐藤 美由紀 政 洋子 木村 康夫(学年主任)	長谷川 眞弓 高木 知子 鈴木 将二(学年主任)	井場 和恵 原田 理香 藤島 元(学年主任)
2年学年委員長 2年学年副委員長 2年学年主任(学校)	神野 多津子 平口 みどり 篠本 明(学年主任)	菊辻 委美恵 大江 紀子 横山 博次(学年主任)	番匠 幹也 仲谷 良美 的場 崇泰(学年主任)	井澤 倫子 高橋 安子 木村 康夫(学年主任)	長谷川 眞弓 高木 知子 高橋 正雄(学年主任)
3年学年委員長 3年学年副委員長 3年学年主任(学校)	福井 桂子 西田 伊久江 大村 健三(学年主任)	神野 多津子 平口 みどり 篠本 明(学年主任)	久保 由美 長岡 洋子 植山 博次(学年主任)	番匠 幹也 仲谷 良美 的場 崇泰(学年主任)	井澤 倫子 高橋 安子 木村 康夫(学年主任)



卒業記念品一覧

28期	太陽電池時計（正門西側）
29期	各教室電波時計
30期	簡易テント4張り
31期	コンピューター式（進路資料室）
32期	食堂前フジ棚下テーブル
33期	簡易テント4張り
34期	簡易テント4張り
35期	体育館放送設備一式
36期	簡易テント3張り、テント収納用物置
37期	式典用紅白幕、ウォータークーラー2台

平成25年度職員





氏名	S 49	S 50	S 51	S 52	S 53	S 54	S 55	S 56	S 57	S 58	S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	h 1	h 2	h 3	h 4	h 5	h 6	h 7	h 8	h 9	h 10	h 11	h 12	h 13	h 14	h 15	h 16	h 17	h 18	h 19	h 20	h 21	h 22	h 23	h 24	h 25				
湯浅 博																																												
中島 明人																																												
橋原 竜二																																												
請田 正幸																																												
塩野 順夫																																												
大川原香子																																												
木田 誠																																												
斎部 幸則																																												
米澤 興治																																												
小関 嗣郎																																												
三村 信二																																												
西澤 宏一																																												
大橋 哲嗣																																												
鈴木 将二																																												
半田 委巳																																												
前谷 一生																																												
田中 愛子																																												
植木えり子																																												
秋山 友見																																												
久田 裕二																																												
高橋 正雄																																												
富永 啓子																																												
中出 昇																																												
藤島 元																																												
数学																																												
川上 俊次																																												
田中 道雄																																												
中澤 一																																												
松浦 友志																																												
南 武夫																																												
伊賀崎良太																																												
大屋ひろみ																																												
藪野 清																																												
西崎 実																																												
前田美恵子																																												
松尾 好文																																												
橋本 章																																												
岡本 貞美																																												
村上 寛明																																												
木島 淳子																																												
詫間 尊丸																																												
武市 哲明																																												
高松 史朗																																												
田中 健一																																												
中坂 欣司																																												
稲田 和子																																												
田原 久徳																																												
山口 湧三																																												
河内 正行																																												
田原 伸																																												
松本 貴仁																																												
中谷 利春																																												



氏名	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h										
	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
阪本百合子																																								
十河 静男																																								
大村 健三																																								
秦 秀和																																								
篠本 明																																								
仲村 公志																																								
横山 博次																																								
石丸 秀司																																								
三島 寿之																																								
浅野佳世子																																								
田中 義人																																								
得田 誠也																																								
竹本 隆																																								
古城 幹也																																								
今坂 英之																																								
林 万美																																								
庄田 保雄																																								
理科																																								
荒瀬 和夫																																								
植野 敏郎																																								
富賀 肇																																								
山田 博																																								
朝山 浩和																																								
末広 礼二																																								
仲谷 隆次																																								
船勢 省三																																								
前田 昭吾																																								
石上 知良																																								
山田 忠男																																								
筒井 完次																																								
福西 浩																																								
松下 元彦																																								
谷口 房伸																																								
野口 俊一																																								
吉田 正博																																								
内田 吉彦																																								
鳥越 啓嗣																																								
三輪 昌孝																																								
杉田 有史																																								
松浦 紀彦																																								
坂上 公一																																								
伊藤 眞治																																								
橋本 保子																																								
伏井 信之																																								
冠木 宇治																																								
西村 隆男																																								
廣田 恭久																																								
村田 和隆																																								
森山 義博																																								
石川 要三																																								
吉田 正弘																																								
八木沼 隆																																								



氏名	s49	s50	s51	s52	s53	s54	s55	s56	s57	s58	s59	s60	s61	s62	s63	h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	h9	h10	h11	h12	h13	h14	h15	h16	h17	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25			
織田 二郎																																											
牧野進一郎																																											
片岡加陽子																																											
中村 恵子																																											
西尾 明保																																											
大嶋 信次																																											
上田 篤																																											
鈴木 健一																																											
渡辺 直之																																											
奥河 圭一																																											
谷 啓輔																																											
正木 尚彦																																											
保健体育																																											
青谷 耕児																																											
井上 真也																																											
武田 章																																											
菊田 秀子																																											
黒木 秀臣																																											
國分 俊夫																																											
玉井 規雄																																											
富山 治正																																											
南 昭																																											
林 誠																																											
藤井 克弥																																											
磯野 彰																																											
渡辺 武																																											
吉川 憲司																																											
塩田 明彦																																											
河上 修																																											
杉野美智子																																											
藤原 安博																																											
植田 亮介																																											
西矢 幸司																																											
石村 友秀																																											
浅野 和実																																											
泉田英理子																																											
中出 智之																																											
的場 崇泰																																											
高塚 健治																																											
藤田 悠介																																											
高橋 靖直																																											
亀川 樹																																											
堀尾 知司																																											
中尾 和弘																																											
田中 秀和																																											
芸術																																											
杉本 照子(音)																																											
長尾 良広(音)																																											
金丸 七郎(音)																																											
石原 哲(音)																																											
寺本 勉(美)																																											
来住 隆一(書)																																											



氏名	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h	h						
	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
杉谷久美子																																									
竹内 理沙																																									
有本勢以子																																									
山地 宏幸																																									
梶原 亜美																																									
桃井 実																																									
家庭																																									
清 由美子																																									
帯刀多余子																																									
奥田真由美																																									
井上 知子																																									
吉村 典子																																									
吉岡 千晴																																									
養護																																									
黒田シマ子																																									
松岡 絢子																																									
和泉三千代																																									
堀内 弘恵																																									
実習教員																																									
奥田 直美(家)																																									
中井裕美子(生)																																									
小久保智子(化)																																									
樋下嘉美子(化)																																									
北浦智代子(化)																																									
杉田 京子(化)																																									
廣田 朱見(化)																																									
麻野恵以子(化)																																									
北村 直子(図)																																									
柳生 結美(図)																																									
宮地 佳恵(図)																																									
事務長																																									
斉藤 博																																									
井上 悦男																																									
松井 潔																																									
福田 貴穂																																									
近藤 利弘																																									
小山 昭子																																									
植本 宇一																																									
小北 正次																																									
藤原 優二																																									
加治屋喜久雄																																									
木下 正昭																																									
主査																																									
井上 悦男																																									
溝端 与文																																									
河原 昭弘																																									
緒方 正																																									
谷口 光夫																																									
奥野 利明																																									
川谷 清一																																									
中尾 雄治																																									
北尾美智代																																									



国語

大岡加寿子(s50)	藤井美智子(s50)	川久保明美(s51)	永淵友季子(s51)	和田 忠明(s51)
陰山 恭子(s52)	対馬 洋子(s53)	平松 綾子(s53・h11)	上笹 敦子(s53~s55)	金定 典子(s54)
谷 知勢子(s54)	芝田 文子(s54)	長田 初子(s55~s58)	堀内佐容子(s57・58・61・62・h9)	
三苫 利光(s59)	御堂 孝昭(s60)	森 保隆(s60)	今井喜美江(s60)	西川 陽子(s60)
亀田久美子(s62)	藤本 幸二(s63)	森 克之(h1)	辻本 尚子(h1~6)	大島 麻紀(h3)
川北 百合(h3)	河合 千佳(h4)	伊藤 馨(h5・6)	田中 和子(h7)	田村 祥子(h11)
丸井すなお(h11)	高屋 佳織(h12)	尾方 崇光(h13)	寺田 佳世(h13・14)	福原知佳子(h15)
笠原 英樹(h16・19)	磯田 知子(h18)	中川 武之(h18)	吉本 智枝(h20)	湯之前弥生(h21・h23)
北野 隆之(h24)	吉元紀美子(h24)	正司 達也(h25)		

社会

武部 正夫(s49)	岡山 昭道(s51~53)	春永 幹夫(s52・53)	北野 吉伸(s56)	松島 真里(s57)
関口 靖之(s58)	小田 昭善(s58)	西上 毅(s60~62)	高津 吉辰(s61)	北村大桂司(s61)
斉藤 光正(s62)	佐藤 浩史(s63・h1)	江口 祐一(s63)	尾大 徹(h1)	三好 悦子(h2・3)
田中由起子(h2~5)	仲村 豊(h5~7)	小川 勇(h6・7)	渡邊 智也(h9)	木村 隆彦(h13)
渡邊 桂子(h13)	橋本 久馬(h14~16)	塩野 順夫(h17)	合羽 千代(h18~22・h25)	
土谷 和雄(h19・20)	和田 淳(h19・21・22)	林 耕一(h22・23)	野村 貴弘(h24)	窪 満廣(h25)

数学

中沢 一(s51)	奥田 豊(s51)	池野 雅与(s52)	三浦加津子(s52)	紙田 春夫(s53)
鳥越 良子(s53・54)	鯉川 英昭(s54)	松下 千明(s55)	金銅 章好(s55~58)	和泉 礼二(s56)
斎藤 仁保(s56)	沼田 充史(s56)	乾 有子(s57・58)	井坂 宗充(s58)	兵部 雅彦(s59)
中村 章(s59・60)	秦 成光(s60)	寺下 公章(s61)	飯田 豊彦(s61)	奥村 林蔵(s61~63)
亀井 秀則(h1~3)	日原 光彦(h1)	西門 安子(h3)	島川 直子(h4)	佐谷野紘子(h4~8)
十河 卓史(h6~8)	小川 和子(h12)	島 晴世(h25)	山田 倍男(h25)	

理科

土井 一久(s51)	竹川 元章(s51)	古田 英文(s53)	寺本 降保(s53~55)	目 康夫(s54)
青木 隆(s55・56)	木村 和男(s55~58)	山下 敬介(s57)	竹見 紳一(s59)	池田 昌弘(s59~62)
田畑 滋泰(s59・60)	中西 聡子(s60)	矢野富士夫(s60)	谷本 理(s63・h1)	中村都史江(h1~3)
溝口 恵司(h2)	盛山 武祥(h3・5・7)	武田 久男(h6)	竹内 寿恵(h12)	澤田 正(h14)
西野(伊庭)暁子(h17・18)	三輪 昌孝(h18)	下村貴太郎(h20)	明仁 憲一(h23)	織田 二郎(h23)
下村 修(h23)	田中國太郎(h23)	宮野 茜(h24)		

保健体育

樋口富美子(s49)	吉田五十鈴(s49)	服部 幸(s51)	玉井 祥子(s51)	山口 健一(s51)
中島 滋泰(s51)	土井 暢哉(s51)	根本 道代(s52)	杉野美智子(s52~55)	上野 訓史(s54・55)
岡山 智美(s56~59)	松浦 昭彦(s56~58)	平川 浩子(s60)	望月 香(s60・62)	秋田 泰史(s61)
永井小百合(s61)	小澤 千晶(s63~h3)	堀内由貴子(h2)	小林 美香(h3)	浜野 豊(h3)
矢野 直子(h4~15)	渡邊 一正(h5)	山岡 千代(h7)	橋本早知子(h15)	山口 奈緒(h17)
藤原 康博(h19)	山根 有加(h19)	鹿嶋 雅史(h20)	松永 孝史(h21・22)	小岸 純子(h22・25)
川原 哲朗(h23)				



芸術

井関 啓(s51~53) 佐野 史子(s54) 田中由喜子(s56・57) 金丸美由紀(s63) 川中 康子(s63)
 安本 末味(h12・15) 飯島榮里子(h21) 〈以上音楽〉
 北島 博(s49) 上田 敬文(s52) 松田 徳子(h9~22) 寺本 勉(h10~12) 松田 徳子(h16~22)
 張 公(h23~25) 〈以上美術〉
 島田 まり(s49~51) 陰山加代子(s63・h3) 森田 智美(h4・6) 山田 晶子(h7) 市瀬もゆる(h20)
 〈以上書道〉

英語

横井 正昭(s49) 石原 光(s49) 槽谷 博子(s50) 前田 正和(s51・52) 西村 光生(s51)
 川野 道生(s51) 西田 幸雄(s51~54) 影山 恵則(s53) 渡辺 伸子(s53~58) 飯田 治夫(s53)
 芝 郁郎(s54) 村井 宗行(s55) 新田 裕子(s55~59) 岡本 耕一(s56) 柳本 光世(s56)
 服部 法住(s56) 吉村 直哉(s57) 山本 明司(s58) 高浦 玲子(s59) 甲斐 正子(s60)
 小林 道雄(s60・h19~22) 佐田 美恵(s60) 内本 由美(s61・63~h4・8~12)
 早川ひろみ(s62) 山下 良材(s62) 長橋 昌子(s62) 栗栖 芳郎(s62) 今枝 恒雄(s63)
 稲垣 整(s63・h1) 安 和子(s63) 山根 矩昭(s63) 高繁 勝彦(s63~h2) 大塚 明子(h3・4)
 松井 治樹(h4・5・20) 浅井 陽子(h4・6~8) 佐藤 尚美(h5) 孝橋 明子(h5~7) 磯屋 尚美(h12)
 山本 聖子(h13) 船井 嘉彦(h15) 木村 好孝(h16・17) 岩木 章子(h17) 神高 康広(h17・18)
 鈴木 信乃(h18) 村井 健太(h18・19) 小池 輝邦(h20) 植田 弘子(h20・21・h23~25)
 日置 輝夫(h21) 久保田昌宏(h24) 西野 章子(h24) 加田明日美(h25)

家庭

以倉 淳子(s50~62) 小林 英子(s50) 山口 志都(s53) 大島 幸子(s55) 房本 佳代(s57~59)
 橋本 尊子(s60) 長尾 春美(s61) 米田 玲子(s63~h3・6~10) 深田 満香(h3)
 中村すみゑ(h4) 柏木 照子(h11~15) 坂上 智子(h11) 後藤 汎子(h12) 古波蔵早苗(h16・17)
 関 孝子(h17) 本田 明美(h17) 上野 美奈(h18) 本石 久子(h19・20) 植田米左江(h20)
 檜村 悦子(h21) 和久田直彦(h22・23) 森山 泰子(h23~25)

養護

麻田 景子(h17) 稲田あずさ(h21) 江岸 寛子(h22・23)

AET・ALT

Ingrid Wisniewska Anthony J. Clooks(S57・58) Stephen M.Ryan(S60)
 Karyn McCartney(S62) James Strochan(H1)
 Alison M. Suett(H2・3) Shelley M. Keach(H3~6)
 Karen E. Larson(H9・10) Amy T. Linder(H10・11) Marcy N. Mamiya(H6~9)
 Jacob Lazar(H11・12) Nicks James(H12~14) Rose Todd(H11)
 Amber Marriott(H15~18) Marissa Nicholas(H18・19) Sioned H. Jones(H14・15)
 Peter(H20) Hanna Cooper(H21) Jayne Stuart(H19・20)
 Carl Farlow(H22~25) Alicia 難波(H22)

補助員・特別嘱託

長谷川猶子(s50~h20) 田吹 賢司(s51) 橋目 安世(s52・53) 大菅由美子(s53~h22) 沢口 許子(s54・55)
 細田 満代(s55) 高須 澄子(s57・58) 松野 力(s63~h3) 寺本 勉(h7~9) 長 実(h10~12)
 香川 義(h10~12) 林 綾子(h11~13) 松浦 紀彦(h13~15) 富山久仁子(h15~17) 西岡宗三郎(h16~19)
 藤原 康博(h16~17) 鯨坂 一美(h17・18) 和田 淳(h17) 吉川すみれ(h19・20) 岡田 邦子(h23~25)
 千賀 茂世(h23~25)

編集後記にかえて

昭和49年4月に開校された本校も、今年早や創立40周年を迎え、本誌を皆さまのお手元にお届けできる運びとなりました。その節目の年に教頭として再び本校に勤務することとなり、20周年も藤井寺高校の職員として迎えていたことを思い出しますと、改めて「藤高」との深い縁を感じます。

昨年度は耐震工事に係る大規模改修で、校舎の外壁が美しくよみがえりました。今年度は40周年の記念事業で、会議室と学習室に念願だったクーラーを設置することができました。これも一重に同窓会や育友会、PTAの皆さま、地域の皆さま方のご支援のおかげだと、この場をお借りしまして心より厚くお礼申し上げます。10年後の50周年に向けては、クラブハウスの建設を目標に、藤高の生徒たちの学習環境に関して、より一層充実を図っていきたいと考えています。

この度、本誌の発行に際しまして、10周年、20周年、30周年と、3冊の記念誌をゆっくり読ませていただきました。それぞれに、当時編集された方々の「想い」が込められており、写真の中の生徒たちの生き生きとした表情や活動の様子は、時を経て現在の藤高生に重なり、熱いものがこみ上げてきました。目まぐるしく変化する社会の中で、高校時代という多感な時期を、藤高生として「変わらない笑顔」で過ごしてほしい、そのためにこれからも教職員が一丸となって取り組んでまいりたいと思っております。

最後になりましたが、本誌発行にあたり、ご多忙中にも関わらず、各方面よりご寄稿、写真・資料等のご提供をいただきました。厚くお礼申しあげます。また、わずか3か月あまりの慌ただしい編集で、いたらない点多々あることと存じますが、お許しいただければ幸いです。今後とも、本校発展のためにご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

教頭 中須賀敬子

発行日 2013年10月
発行者 大阪府立藤井寺高等学校
〒583-0037 大阪府藤井寺市津堂3丁目516
電話 0729-39-7750
編集者 創立40周年記念誌係
印刷所 ㈱国際印刷出版研究所
〒551-0002 大阪市大正区三軒家東3丁目11-34
電話 06-6551-6854



